マイクロフィルム資料作成済
整理番号 D86A69Y9900−56−313−000−000

昭和61年度

本州四国連絡橋公団

第二建設局岡山宿舎(伊島宿舎)新築工事

完　成　図

昭和 62 年 10 月

建設省中国地方建設局営繕部

第二管理局岡山宿舎（伊島宿舎）新築工事　完成図　目次

図面番号	図面タイトル	頁
1/36	仕様書（1）	3
2/36	仕様書（2）	4
3/36	附近見取図、配置図、面積表	5
4/36	仕上表	6
5/36	A棟平面図	7
6/36	A棟姿図、屋根伏図	8
7/36	A棟断面図	9
8/36	B棟平面図、姿図、断面図	10
9/36	床伏図、天井伏図、建具配置図	11
10/36	矩形図（1）	12
11/36	矩形図（2）	13
12/36	A棟階段部詳細図	14
13/36	階段部詳細図	15
14/36	建具表	16
15/36	A棟1階平面詳細図、展開図	17
16/36	平面詳細図	18
17/36	展開図	19
18/36	共通詳細図（1）	20
19/36	部分詳細図1	21
20/36	部分詳細図2	22
21/36	部分詳細図3	23
22/36	外構図1	24
23/36	外構図2	25
24/36	配筋標準1、スラブリスト	26
25/36	配筋標準2	27
26/36	基礎伏図、基礎詳細図、地質詳細図	28
27/36	梁伏図1	29
28/36	梁伏図2	30
29/36	軸組図1	31
30/36	軸組図2	32
31/36	軸組図3	33
32/36	梁リスト、雑配筋図	34
33/36	壁配筋詳細図1	35
34/36	壁配筋詳細図2	36
35/36	梁構図1	37
36/36	梁構図2	38
	電気設備図	
1/9	配置図・ポンプ室動力配線図・幹線系統図	40
2/9	A棟1、2階　幹線・電灯・動力設備配線図	41
3/9	A棟3、R階　幹線・電灯・動力設備配線図	42
4/9	B棟　幹線・電灯・電話・テレビ共同受信設備配線図	43
5/9	住居内　電灯・インターホン・ガス漏れ警報設備配線図	44
6/9	電話・テレビ共同受信・セキュリティインターホン設備系統図	45
7/9	A棟1、2階　電話・テレビ共同受信設備配線図	45
8/9	A棟3階　電話・テレビ共同受信設備配線図	47
9/9	B棟1、2、3階　火災報知設備配線図	48
	機械設備図	
1	屋外配管図	49
2	配管系統図	50
3	A棟1、2階平面図	51
4	A棟3、R階平面図	52
5	B棟1～R階平面図	53
6	受水槽ポンプ室廻り平面詳細図	54
7	衛生個面詳細図	55
8	換気平面詳細図	56

東部公団第二建設局団地整備事業 工事仕様書

1 工事概要

1. 工事場所　岡山県岡山市伊島町2丁目 1224
2. 敷地面積　2001.24 ㎡
3. 工事種目

1. 鉄筋　A種　鉄筋コンクリート造 5階建　　延床 1 棟　653.23 ㎡

延床面積			
1 棟			653.23 ㎡
2 棟			641.79 ㎡
3 棟			641.79 ㎡
合 計			1,936.81 ㎡
床面積	1 階	549.52 ㎡	
	2 階	641.79 ㎡	
	3 階	641.79 ㎡	
	合 計	1,833.10 ㎡	

2. 宿舎　B棟　鉄筋コンクリート造 3階建　　延床 1 棟　225.37 ㎡

延床面積		
1 棟		225.37 ㎡
2 棟		213.93 ㎡
3 棟		213.93 ㎡
合 計		653.23 ㎡
床面積	1 階	213.93 ㎡
	2 階	213.93 ㎡
	3 階	213.93 ㎡
	合 計	641.79 ㎡

3. 事務棟木造家。

4. 構 造　　下記のとおり　　基 礎　　一式
　　コンクリート 鉄筋　　壁 体　　一式
　　ALC パネル 鉄筋　　屋根下地　　一式

5. 仕 上　　（表による）　　〃　　〃

6. 設 備　　（別表による）　　〃　　〃

7. 諸 工 事　　（ガス事業法 その他 ＊特記事項）　　〃　　〃

8. 附 帯　　共通　　〃

2 工事施工条件

1. 現地および付近状況に記載されていない事項は、すべて発注者指示書類（現場説明書）による。

2. 特記仕様
(1) 地盤調査は別途実施済み。
(2) 埋蔵文化財の試掘調査は完了済み。
(3) 既存樹木は極力保存し、やむを得ず伐採する場合は発注者と協議すること。
(4) 近隣への工事説明は着工前に実施すること。
(5) 騒音・振動は特定建設作業の規制基準値以下とすること。
(6) 工事用仮設電力は本工事にて引込み、受電設備を設置すること。
(7) 仮設水道は既設給水管より分岐し、メーター検針は発注者立会いのもと行うこと。
(8) 工事用道路は敷地内に確保し、資材搬入車両の通行に支障のないようにすること。
(9) 仮囲いは高さ 1.8 m 以上とし、連続して設置すること。
(10) 作業員の安全衛生教育は毎月1回以上実施すること。

3 仮設工事

1. 仮囲い　高さ 1.8 m、鋼板張り、延長 120 m。

2. 仮設事務所　プレハブ造 2階建、延床 80 ㎡。

3. 仮設便所　水洗式 3基、男女別。

4. 仮設電力　受電容量 50 kVA、分電盤 1面。

5. 仮設水道　φ20 mm、メーター 1箇所。

6. 仮設照明　共用部 LED 灯 12 基。

7. 仮設足場　単管足場、高さ 15 m 以下。

8. 養生シート　防炎性能 3 類。

9. 揚重機　タワークレーン 1基、吊上荷重 2.8 t。

10. 安全標識　入場者教育時に掲示。

4 土工事

1. 掘削　バックホウ 0.45 m³ 級、掘削深さ 1.5 m。

2. 山留め　親杭横矢板、H-300×300。

3. 埋戻し　山砂、締固め 90 %。

4. 残土処分　発生土 420 m³、場外搬出。

5. 地盤改良　セメント系固化材 50 kg/m³、深さ 1.0 m。

6. 排水　釜場 2箇所、水中ポンプ 50 mm。

7. 土留め支保工　切梁 2段。

8. 埋設物調査　試掘 3箇所。

9. 養生　法面シート。

10. 整地　仕上げ勾配 1/100。

5 コンクリート工事

1. 生コンクリート　普通コンクリート、呼び強度 Fc 24、スランプ 18 cm、粗骨材最大寸法 20 mm。

2. 軽量コンクリート　Fc 21、単位容積質量 1.8 t/m³ 以下。

3. 水セメント比　55 % 以下。

4. 単位セメント量　300 kg/m³ 以上。

5. 単位水量　175 kg/m³ 以下。

6. 空気量　4.5 %。

7. 塩化物量　0.30 kg/m³ 以下。

8. 型枠　合板 t=12、支保工 パイプサポート。

9. 鉄筋　SD345、D16 以上 D25 以下。

10. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

11. 定着　標準フック 90°。

12. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

13. 打設　ポンプ車 1台、打設速度 30 m³/h。

14. 締固め　棒形振動機 φ45。

15. 打継ぎ　水平打継ぎ 1箇所。

16. 養生　湿潤養生 5日間。

17. 試験　スランプ、空気量、圧縮強度 各1回/日。

18. 供試体　φ100×200 mm、6本/組。

19. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

20. 補修　ポンプアップ 1回。

6 鉄筋工事

1. 鉄筋　SD345、D16 以上 D25 以下。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

7 型枠工事

1. 型枠　合板 t=12、支保工 パイプサポート。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

8 鉄骨工事

1. 鉄骨　SS400、H-300×150×6.5×9。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

9 防水工事

1. 防水　アスファルト防水、押さえコンクリート。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

10 左官工事

1. 左官　モルタル塗り、金ごて仕上げ。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

11 タイル工事

1. タイル　外壁 二丁掛タイル、内装 磁器質タイル。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

12 木工事

1. 木工　造作材 ヒノキ、下地材 スギ。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

13 金属工事

1. 金属　アルミサッシ、スチール建具。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

14 ガラス工事

1. ガラス　透明フロート 6.0 mm、Low-E 複層 24 mm。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

15 塗装工事

1. 塗装　外壁 弱溶剤2液ウレタン、内装 水性エマルション。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

16 内装工事

1. 内装　床 フローリング、壁 クロス、天井 ケイカル板。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

17 建具工事

1. 建具　アルミサッシ、スチール建具。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

18 外構工事

1. 外構　アプローチ 平板、駐車場 アスファルト舗装。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

19 設備工事

1. 設備　給排水 塩ビ管、電気 IV 線、空調 EHP。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

20 その他

1. その他　清掃 竣工時1回、害虫駆除 年1回。

2. 加工　工場加工、機械切断。

3. 組立　結束線 #8、スペーサー 100 個/m²。

4. 継手　重ね継手 40d、機械式継手 一部。

5. 定着　標準フック 90°。

6. かぶり厚さ　基礎 70 mm、柱 40 mm、梁 40 mm、スラブ 30 mm。

7. 検査　材料検査 1回、配筋検査 1回。

8. 補修　ポンプアップ 1回。

14 塗装工事

1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1A)

表面処理の種類	処理	皮膜

2 防食を施すもの (14.2.3, 14.2.2, 11.2.3A, 11.2.4A)

施工箇所	塗り分けるもの種類	塗り重ね回数
	A 種	◆ 1回 ◆ 2回
	B 種	◆ 1回 ◆ 2回
	C 種	一般事務所仕様 ◆ 2回(厚さ 0.05mm) ◆ 3回(厚さ 0.075mm)

④ 塗膜の付着力試験 ◆ 行う ◆ 行わない (14.2.3)

⑨ 耐候性及び汚染性 特殊なものの種類 (11.1.1B, 11.4.1A)
◆ 11.4.1Aによる ・

⑪ 仕様及び塗装方法 エナメル, ラッカーなどの種類 (14.5.2B, 14.5.1A)
◆ 14.5.1Aによる ・

⑤ 耐候手引及び金属素材検査 塗装のつき ◎ 行う(◆ 大臣官房 ・ 営繕部門 ◆ 行わない (14.6.1)
(14.7.1)

⑥ 塗装工場 特記なき場合は、JIS K 5551 による。

種別	アルミニウムフィニッシング(粉末塗装)	
用途・素地調整・処理		
寸法(mm)	長辺	
	短辺	
色		
表面処理		
検査方法	◆ 試作あり ◆ 試作なし(◆ 承認図 ◆ 材料見本)	

⑦ 耐候性能メタル ・ 色 すずエルタルメタル製(すずエルタルメタル), 大阪冶金工業(スタンダードメタル)
・ カラー すずエルタルメタル製(すずエルタルカラースーパーメタル), 大阪冶金工業(すずエルタルーメタル)

⑧ ペンキ塗合い調仕切り板 種類 ◆ 鋼板製(表面処理板厚0.3mm程度とし、塗装の最小付着量は両面で210g/m²とする。)(共仕様仕様による)
・ アルミニウム製
表面処理 ◆ B一1種 ・ B一2種 (15.3.1A)

15 防水工事

① 防水仕様 屋内の発光ダイオードの防水は行わない。防水仕様は性能を満たすほかに東京都内等の認定されるものとする。

② ヒルネルサイ 仮水槽を使用する場合は、特記仕様書による。 (15.3.1)

③ 防水モルタル塗り 防水剤の製造所 アルホート工業(アルホート), 中村化成(中村NX), 関東化学工業(ポリマー), 日本ピグメント(日本ピグメント防水剤製造所ワンライト日号), 吉田化学工業(ポルタ), 油脂化成(マノール), ベストン(ベスト)

④ 合成ゴムアスファルト

⑤ 入札CMを用いるアスファルト塗り 仕様の種別及び呼び ・ A種 ◆ B種 (15.5.1A)
製造所 日本化成(JSアルファー(F)), サンエス石油(日本SSアスファルト), 太洋ミック化学工業(ダイアックアスファルト), ニッコー(SSMアスファルト), 吉田石油(ユートップ)

⑥ 仕上げ仕様 ◎ A種(適用仕様上記参照) ・ B種 (15.6.1A, 15.6.1A)

種別	下塗	中塗	上塗
・ 内装モダンさん			
・ 内装モダンさん			
◎ 外装合成樹脂エマルション系	◎ 指定色	◆ 同色	
・ 外装合成樹脂エマルション系	☒ 指定色	・ ローラー塗り	

・ B種(屋根仕様上記参照)

種別	下塗	中塗	上塗
・ 内装モダンさん			
・ 内装モダンさん			
・ 外装合成樹脂エマルション系	・ 行う	・ ここだけ	
内装合成樹脂エマルション系	・ 行わない	◆ 同色	
		・ ローラー塗り	

◎ C種(屋根仕様上記参照)
◆ 一般部 ・ 特殊部

種別	内装造作	仕上げ	上塗
・ セメント系		◆ 行う	
・ ポリマーセメント系	◎ 行う	◆ 光沢	◆ 同色
・ 合成樹脂エマルション系	・ 行わない	・ マットな	・ ここだけ
◎ 外装塗装合成樹脂エマルション系		・ 艶消し	・ ローラー塗り
・ 合成樹脂溶液系		・ 行わない	

仕様項目
セメント系, ポリマーセメント系, 合成樹脂エマルション系はアクリル系とする。
外装塗装合成樹脂エマルション系, 合成樹脂溶液系のウレタン系とする。
ALCパネル等の外壁塗装の場合 (15.6.2A)
◆ V等級塗り3

官庁営繕 庁舎の内装塗装については行わない。
文化遺産保存の場合は別途協議等。 ・ 歴史的建築

⑦ 非鉄金属材料仕様 (15.7.1)

種別	種別	仕上げ厚(mm)
非鉄金属仕上げ	◆ 表面処理皮膜仕上げ	◆ 5
	・	・

⑧ ロッカー塗装仕様 (15.7.2B)
種別 ・ 一般用 ・
色彩 ・ 単色 ・ 単色
厚さ(mm) ・ 10 ・ 15 ・ 20

⑨ 特殊ホール 塗装ホール(特) コロナ放電処理 ◆ 無 ◆ 有

16 左官工事

① アルミニウム製建具 (16.2-2-1表)
(特定60.70㎜ ◆ 気密性能)

種別	A	B	H
耐風圧力(N/m²)	・	◎ 2kN	◆ 2.5kN ◆ 3kN
気密性による等級	・ 2 ・ 3	◆ 3 ◆ 4	◎ 3 ◆ 4
水密性による等級	・ 2S ・ 3S ・ 5A	◆ 3S ◆ 4	◆ 3S ◆ 4 ◎ 5
わたの見込寸法	・	◆ 70mm	◆ 100 ◎ 150
左官処理		◆ B一1種 ・ B一2種	

製造所 三協アルミ, 新日軽, 第日軽, 日軽のベストル, トーヨーサッシビジネス建材, 日本サッシ, 不二サッシ, 菊倉建具, 立山アルミ, 立山アルミ工業, トーヨーサッシ, 日本アルミ, アルナ工機, 大阪アルミサッシ, 神鋼ファインテック, 日東ウォールシステム

② 鉄 (16.2.5)
使用方法による区分 ◆ C3(屋外使用箇所) ・ C2(屋内使用)
機能による区分 ◆ 2(1.8t) ・ 1(2.3t)
鋼の仕様 ◆ ガラス嵌め殺し方式仕様 ・ 合成樹脂 ◎ ステンレス製

① 鋼製建具 製造所 ◆ アルミ製建具の製造所, 又はその協力工場, 及び鋼製建具製作の製造所 (16.3.2)
・ 本社の各支店を製造所

寸法精度の確保のための鋼板厚は特記による。
◆ 屋内等一般使用箇所仕様 ・ 特定屋根使用箇所(屋内含む)仕様

(16.1.2)(16.4.3)

⑤ 鋼製軽量建具 (16.4.1)

区分	仕様
鉄の表面処理の区分及び仕様	・ 無処 ◆ ステンレス アルミニウム
ビスの表面処	・ 無処 ◆ ステンレス 電気亜鉛めっき
枠	◆ 16.1.2Aによる ・ 製造所仕様

製造所 長谷サッシ, シャッター工業, 日本建具, トーヨーサッシビジネス建材, 共和製作, 文化シャッター

17 建具工事

① 鉄木仕様 (17.1.1)
実際の製作及び取付の管理は特記なき仕様書第11章(木工事)共通事項の認定表示のあるものとする。

② 造成及び基礎の寸法の特記 (17.3.1)
板取使用例 ◆ A種 ・ B種 ・ C種

③ 調合ペイント等の特記 (17.3.1)
塗料 ◎ 調合ペイント ◆ 合成樹脂調合ペイント ◎ 1回 ◎ 2回 (◆ 中塗り1回)
塗回 合成樹脂調合ペイント ◆ 1回 ・ 2回

④ 亜鉛メッキ鉄ネジ等の (17.11.2)
製造所
メッキ・アクリルの製造所

⑤ メタル・ラッカ仕様の (17.6.2・17.10.1表)

種別	合成樹脂	仕上げ
・ A種	・ 行う	
・ B種	・ 行わない	
・ C種	・ 行う	・ アクリル樹脂エナメル半艶仕上
	・ 行わない	・ 有光合成樹脂エマルションペイント3回塗り

製造所 全国マスチック事業協同組合連合会の製造会社
施工業者 全国マスチック事業協同組合連合会の組織化された組合員で施工する確定組織に合致した者とする。

⑥ 使用時定人仕様の (17.10.2)
入居仕様(カラーコンクリート, 光触媒塗(アクロユニットカラー), 中村塗装(アートコートカラー), イサム塗料(エポロックカラー))

⑦ 承認業者 ◆ 日本建具協会の会員
・ 監督員の承認する建具業者

18 内装工事

① ビニル床シート張り (18.1.1) (18.1.2)

仕様	仕上	色柄	厚さ(mm)	張り方
ビニル床シート	・ 一般部	◆ 単色	・ 2 ◆ 2.5 ・ 3	◎ 全面接着
	◎ L-P部	◎ 複色	◆ 2 ・ 3	・ 部分接着

製造所 サカエ化成(アクアクリーン), タキロン化成(ビニルタイル), 大建工業(ビニルタイル), 東リ(ビニルタイル), 住友ベークライト(ビニルタイル)

② ビニル床タイル張り (18.2.1)

仕様	仕上	厚さ(mm)	張り方
・ ビニル床タイル	◆ 下地調	◆2・3・	接着剤張り(ポリウレタン樹脂系), グラスロン(ポリウレタン樹脂系), ボンドリューム(SBR系), マルコ(ゴム系溶剤形エポキシ樹脂系)
	・ 転写	◆2・3・	グラスロン(ポリウレタン樹脂系), ボンドリューム(SBR系)

③ ビニル幅木 (18.2.1)

仕様	仕上	厚さ(mm)	高さ(mm)
◆ 単層	・ 無処	◆ 2 ・	・ 60 ◆ 75 ・ 100

④ 合成樹脂塗床仕様 (18.3.2)
・ 塗厚仕様 厚さ(mm) ◆ 2 ・ 工法仕上 ◆ 下地仕上 ・ 防塵仕上
製造所
・ エポキシ樹脂モルタル 厚さ(mm) ◆ 2 ・ 工法仕上 ◆ 防塵仕上 ・
製造所

19 左官工事

5 既製建具 ・ パネル(◆ パネル一体式 ・ パネル分離式)
パネル表面仕上げ(上)
鋼板 厚さ(mm) ◆ 0.8仕上 ◆ 0.6仕上
メタリック鋼板等仕上げはアクリル焼付塗料塗装仕上(◆ 表裏色 ・ 特注色)
断熱材 ◆ なし ・ 1種 ・ 2種
製造所 (ドア, 間仕切関係, エネペイ, 日本アイリティ, 岩手建具, コクヨ, ナスロー)
・ スチール(◆ 一般仕様 ・ 防音仕様)
スチール仕様 アルミニウム 1.0t(mm) 0.8t仕上
パネル表面仕上げ仕上
鋼板 厚さ(mm) ◆ 0.6仕上 ・ 0.4仕上
メタリック鋼板等仕上げはアクリル焼付塗料塗装仕上げ(◆ 表裏色 ・ 特注色)
製造所 (ドア, 間仕切関係, エネペイ, 日本アイリティ, 岩手建具, コクヨ, ナスロー)

(19.1.1) (19.1.1A)

仕様	建具箇所	寸法	形式(mm)
◎ ビューこうガラス	扉	・ 下吊り	片・引 ◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		・ 上吊り	◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		◎ 床吊り	・ 3 ◆ 1回押込錠)
	framed	・ 下吊り	片・引 ◆ 3
		・ 上吊り	◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		・ 床吊り	・ 3 ◆ 1回押込錠)
◎ 型板ガラス	扉	・ 下吊り	片・引 ◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		・ 上吊り	◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		◎ 床吊り	・ 3 ◆ 1回押込錠)
	framed	・ 下吊り	片・引 ◆ 3
		・ 上吊り	◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		・ 床吊り	・ 3 ◆ 1回押込錠)
◎ 網入型板ガラス	扉	・ 下吊り	片・引 ◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		・ 上吊り	◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		◎ 床吊り	・ 3 ◆ 1回押込錠)
	framed	・ 下吊り	片・引 ◆ 3
		・ 上吊り	◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		・ 床吊り	・ 3 ◆ 1回押込錠)
◎ 網入型板ガラス(防火戸ガラス)	扉	・ 下吊り	片・引 ◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		・ 上吊り	◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		◎ 床吊り	・ 3 ◆ 1回押込錠)
	framed	・ 下吊り	片・引 ◆ 3
		・ 上吊り	◆ 3 (◆ 1回押込錠)
		・ 床吊り	・ 3 ◆ 1回押込錠)

② 現在板張り (19.1.1) (19.1.1A)

仕様	仕様	厚さ(mm)
・ 現在用途及びそのコンクリートアクセスアイパーカルの種別		◆
・ 現在用途のある床のモルタル仕上げ		・
・ コンクリート仕上げ		・

③ 天然木化粧合板フローリング張り (19.5.2) (19.5.2A)
樹種 ◆ 25mm
材質 ◆ 表裏単板 ・ 芯材
特徴 ・ A種
◆ B種 厚さ(mm) ・ 12(下地なり) ◆ 15(下地なり)
防腐処理 アスファルト系合成樹脂塗料による防腐処理 ◆ 行わない ・ 行う

⑨ 壁紙張り (19.6.1)

施工箇所	品質(JIS)	防火性能及び表示
天井	・ 1種(ビニル系壁紙)	・ 1種 ◎ 2種 ・ 3種
壁	・ 1種(ビニル系壁紙)	・ 1種 ◎ 2種 ・ 3種
天井・壁	・ 1種(ビニル系壁紙)	・ 1種 ◎ 2種 ・ 3種
腰壁・巾木	・ 1種(ビニル系壁紙)	・ 1種 ◎ 2種 ・ 3種

⑩ メラミン化粧板仕様 厚さ(mm) ◆ 1.2 ・ 1.0

⑪ 建具 (19.7.1A)
種別 ・ A種 ◆ B種 ・ C種
型式の表示記号等は特記による。
製造所 (ドア, 間仕切関係, エネペイ, 日本アイリティ, 岩手建具, コクヨ, ナスロー)

⑫ 鉄扉 (19.7.2)
製造所 (ドア, 間仕切関係, エネペイ, 日本アイリティ, 岩手建具, コクヨ, ナスロー)

⑬ 建具仕様 (19.11.1A) (19.11.1A)

仕様	建具箇所	寸法・形式	施工箇所	厚さ(mm)
・ ロッカー扉	ロッカー扉	ロッカー扉 1号		◆ 25 ・
・ ロッカー扉	ロッカー扉	ロッカー扉 2号		◆ 25 ・
ロッカー扉	扉	25t		

ガラスロール式合板の取付け方法
◆ ラスカット(30t)の型枠の上ブレード ・ 150 上の

⑭ コルク仕様 種別 コルクタイル C・L ・

21 鉄骨工事

① 建方 (21.1.1)
◆ 現場発生の許容量 ◎ なし (21.1.1)

② 工作及び組立て (21.1.2)
◆ 許容誤差内 ・ 完成上

③ 工場塗装 (21.2.1)
種別 ◆ さび止め ・ 錆止
塗装り
・ 下地 ◆ 錆止り ・
・ 錆止めの方法 ◆ ペイ塗り ・
・ 錆止めの回数 ◆ 第2塗り ・
不 足 ◆ 行う ・ 行わない (21.2.1) (21.3.2)

④ 工場仮組 (21.2.1)
種別 ・ 本締高力ボルト接合 ◎ パーク本締め
製品 ・

22 鉄骨工事

① コーナービード (22.1.1)
仕様 ◆ ステンレス鋼 ・ アルミニウム合金
高さ(mm) ◆ 1900まで ・ 2m まで

② 造作材料 (22.1.2)
仕様 ステンレス鋼
形式 ◆ ビニルテイすなわち合成ゴムタイヤ入り
製造所 ナカニ工業(ステロ1, ステロ2), アトラス電子工業(ATR-1), 太田興業(ステンレス), 千代田工業(SUS-1)

③ 笠木 (22.1.3)
仕様 ◆ 鋼製笠木 ・ 木製笠木 ・ 石あり笠木
わく ◆ アルミ合金製 ・ 木製
色彩 ◆ 銀 ・ 黒 ・ 白

④ エクセーション (22.3.1)
種別 ◆ スプリング金式
寸法(mm) 幅( ) 高さ( )

⑤ マーキング (22.3.1)

施工箇所	文字等の表現(製造所)	文字の種類	形式	引き出し数量
			・ 小引出 ◆ 引き出し	・ 有 ・ 無
			・ 小引出 ◆ 引き出し	・ 有 ・ 無
			・ 小引出 ◆ 引き出し	・ 有 ・ 無

⑥ セーフティーカー (22.3.2)
仕様 ◆ ステンレス製 ・ アルミ製
製造所 トーソー(アドックスエース), メニダ(ロールス)

⑦ ブラインド (22.4.1)

仕様	形式	引き出し数量
種別	◆ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
種別	◆ アルミニウム合金 ・	・ アルミニウム合金 ・ クロス
操作方式	◆ コード式 ・ コードレス	
スラット幅(mm)	◆ 25	・ 100 ・ 60
取付ボックスの仕様	◆ 共仕上ステンレス製	

製造所 日本ベネシアブラインド, 大阪ベネシアブラインド, ニチベイ
製品名称(商品)確定する時点を以下とする。

⑧ アコーディオンドアー 製造所 日本ベネシアブラインド(アコーディオンドア), 立川ブラインド工業(ハードドア), ニチベイ(ユニフレール)
製品名称(商品)確定する時点を以下とする。

⑨ 鏡 仕様 (22.5.1)
共通仕様による。 ◎ 厚さ6mm ◆ 5mm(特) 3mm(特)
・ 型板ガラス : ステンレス製 ・ 真鍮製 ・ 鉄製(下: ステンレス製 ・ 真鍮製)
字数( ) 文字の大きさ( )号 ・

⑩ 金具 バーナー ・ 亜鉛ダイカスト製 ・ アロンカスト製
支 ◆ バランスバネ(◆ 一般型 ・ シュー付型) ・ 押釜式
ネジ ◆ 真鍮ニッケルメッキ ◆ ステンレス
寸法(mm) 長さ( ) 幅( ) 高さ( ) (◆ 2点止め)

⑪ ロッカーマット ◆ ビニル製(ソフトビニル製) ・ エムシロ工業(スミトークラインマットA型上), 日東産業(クッションマット)
・ 硬質アクリルボード製
⑫ 飾り目地金物 ガラス留め ・ ビクトグラフ ・ 非金属材料 ◎ 日本板硝子(マモル)
詳細は製造所仕様による
⑬ ブレーキング 材質等 6-3仕様
⑭ 外壁 仕様 ・ 無 材種 アルミニウム 寸法(mm) ◆ 450×450 ・ 600×600
製造所 ナカニ工業(パイパネS, Dパンチングパンチング), 津端科業(風工業(太洋商材), ダイケン(ダイケンボード)
床 仕様 アルミニウム 寸法(mm) ◆ 450×450 ・ 600×600
製造所 日本パネルフロアー(ハーモSAS), 第一鋼材(フロアーハーモ), ダイケン(床下地材BSP), 中小工業(スペーシア), 岩村技研(フロアーパネルFアーミ, Sアーミ)
⑮ 屋上点検口 ◆ 既製品(◆ 1号 ・ 2号) ・ 特注製作
⑯ 昇降タラップ金具 形式 踏板型
安全設備 日本ミラコン(株)による(転落防止)
屋内部 800A以上(1000A以上)
屋外部 ◆ 1500A以上(1600A以上) ・ 500A以上(550A以上)
製造所 小松製作所, 第一鋼材, 岩村技研工業, 福助製作, ナカニ, 日村鉄工所, 三洋産業, 中部工業

⑰ 機器台 製造所
架設仕様 ( ) ( ) ( ) 地震荷重 G=0

⑱ 仲介物 材質 通常 ◆ A種 ・ B種 (22.5.1A)
建物用途その他 ・ A種 ◆ B種

⑲ 現場プロック積み 施工の形式 ◆ 直方形 ・ 長方形 (22.6.2)
JIS による本型区分 ・ ブロックA ◆ ブロックB
目地モタ ・ 行う ◆ 行わない

⑳ 乾燥・硬化仕様 ◆ A種 ・ B種 ( ) 種別 (22.7.1)

㉑ フェンス 製品名称 (22.8.1)

㉒ 建具関連メーカー名 日本アルベスト(エースタイプ), 大阪ベネシアブラインド(ベスタイプ)

㉓ 手すり ◆ アルミニウム
製造所 ダイケン(アルビット), 中小工業(エースビット), ケイソウ(ラインビット), アトラス電業(アルビット), 日本ビット(アルミビット)

㉔ 防錆下手すり等仕様 ビニル製 アトラス電業(ハンドレール), 手摺興行(ビニルアンハンドレール), 大阪興業(ハンドレール)

㉕ ステンレス製屋外仕様 製造所 積層メタリックタイプ(スポーツベースSUS-2型(W1400×H1050)
日本工業(ボスターサービス セラミックDX W1400×H1050)

㉖ 支持見切材 材種 ◎ アルミニウム(仮設材料)(仕様) ◎ ビニル製品

㉗ 機械室点検用ホルダー 材種 ・ 強化ビニル製
・ ラミンコンクリート製 厚さ ◆ 30
製造所 クラレクラシアレート

23 仕上工事

① 床仕上げ (23.1.1)
・ 3.2.3の3種 ◎ 3.2.3の1種

② 階ごとの支持方法(JIS仕様) (23.2.3)
◆ 行わない
・ 行う (◆ 高さ合せ ・ 見きわめ)

③ 敷面の度の検査 (23.3.1)
◆ 行わない ・ 行う

④ アスファルト塗装 (23.4.2) (23.4.2A)
塗料仕様の種別

◎ 一般地域	◎ 表層アスファルト混合物(13)
	・ 基層アスファルト混合物(20)
・ 寒冷地域	・ 表層アスファルト混合物(13F)
	・ 基層アスファルト混合物(13F)

シール目地 ・ 行う ◆ 行わない (23.4.3)
アスファルト混合物の検出試験 ・ 行う ◆ 行わない (23.4.4)

⑤ コンクリート舗装 表仕様 ◆ 発明する(・ 150×150mm ・) ・ 発明しない (23.5.1)

⑥ 防水層 (23.6.2) (23.6.1A)
ポーラスコンクリート(◆ 透水性コンクリート ・ 保水性コンクリート) (23.6.1A)

24 外構工事

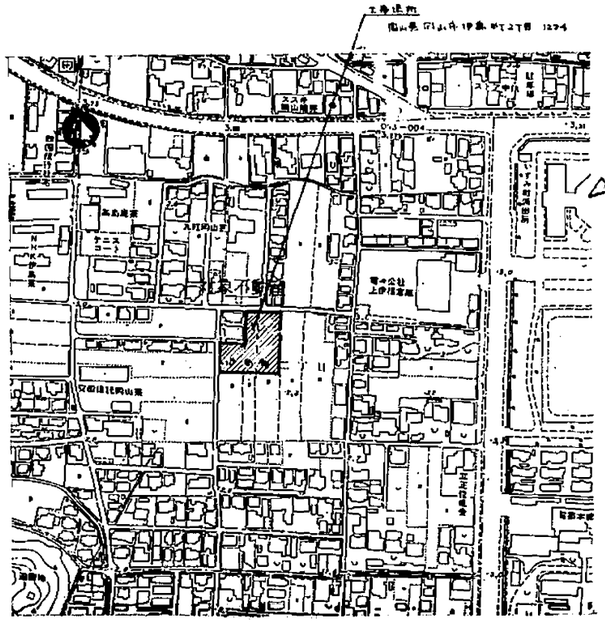
① 流心力排水コンクリート三次元製品コンクリート管 管材は2m以上の製品とする。 29.1.1 24.1.1(2)
接合 ◆ ソケット接合による場合 ・ カラー又はバンドの上のモルタル場合
巻立 ◆ 1巻 ・ 2巻

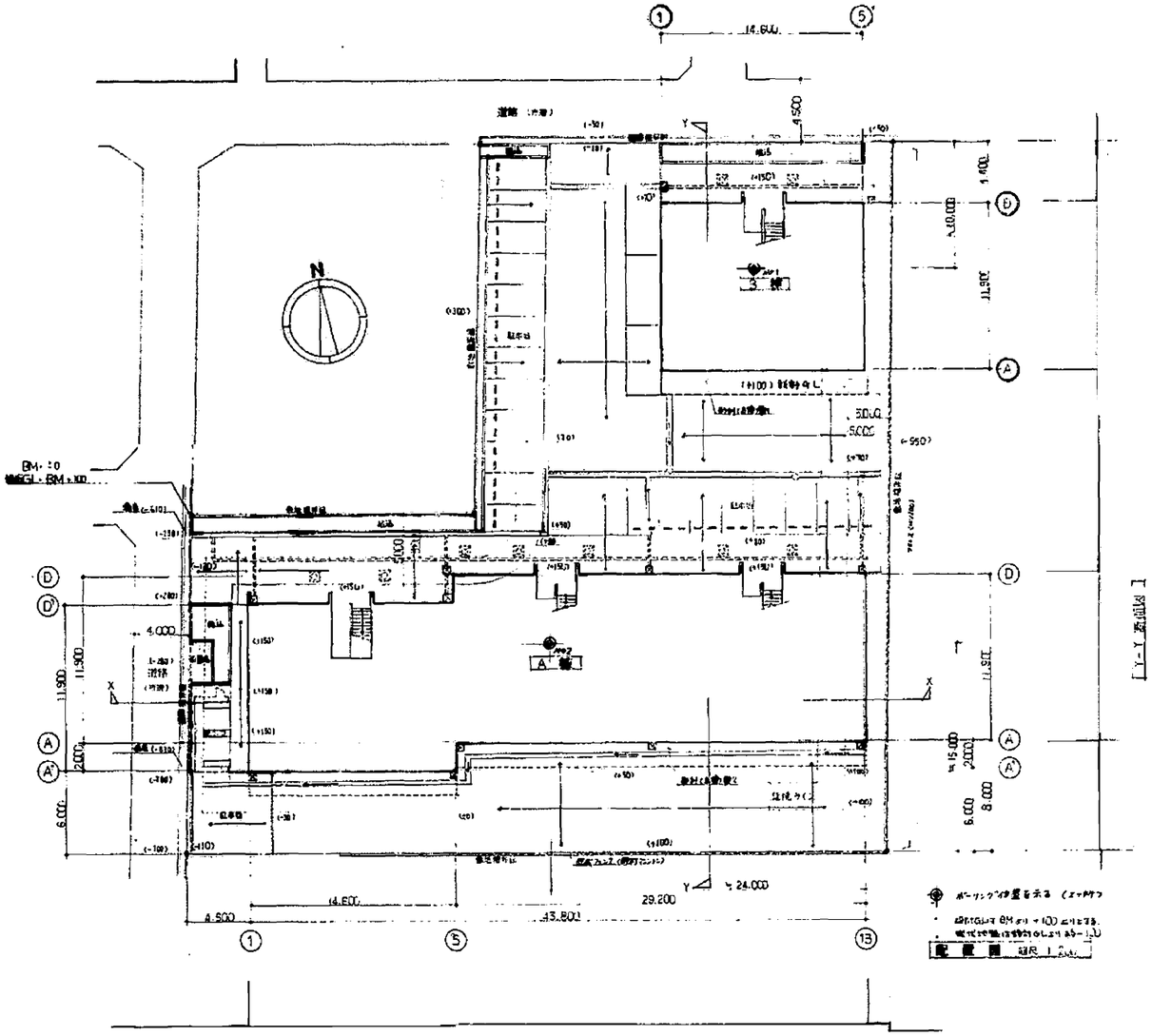
② 硬質塩化ビニル管(VP) 埋戻は土砂使用

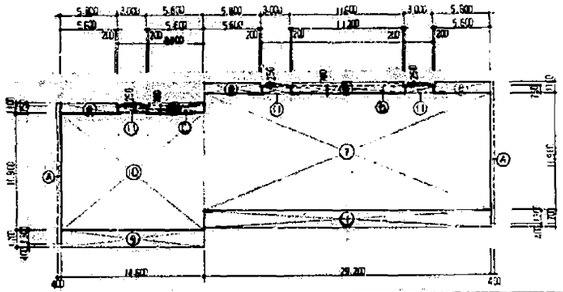
③ 排水桝 ・ 鉄蓋仕様 ◎ 鉄筋コンクリート製

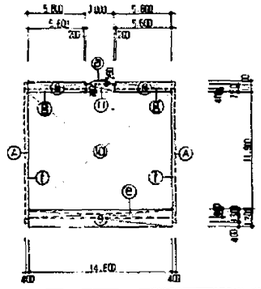
完成図

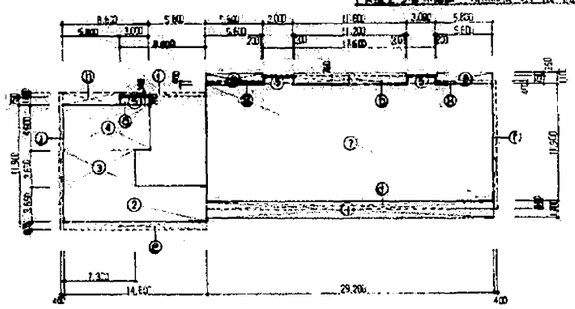
本四公団第二建設局岡山営繕建築工事
仕様書(2)
中国地方建設局営繕部 2 / 36

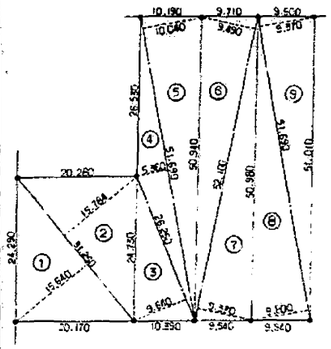












面積表					
	A棟		B棟		A棟＋B棟
階	床面積	建築面積	床面積	建築面積	床面積 合 計
1階	549.22		213.93		763.15
2階	641.49		213.93		855.42
3階	641.49		213.93		855.42
合 計	1832.20 ㎡	652.93 ㎡	641.79 ㎡	225.37 ㎡	2,473.99 ㎡

躯体数量表 鉄筋		
径 mm		
①	29.2 × 1.7	49.64
②	14.6 × 3.65	53.29
③	7.3 × 3.65	26.645
④	8.8 × 4.6	40.48
⑤	3.0 × 0.75	2.25
⑥	11.6 × 1.1 − 0.2 × 0.35 × 2	12.62
⑦	29.2 × 11.9	347.48
⑧	5.6 × 1.1 − 0.2 × 0.35	6.31
⑨	14.6 × 1.7	24.82
⑩	14.6 × 11.9	173.74
⑪	3.0 × 0.75 + [(11.6 − 2 × 0.35) × 3.0 × 1/2]	2.7526
Ⓐ	0.4 × 14.3	5.72
○ A棟1階 床面積	①・②・③・④・⑤ × 3 + ⑥・⑦・⑧ × 2	549.525
○ A棟2,3階 床面積	①・⑥・⑦・⑧ × 4 + ⑨・⑩ + ⑪ × 3	641.799
○ A棟 建築面積	A棟2階 床面積 + Ⓐ × 2	653.23
○ B棟1-3階 床面積	⑧ × 2 + ⑨・⑩ + ⑪	213.939
○ B棟 建築面積	B棟1階 床面積 + Ⓐ × 2	225.37

躯体数量表 鉄筋					
径 mm					
②	14.6 × 5.65	53.29	⑦	0.4 × 15.1	5.28
③	7.3 × 3.65	26.645	⑧	5.6 × 0.4	2.24
④	8.8 × 4.6	40.48	⑨	5.6 × 1.1	6.16
⑦	29.2 × 11.9	347.48	⑩	8.8 × 0.34	2.992
⑩	14.6 × 11.9	173.74	⑪	0.4 × 13.8	5.52
ⓐ	3.0 × 0.75	2.28			
ⓑ	17.6 × 0.76	13.376			
ⓒ	8.5 × 0.76	6.688			
ⓓ	29.2 × 0.8	23.36			
ⓔ	14.6 × 0.8	11.68			
○ A棟1階 床面積	②・⑤・④・⑦・ⓒ・ⓑ				485.55
○ A棟2,3階 床面積	⑦・⑩・ⓑ・ⓒ				541.26
○ A棟 基礎面積	⑦・⑩・ⓑ・ⓒ・④・ⓔ・①・⑧・2・ⓑ・①・①				58.68
○ B棟1-3階 床面積	⑩・ⓒ				176.02
○ B棟 基礎面積	B棟1階 床面積 + Ⓐ × 2				26.64

	A棟		B棟		A棟＋B棟
階	床面積	基礎面積	床面積	基礎面積	床面積 合 計
1階	485.55		176.02		661.57
2階	541.26		176.02		717.30
3階	541.26		176.02		717.30
合 計	1568.07 ㎡	602.94 ㎡	528.06 ㎡	202.66 ㎡	2096.13 ㎡

躯体数量			
	径	本	
①	31.250	15.640	488.7500
②	31.250	15.784	493.2500
③	26.250	9.640	253.0500
④	51.690	5.360	277.0584
⑤	51.690	10.040	518.9676
⑥	52.100	9.450	494.4290
⑦	52.100	9.330	486.0930
⑧	51.690	9.800	506.5620
⑨	51.690	9.570	494.3353
			4,002.4963
		2 倍	2,001.24765

完成図

本四公団第二建設局岡山商船建築工事		3
附近見取図,配置図,面積表	縮尺 1/200 1/500	
中国地方建築設計協同組		36

外部仕上表

○ 屋根面	排水ドレン　先端部まで アスファルトルーフィング 2プライ仕上 ホカバットコロージョン塗　防水立上り H=300 ウレタン防水 吹付仕上	○ 笠木	ステンレス製　t=1.5 W=400 H=100　新潟鉄工 SK-401-25型　両端部 R=100 [A棟 3ヶ所　B棟 2ヶ所]
○ 庇	コンクリート t=150 (斜面) アスファルト防水 (2-2)　端部 コンクリート t=150 H=350 (A棟) H=250	○ 雨樋支持金物	プラスチック製　130×215×5　新潟鉄工 SK-600A型　両端部 R=100 [A棟 8ヶ所　B棟 3ヶ所]
○ 庇	コンクリート打放し 仕上げ (B種) の上 撥水性仕上塗材 (2-02-2)	○ 手摺	ステンレス製 (B-32-1)　壁上部埋め込み箇所は [A棟 2ヶ所 (1ヶ所あり)　B棟 1ヶ所]
○ 外壁	コンクリート打放し 仕上げ (B種) の上 撥水性仕上塗材 (2-02-2)	○ 避難ハッチ	600□　ナカヂマ　スカール 両落し　[A棟 1ヶ所　B棟 2ヶ所]
○ バルコニー	床 防水モルタル t=30 (勾配) 仕上　壁 コンクリート打放し仕上げ (B種) の上 撥水性仕上塗材 (2-02-2)　笠木 コンクリート打放し仕上 (B種) 塗材仕上塗材。	○ 雨水孔	ステン製 (ユニット t=10)　新潟鉄工 SK-60C A型　両端部　5 箇所 (A棟 1ヶ所　B棟 2ヶ所)
金属製建具廻り防腐処理	サビ止め塗 (鉄製部)，サビ止め塗 (鉄製部)，防錆処理 (鉄製部)，防錆処理 (鉄製部)，ボルト，ナット，ワッシャー 同 (防水用) インサート (カドから 1ヶ所)	○ 架台	ニトフケ　CS-1035B　両面テープ　2ヶ所 (外構図参照)
		○ 物置架台	1ヶ所　(外構図参照)
○ M	鋼製巾木 防水モルタル立上り共。　笠木。　鉄骨用錆止塗料　100㎛　(SUS 部は塗装無) OP	○ 門扉	4,000 × 1,200　スチール製 両開き　OP.　(外構図参照)
○ ルーフドレン	鋳鉄製 100A (ゼロカン式防臭 縦 1ヶ所 B棟 2ヶ所)　・甲板下 鋳鉄製 100A (ゼロカン式防臭 A棟 2ヶ所、B棟 1ヶ所)	○ フェンス	H=1,200　受けEXユニットとも両面　(外構図参照)
○ 立縁石 (防水)	御影石、t=30 × 300 × 40　(SUS 製ボス)		
○ 搬出搬入物 (防水)	ステンレス製、(脱着式) 2 組。		
○ 最上階搬出材	断熱材 1' 吹付ロ。		
○ 床下換気口	鋳鉄製 防虫網付 400 × 170　OP　(新潟鉄工 SK-341型 ステンレス網付 両面ガラ)		
○ 給気口	化粧格子用枠 (ビニール付) 100A　(場所 KK-8645 FRK + KS-8645 FR 両面ガラ)　(A棟 3ヶ所　B棟 2ヶ所)		
○ 集合郵便受	ステンレス製 360 × 150 × 280　アルミメールボックス 24ヶ5号 両面ガラ、扉開閉 1階入口に取付。(A棟 8戸 1ヶ所、4戸用 2ヶ所　B棟 6戸用 1ヶ所)		

内部仕上表

階	室名	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁 天井 取合	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
	共用物置	コンクリート	コンクリート t=30 押え (A種)　(1-01-2)		コンクリート	打放し 仕上 (B種)　(2-02-1)		コンクリート	スラブ下 すき取 モルタル塗 塗付仕上 "塗材" 増厚 コンクリート打放し仕上 (C種)	基準	スチール製 物品棚 (収納品)
	ゴンドラ	コンクリート	コンクリート コテ押え (A種)　(1-01-2)		コンクリート	打放し 仕上 (B種)　(2-02-1)		コンクリート	スラブ下 すき取 モルタル塗 塗付仕上 "塗材" 増厚 コンクリート打放し仕上 (C種)	基準	
	自転車置場	コンクリート	コンクリート コテ押え (A種)　(1-01-2)		コンクリート	打放し 仕上 (B種)　(2-02-1)		コンクリート	スラブ下 すき取 モルタル塗 塗付仕上 "塗材" 増厚 コンクリート打放し仕上 (C種)	基準	トラフ。
	機械室	コンクリート	防水モルタル コテ押え t=30　(1-01-1) 1階はインターロッキングブロック敷　(1-02-6)	防水モルタル コテ押え H=75　(2-11-5)	コンクリート	打放しコンクリート補修材 塗材仕上。　(2-02-3)	3-11-3に準ず	鋼 鉄	既存 コンクリート補修面は塗付仕上塗材　(3-01-10) 新設 モルタル面 塗付仕上塗材。　(3-01-1)		既存 機械架台まわり
	P.S	コンクリート	防水モルタル コテ押え t=30　(1-01-1)	防水モルタル コテ押え H=75	コンクリート	打放し 仕上 (B種)　(2-02-1)			コンクリート打放しタイル (C種)　(3-01-10)		2.0ホロ (1F) ステンレス製
玄関	アルミサッシ コンクリート	既存 床版	既存 (A種)　(1-01-1)	木製巾木 t=21 OP H=60	コンクリート 木造	GB 2枚 (GL+35) ビニルクロス張り　(2-02-10) GB 2枚 ビニルクロス張り　(2-02-9に準ず)	3-11-3に準ず 3-11-7に準ず	鋼 鉄	RB @12　(3-01-2) 下地 GB @9	t 400	下地ト ニ階
ホール	木造 床組	コルクタイル @5 ワックス仕上　(1-02-11に準ず)	木製巾木 t=21 OP H=60	コンクリート 木造	GB 2枚 (GL+35) ビニルクロス張り　(2-02-10) GB @1 ビニルクロス張り　(2-02-9に準ず)	3-11-3に準ず 3-11-7に準ず	鋼 鉄	RB @12　(3-01-2) 下地 GB @9	t 300	
洋室	木造床組	ビニル床シート張り t=3　(1-02-11に準ず)	木製巾木 @21 OP H=60	コンクリート 木造	GB 2枚 (GL+35) ビニルクロス張り　(2-02-10) GB 1枚 ビニルクロス張り　(2-02-9に準ず)	3-11-3に準ず 3-11-7に準ず	鋼 鉄	RB @15　(3-01-2) 下地 GB @9	t 400	カーテンレール (ダブル) クーラースリーブ (製造) ビクターHI(防火用)フラット回インサート
和室6帖(1)	木造床組	タタミ敷込　(1-02-7に準ず)	タタミ縁	コンクリート 木造	GB 2枚 (GL+35) ビニルクロス張り　(2-02-10) GB 1枚 ビニルクロス張り　(2-02-9に準ず)	6-42	鋼 鉄	GB (W) 1枚	2,400	カーテンレール (ダブル) 材料ボイ 材質 クーラースリーブ (製造) クーラー用インサート
和室6帖(2)	木造床組	タタミ敷込　(1-02-7に準ず)	タタミ縁	コンクリート 木造	GB 2枚 ビニルクロス張り　(2-02-10) GB 1枚 ビニルクロス張り　(2-02-9に準ず)	6-42	鋼 鉄	GB (W) 1枚	2,400	カーテンレール (ダブル) 材料ボイ 材質 パーテーション (製造) クーラー用インサート
玄関 食室	システム床組 一部 木造床組	コルクタイル t=5 ワックス仕上　(1-02-11に準ず)	木製巾木 @21 OP H=60	コンクリート 木造	GB 2枚 (GL+35) ビニルクロス張り　(2-02-10) GB 1枚 ビニルクロス張り　(2-02-9に準ず)	3-11-4に準ず 3-11-6に準ず	鋼 鉄	CB t=18 下地 GB @9	(3-01-4)　2,400	カーテンレール (ダブル) カウンター クーラースリーブ (製造) ファン用インサート 吊戸棚用 ピクチャーレール (カニール付)
台所	木造床組	ビニル床シート張り t=3　(1-02-11に準ず)	木製巾木 @21 OP H=60	ダルマモルタル 木造	既存 既存仕上 (GL+35) 一部 ビニルクロス張り　(2-01-4) GB 2枚は ビニルクロス張り (厚木造 t=9.5張) (2-02-9に準ず)	3-11-3に準ず 3-11-5に準ず	鋼 鉄	既存 CB @9 (厚木造 t=9.5張)　(3-01-4) 下地 既存 GB @9	t 400	ポルト台 (L=1,200) コーナー型 (L=1,200) ペーパー (L=1,200) 吊戸棚 (L=1,200) 吊戸棚 (L=1,200) レンヂフード (W=1,200) フードレス (W=1,200) ガス台 (L=1,200) ラジエント (W=1,200)
洗面 脱衣	木造床組	ビニル床シート張り t=3　(1-02-11に準ず)	木製巾木 @21 OP H=60	コンクリート 軽 鉄	既存 GB 2枚 ビニルクロス張り　(2-02-10) 新設 GB 2枚 ビニルクロス張り　(2-02-9に準ず)	3-11-3に準ず 3-11-7	軽 鉄	既存 CB @9 下地 既存 GB @9	(3-01-4)　2,200	洗面ボール 地面化粧三 (W1,200) カーテンレール 吊戸棚用 収納棚 安全ロ (H=0")
便所	木造床組	ビニル床シート張り t=3　(1-02-11に準ず)	木製巾木 @21 OP H=60	コンクリート 軽 鉄	既存 GB 2枚 (GL+35) ビニルクロス張り　(2-02-10) 新設 GB 1枚 (LP-1) ビニルクロス張り　(2-02-9に準ず)	5-11-3に準ず 3-11-7	軽 鉄	既存 CB @9 下地 既存 GB @9	(3-01-4)　2,200	安全ロ (H=400") 吊戸棚
押入	木造床組	根太 @ 45	根太材 ボイ		既存 既存仕上	(6-43)	6-43	鋼 鉄	コンクリボード t=9　(3-01-2)	t 400	下地 ボイ
倉庫	コンクリート										ホール パラペット (ハンパ) (新造)

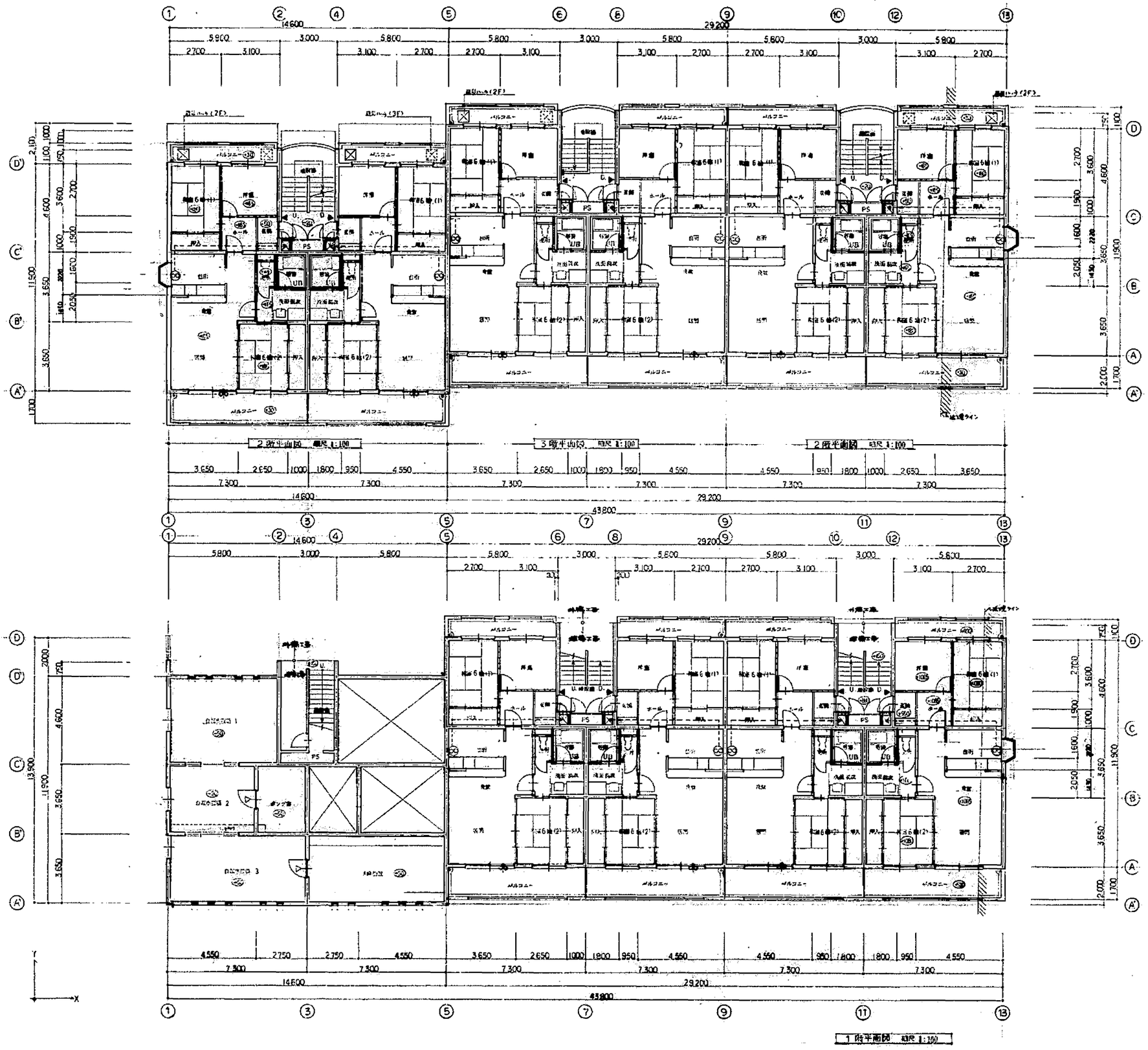
完成図

1 GB　石こうボード
2 GB (T)　ふね石こうボード (タイプ T)
3 GB (W)　ふね石こうボード (耐水)
4 ベイマツ材　天然木ワニス仕上 (ウレタン)
5 RB ・ GB　ロックウール吸音材 (タイロートン　HCH-202)　・ボイ　(耐火 NM-9-3-4100) M.N.G
6 石膏ボード (S)　石膏ボード (耐火)
7 [E-1]　新築部分屋根ルーフドレン (ゼロカン式防臭) 縦 1ヶ所 (ボイ)

1 外部に面する コンクリート打放し には 吹付タイル 又は 塗装とする

1 OP　合成樹脂エマルションペイント塗
2 VP　塩化ビニル樹脂エマルション塗

中国地方建設局岡山河川事務所管内堤防強化工事		4
仕上表	S:1	
中国地方建設局営繕部	監督 課長 副長 係長 設計	36



凡例

- コンクリート造
- 木造
- コンクリートブロック造
- 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 排水管（横引き）
- 排水口（ドレン）
- 避雷ヘッド φ60（ステンレール）
- 竪樋
- 排水管なし
- 雷名なし
- 集合郵便受箱（壁）アルバー（FRP）製

備考

1. コンクリート打ち放し仕上げ（ウレタン塗装）（断面）

LDK

面積 4.55 × 3.65 + 3.65 × 3.65 = 29.93

必要面積 29.93 × 1/7 = 4.28

有効面積

2.5 × 1.8 = 4.5

4.5 > 4.28 O.K

洋室

面積 2.7 × 3.6 = 9.72

必要面積 9.72 × 1/7 = 1.39

有効面積

1.7 × 1.8 = 3.06

3.06 > 1.39 O.K

浴室

面積 2.1 × 2.7 = 8.37

必要面積 8.37 × 1/7 = 1.2

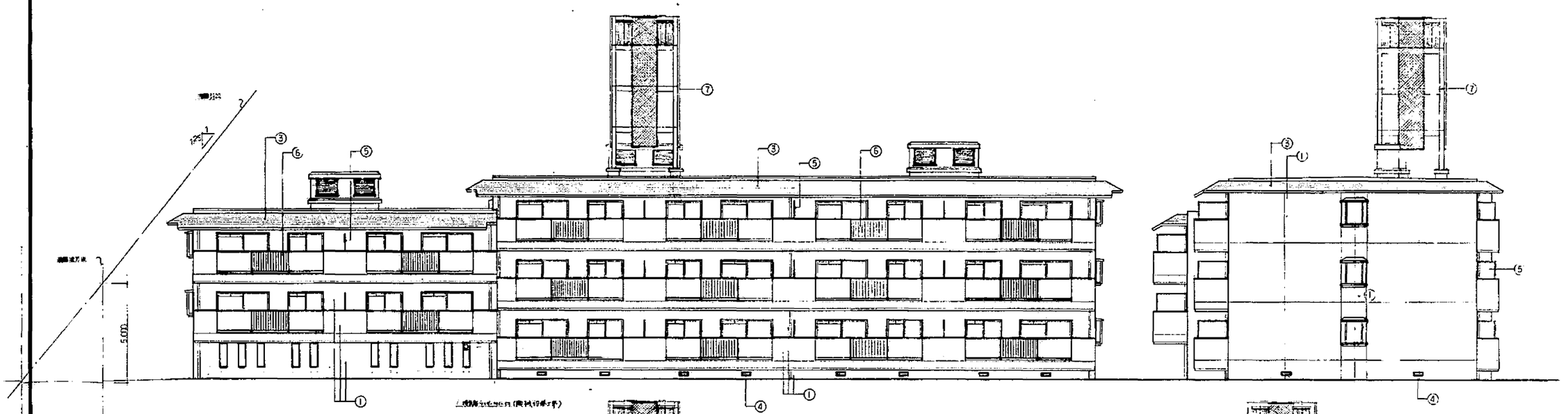
有効面積

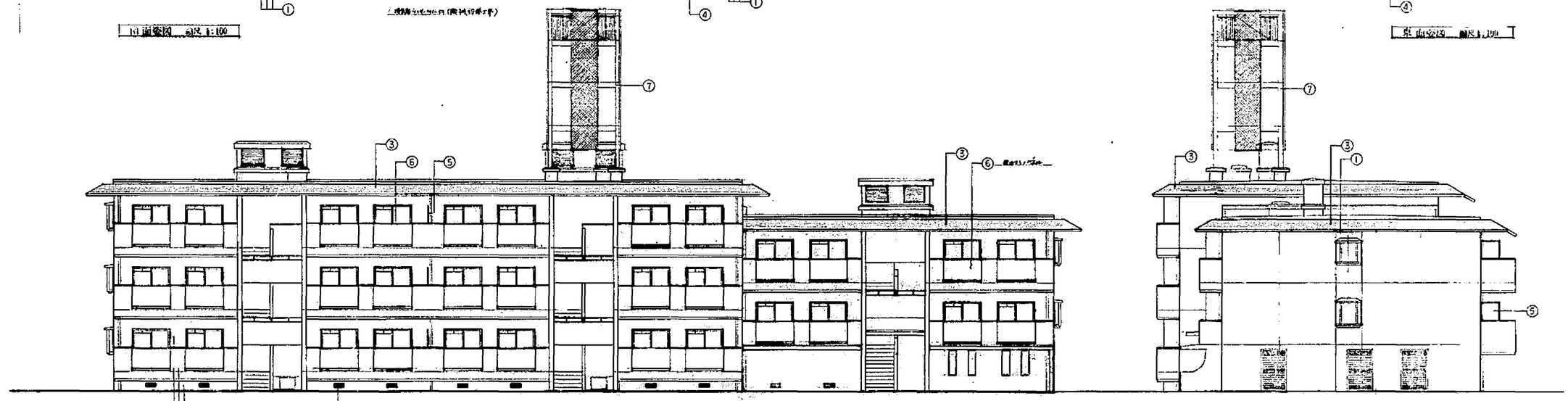
1.7 × 1.8 = 3.06

3.06 > 1.2 O.K

完成図

本四公団第二建設局岡山管理事務所建築工事		5
A棟 平面図	S=1/100	
中国地方建設局営繕部		36

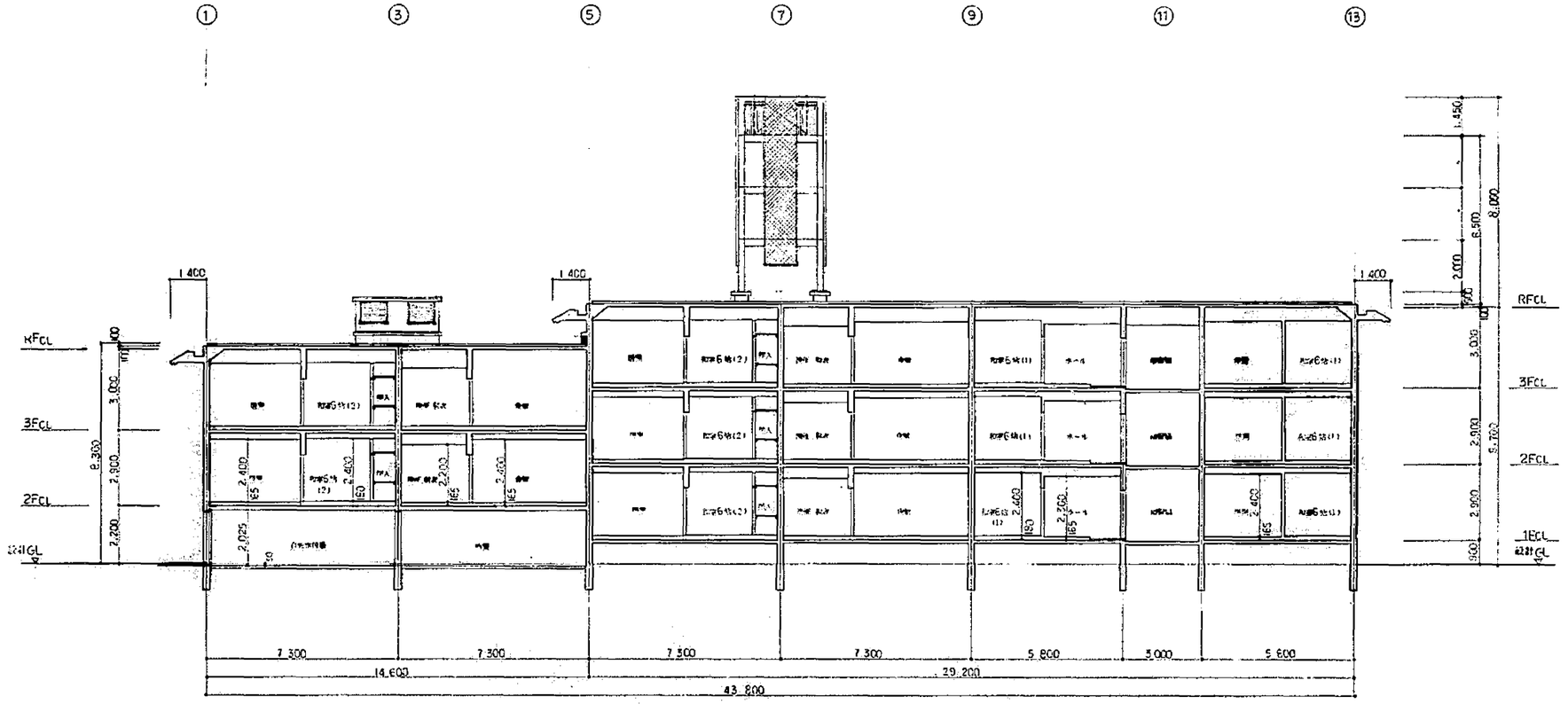




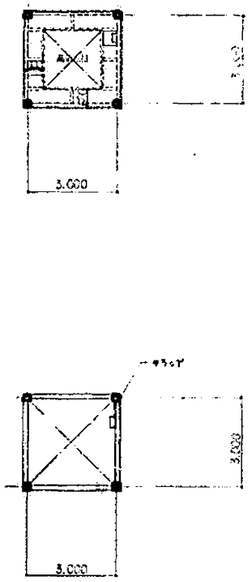
番号	仕上
①	コンクリート打放しﾚｲﾀﾝｶﾗｰ(白色)ｵﾖﾋﾞ補修仕上塗材
②	コンクリート打放しﾚｲﾀﾝｶﾗｰ(白色)ｵﾖﾋﾞ撥水塗材
③	鉄骨ｾﾒﾝﾄﾍﾟ
④	窓ｻｯｼ枠ﾄﾘ
⑤	鋼ｶﾞﾗｽ
⑥	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ（化粧色）
⑦	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ

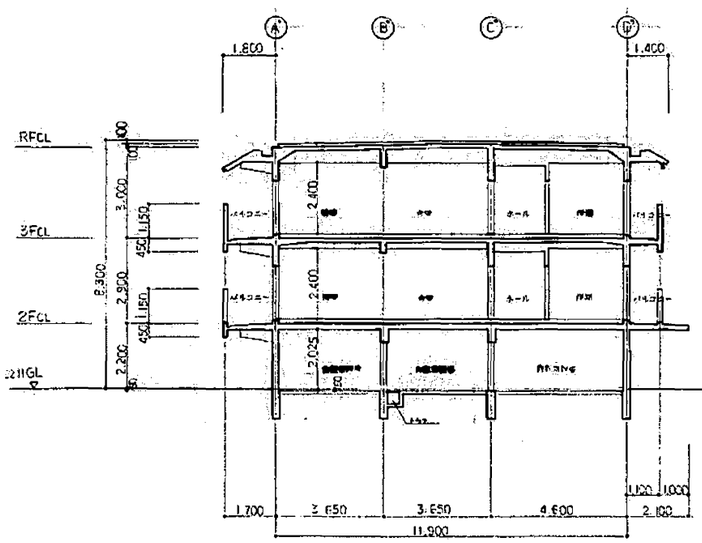
完成図

本園公園第二建設局岡山宿舎建築工事		6
A棟 姿図 屋根伏図	S:1/100	
中国地方建設局営繕部		36

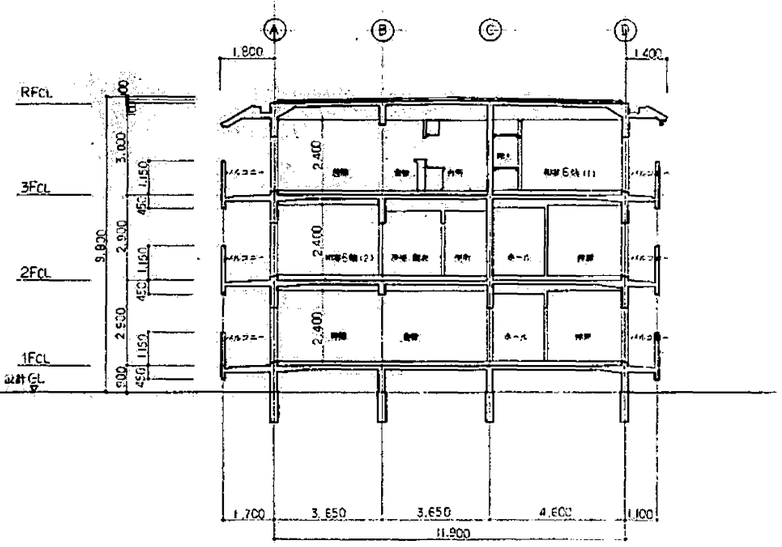


X－X 断面図 縮尺 1:100

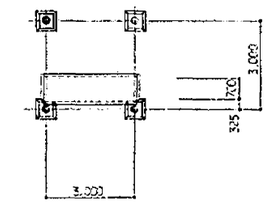




Y－Y 断面図 縮尺 1:100

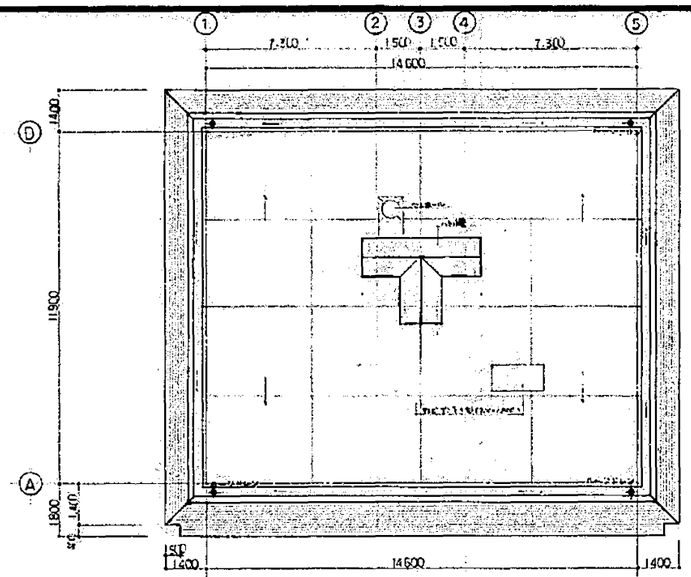


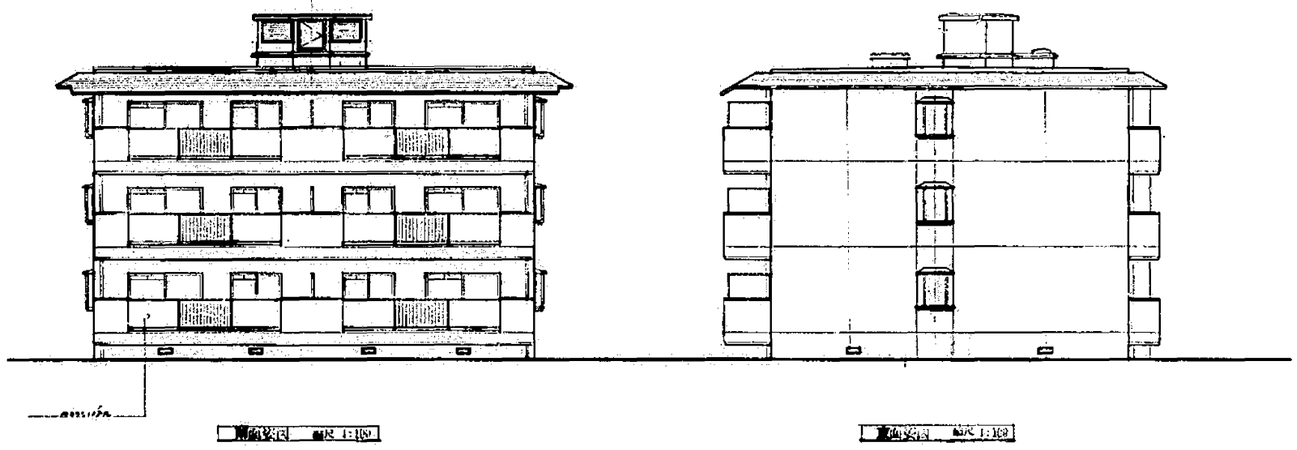
Y－Y 断面図 縮尺 1:100

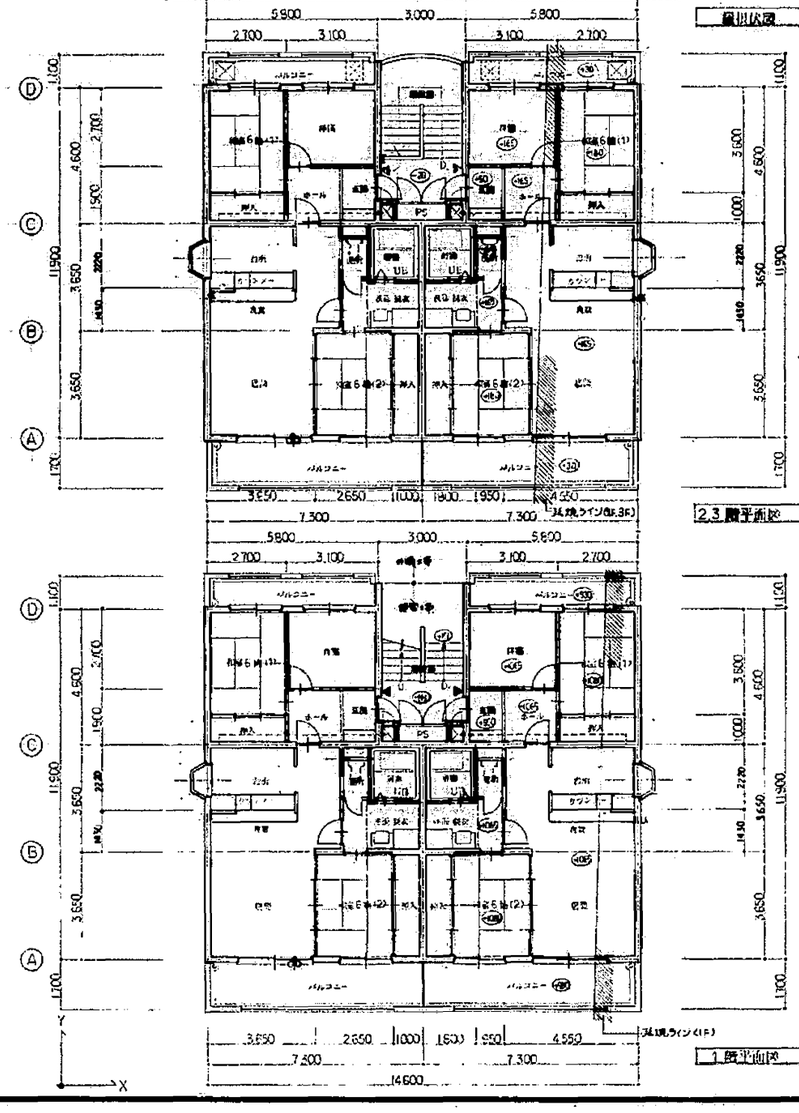


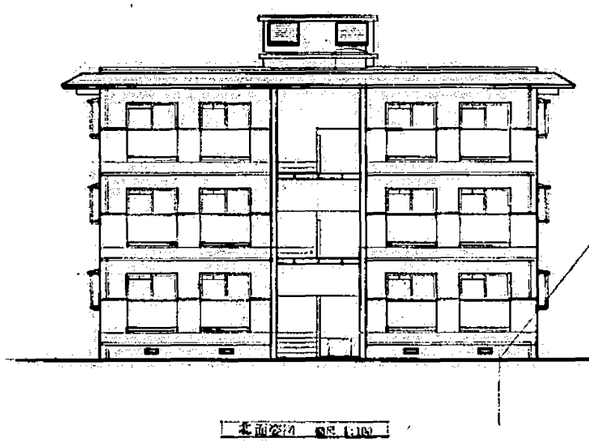
完成図

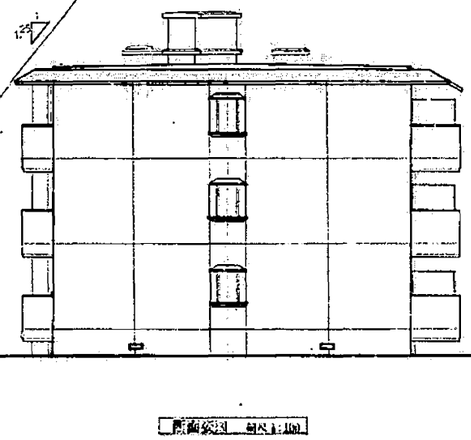
木四公団第二建設局鋼山宿舎建築工事	7
A 棟 断面図 S=1:100	
中国地方建設局営繕部	36

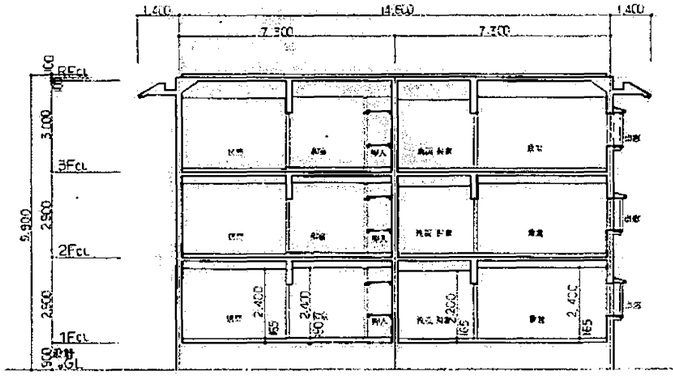


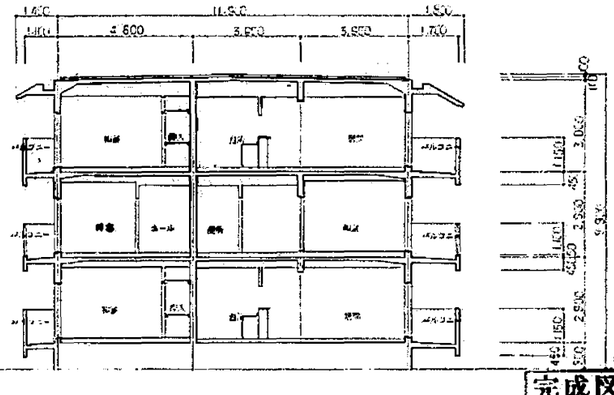






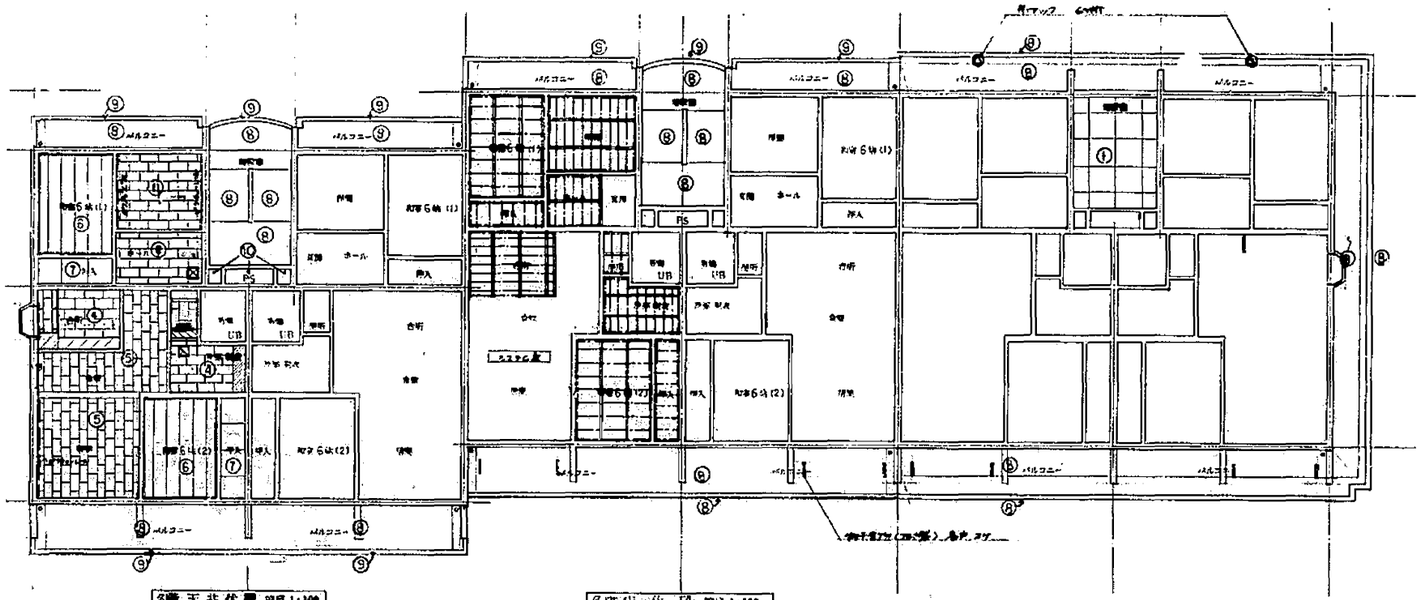






完成図

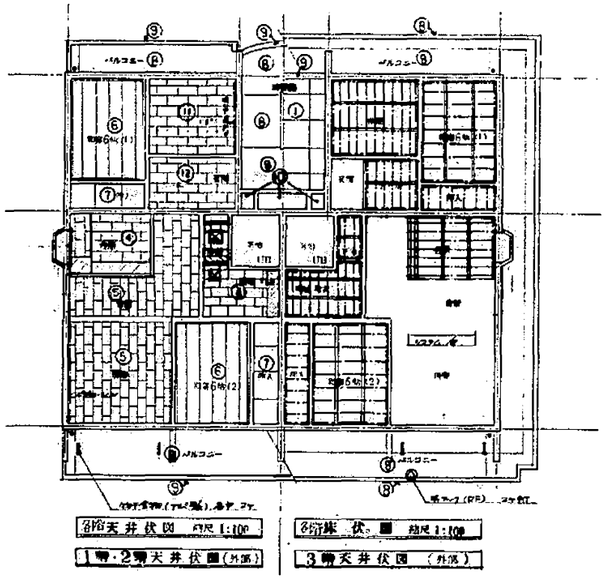
本西公団第二住宅団地内西山宿舎建築工事	8
5号 平面図 立面図 断面図 S=1/100	
中国地方建設局営繕部	36



1階天井伏図 (外部)

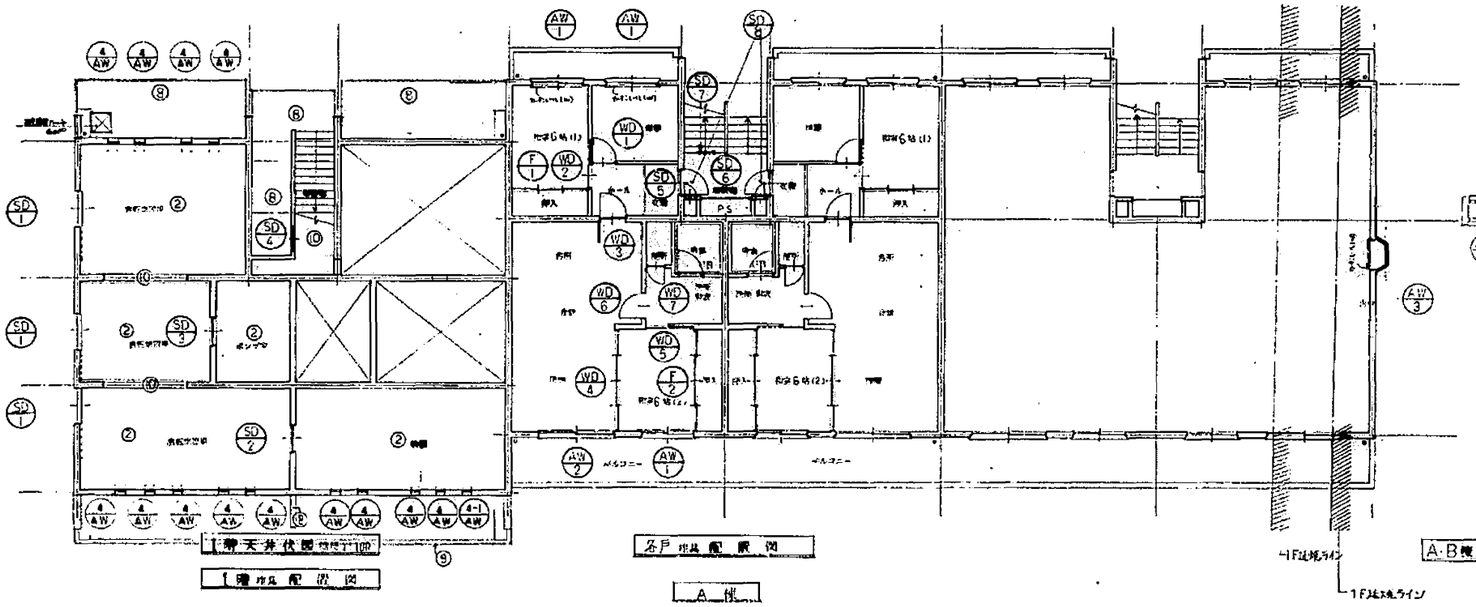
2階天井伏図 (外部)

3階天井伏図 (外部)



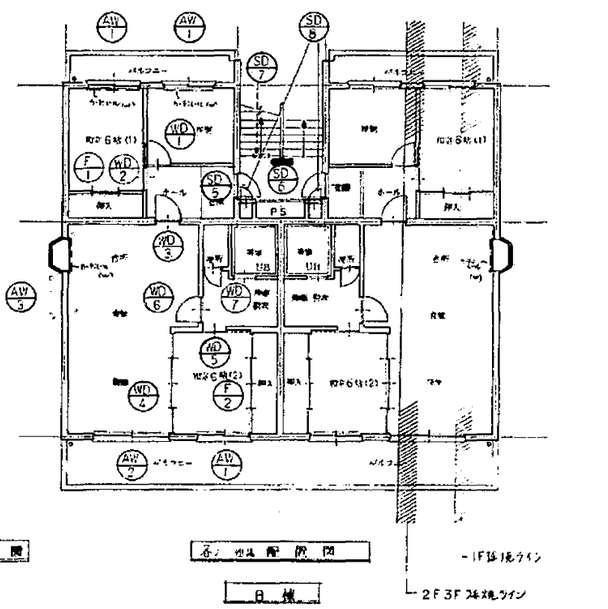
1階・2階天井伏図(外部)

3階天井伏図 (外部)



1階 住戸配置図

A棟



B棟

天井仕上リスト

記号	下地	仕上
①	S	ケイカルボード@6 通気ロ有仕様
②	C	スラブ 木毛板@25 12mm以上 現場仕上塗材
③	S	GB(T)-9
④	S	耐水 RB@9 (下地 耐水GB@9)
⑤	S	RB@19 (下地 GB@9)
⑥	S	GB(W)@9
⑦	C	ボード合板@
⑧		コンクリート打放しVEP (B種)上 通気ロ有仕様
⑨		コンクリート打放しVEP (B種)上 現場仕上塗材
⑩		コンクリート打放し (C種)
⑪	S	RB15 (下地 GB@9)
⑫	S	RB12 (下地 GB@9)

凡例

	断熱材 ロックウール
	外壁・耐力壁 ALC板
	天井点検口 600×600 (アルミ製)
	ピクチャーレール 廻縁 照明ライン配線 トレーサー線(黒線) ハロゲンライト取付

記号	
AD	アルミ製 ドア
AW	アルミ製 窓
AG	アルミ製 ガラス
SD	スチール製ドア
WD	木製ドア
AWD	アルミ製 ドア
ASW	アコルデオン製 窓

木製建具仕様

	框寸法	桟寸法	鏡寸法	
	90 × 45			
	45 × 90	45 × 90		
	45 × 45@450	40 × 45@360	45 × 55 @ 300	

完成図

本四公団第二連絡橋岡山県倉敷工事

床伏図、天井伏図

建具配置図

S=1/100

中国地方建設局営繕部

9

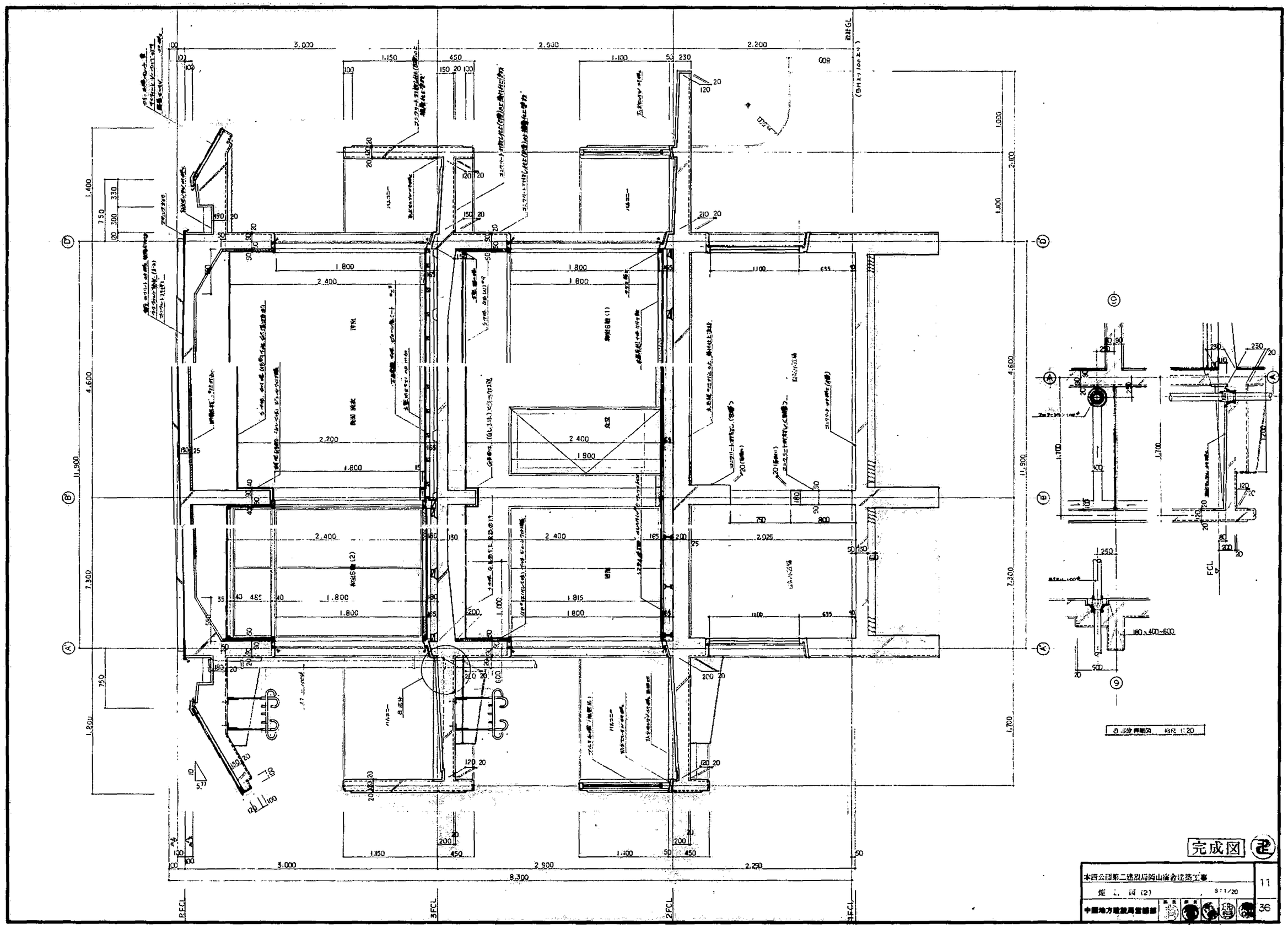
36

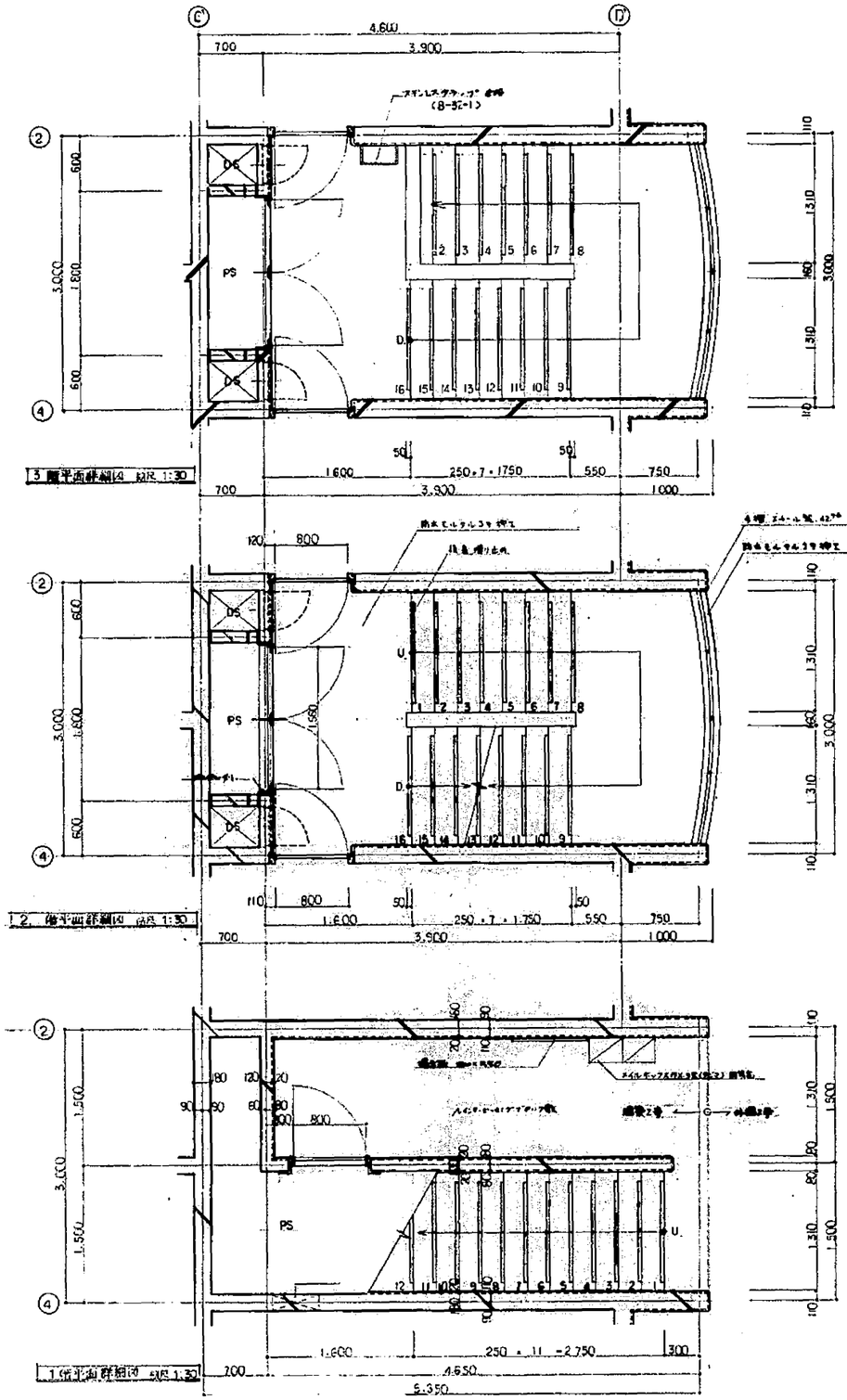
12

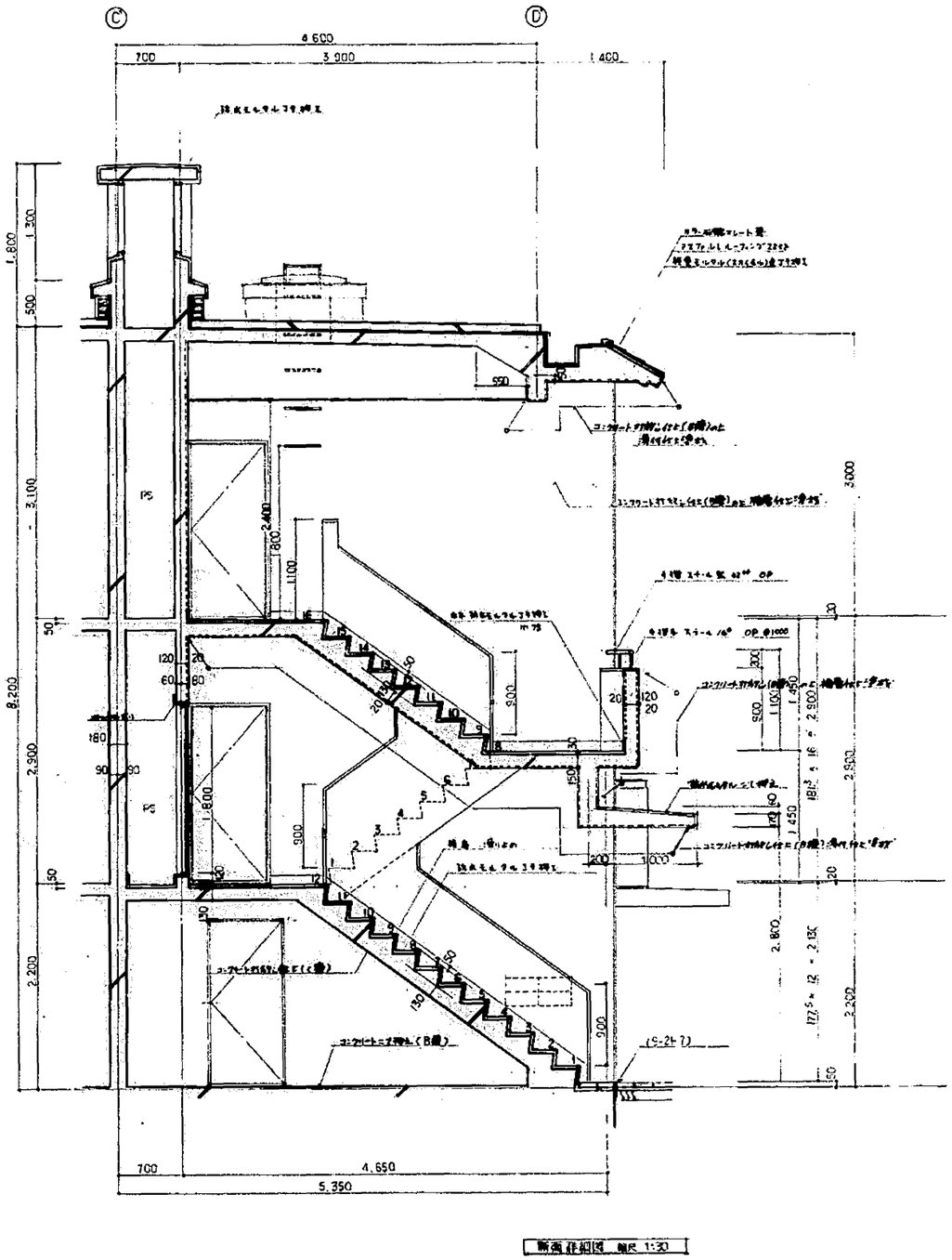
完成図

10

36


完成図
本四公団第二建設局岡山備讃工事
11
36

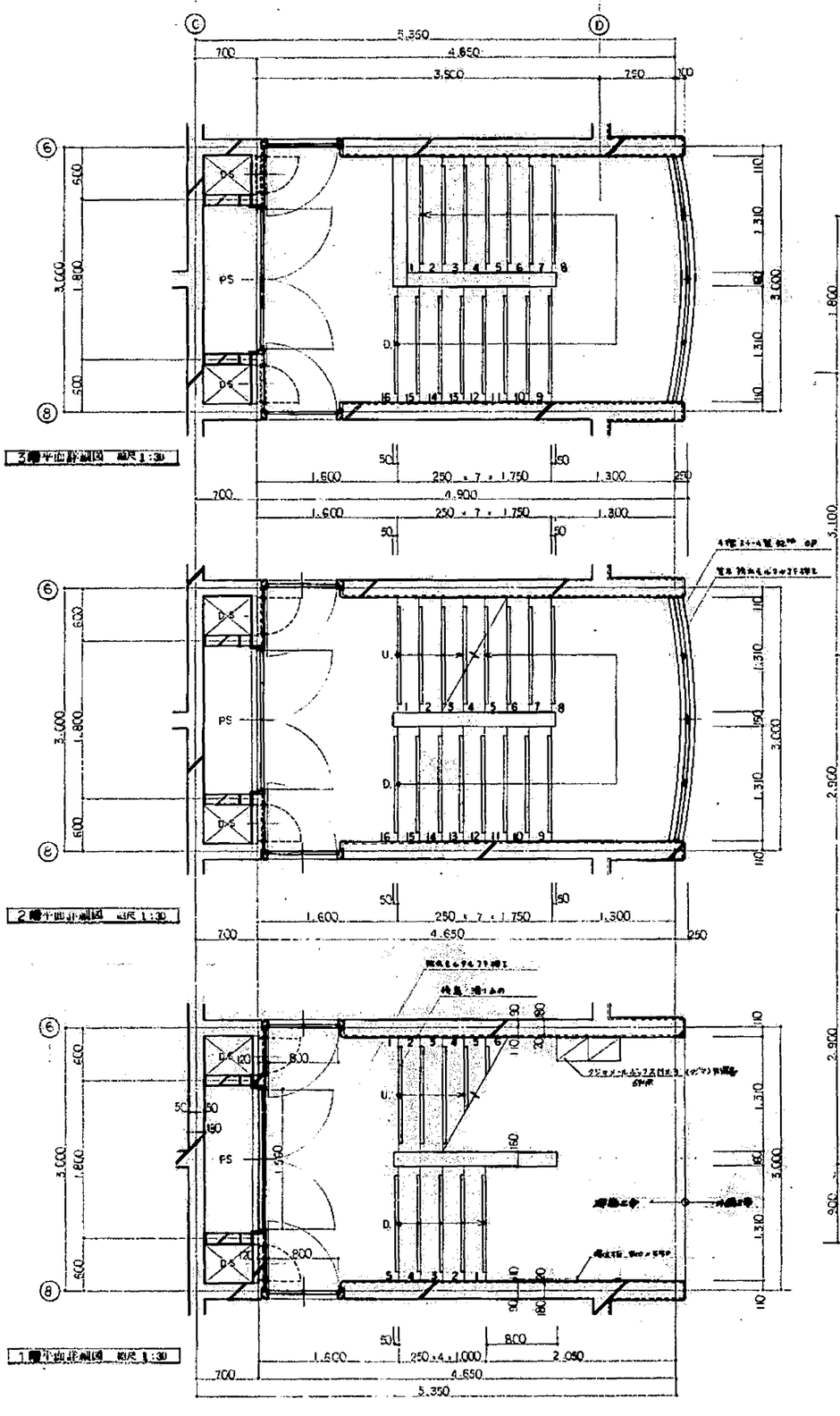


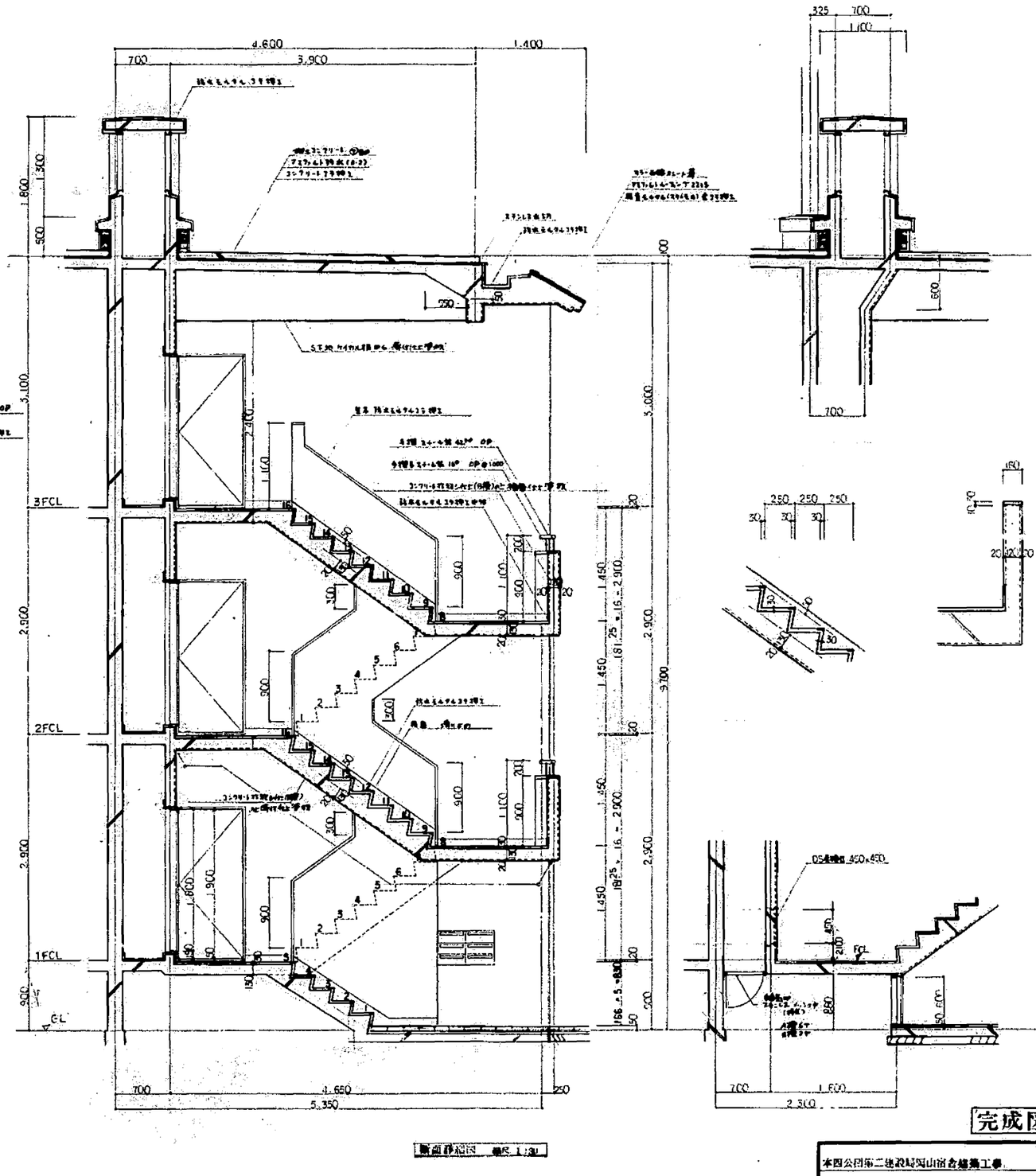


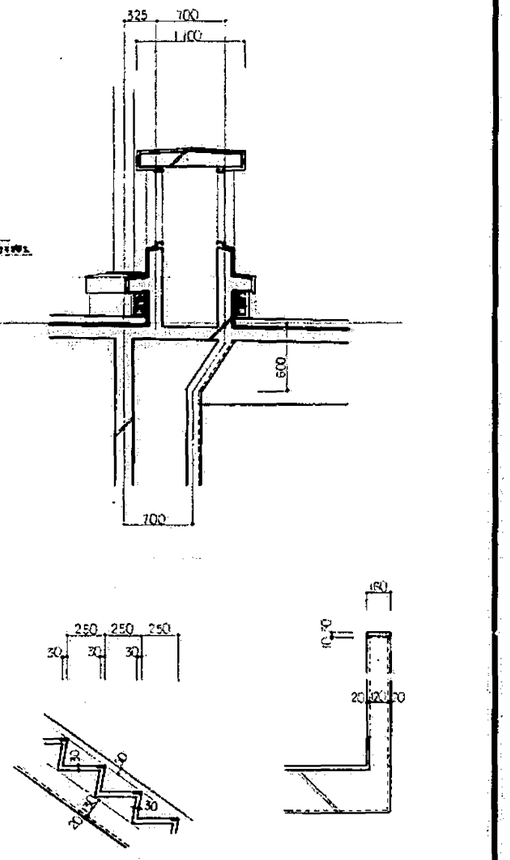
断面詳細図 縮尺 1:30

完成図

本四公団第二建設局岡山宿毒処理工事		12
A棟 詳細図	S=1/30	
中国地方建設局営繕部		36

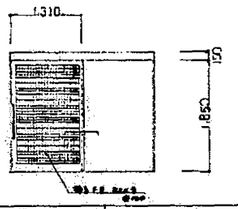
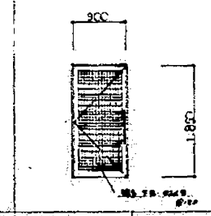
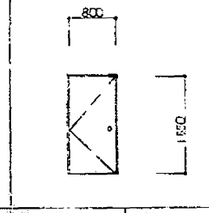
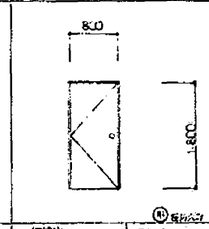


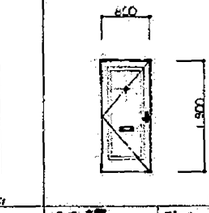
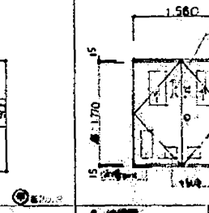


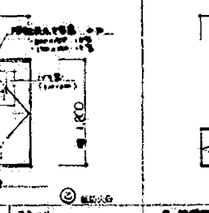
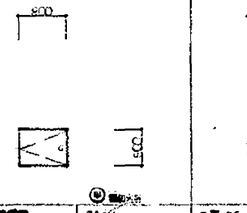


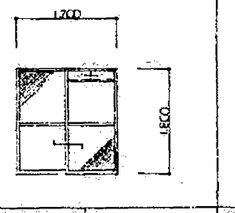
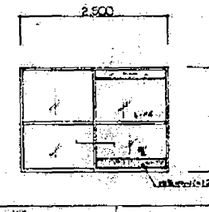
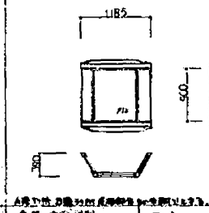
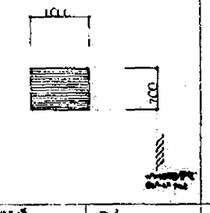
完成図

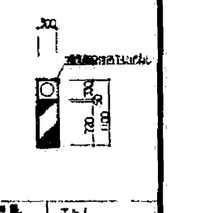
本四公団第二建設局岡山宿舎建築工事		15
断面詳細図	S=1/30	
中国地方建設局営繕部		36

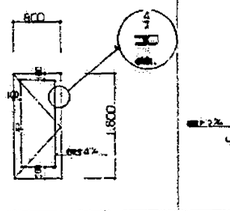
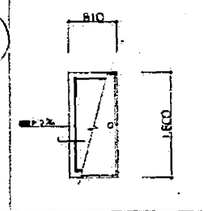
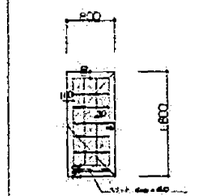
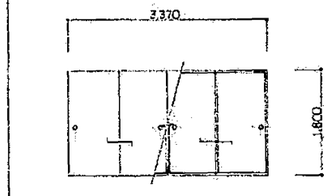
記号	名称	AW1 片引き 嵌め殺	AW2 片引き 嵌め殺	AW3 片引き フラッシュ扉	AW4 片開き フラッシュ扉
					
場所	材料	建具	建具	建具	建具
寸法	記号	枠 120 × 40	枠 100 × 40	枠 100 × 40	枠 100 × 40
	スケール	0P	0P	0P	0P
数量	ガラス	A種 — 3	A種 — 1	A種 — 1	A種 — 1
金物		ハンドル 引違戸用 召合せ 1対 ドアチェック 取付	ドアチェック ドアスコープ シリンダー錠	ドアチェック 戸当り ゴムパッキン	ドアチェック
備考		ケヤキ調 化粧ベニヤ 厚 (木製建具)	アングル (スチールスミ)		

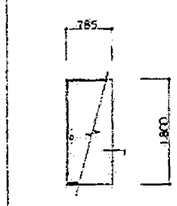
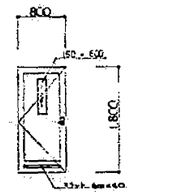
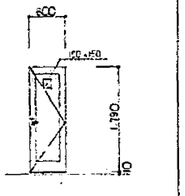
記号	名称	AW5 片引き	AW6 片開き 防火戸	AW7 片開き 防火戸
				
場所	材料	建具	建具	建具
寸法	記号	枠 100 × 40	枠 100 × 40	枠 86 × 30
	スケール	0.P	0.P	0.P
数量	ガラス	A種 — 16	A種 — 8	A種 — 2
金物		B種 — 6	B種 — 3	B種 — 1
備考		戸当り ドアチェック シリンダー錠	戸当り ドアチェック シリンダー錠	

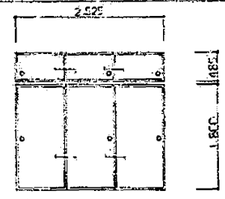
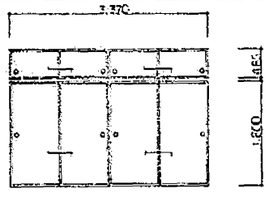
記号	名称	AW8 片引き	AW9
			
場所	材料	建具	建具
寸法	記号	枠 86 × 30	枠 70
	スケール	0P	
数量	ガラス	A — 16	
金物		B — 6	
備考			

記号	名称	AW10 片引き 引違い戸	AW11 片開き 引違い戸	AW12 嵌殺し 引違い 出窓	AG1
					
場所	材料	建具	建具	建具	
寸法	記号	70	70	70	
	スケール				
数量	ガラス	A種 — 3	A種 — 16	A種 — 5	
金物		B種 — 3	B種 — 6	B種 — 6	
備考					

記号	名称	AW13 嵌殺し 窓
		
寸法	記号	枠 70
数量		1

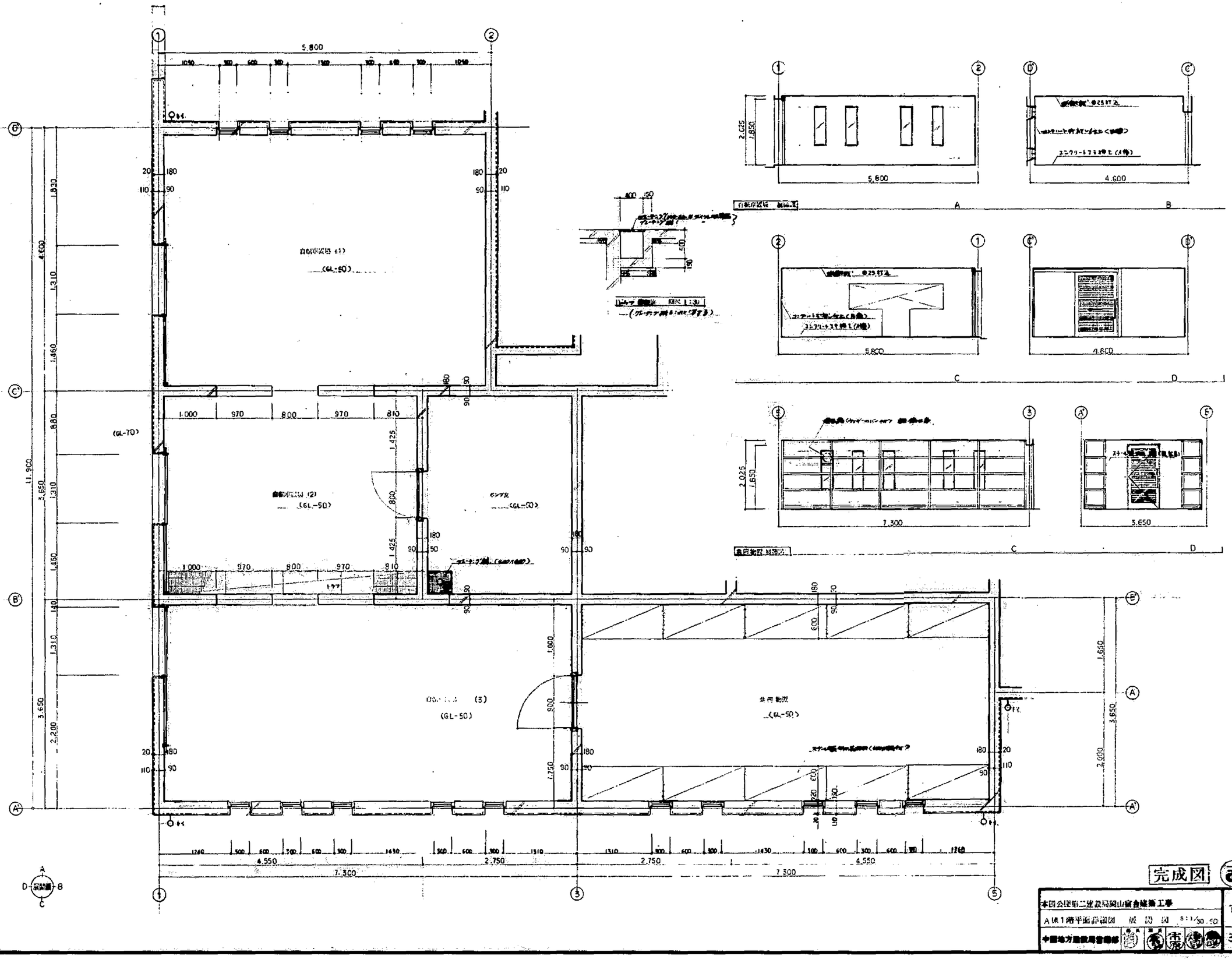
記号	名称	WD1 片引き フラッシュ戸	WD2 片引き アコヤマ	WD3 片開き フラッシュ戸	WD4 本枚 引違い アコヤマ
					
場所	材料	建具	建具	建具	建具
寸法	記号	40	33	40	33
	スケール	0P		0P	
数量	ガラス	A種 — 16	A種 — 16	A種 — 16	A種 — 16
金物		B種 — 6	B種 — 6	B種 — 6	B種 — 6
備考					

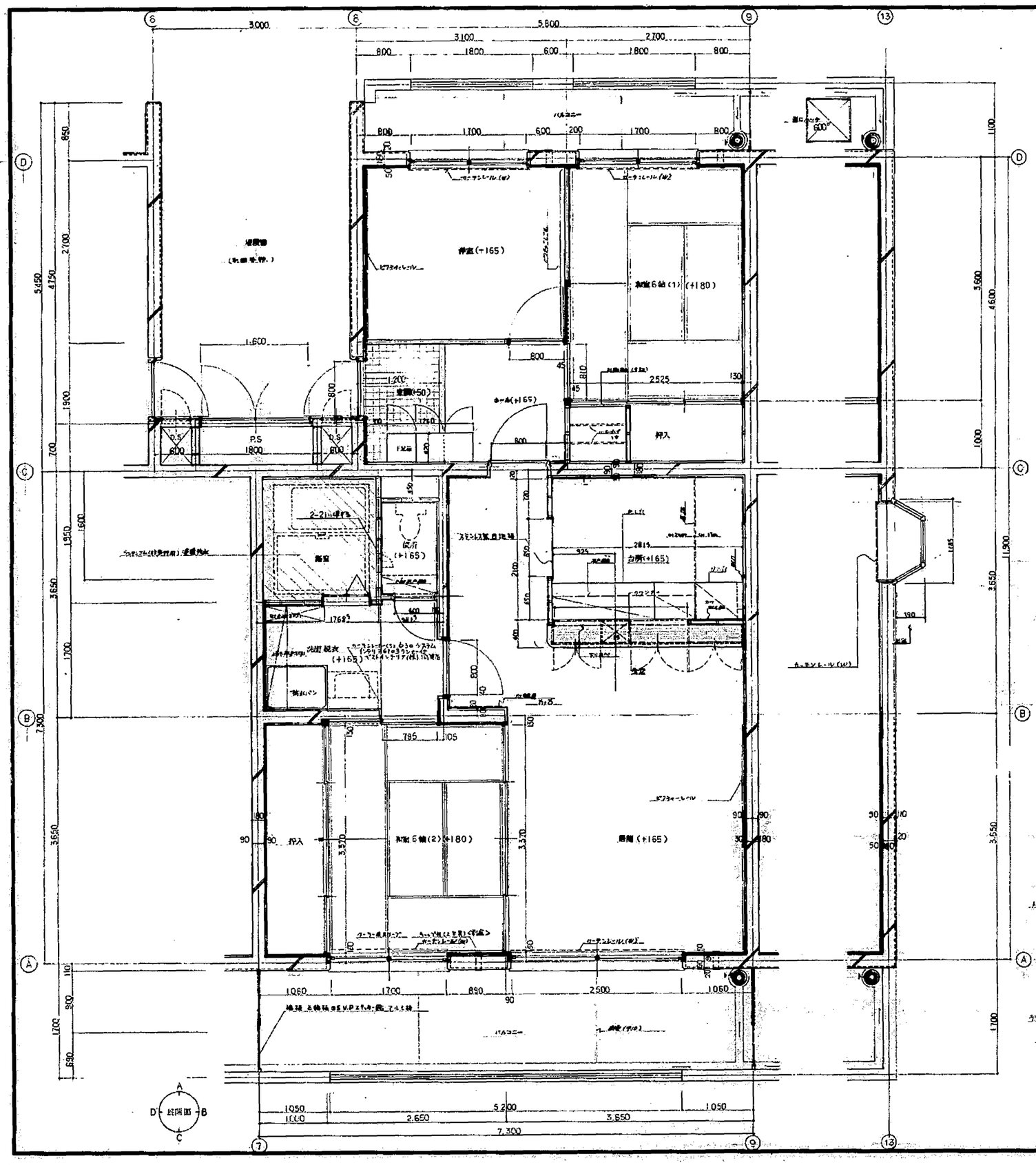
記号	名称	WD5 片引き アコヤマ	WD6 片開き 中桟 フラッシュ戸	WD7 片開き 中桟 フラッシュ戸
				
場所	材料	建具	建具	建具
寸法	記号	33	40	40
	スケール		0P	0P
数量	ガラス	A種 — 16	A種 — 16	A種 — 16
金物		B種 — 6	B種 — 6	B種 — 6
備考				

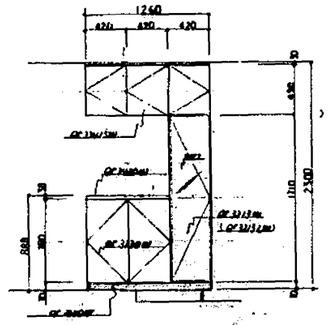
記号	名称	FD1 ランマ付 3枚引違い アコヤマ	FD2 ランマ付 4枚引違い アコヤマ
			
場所	材料	建具	建具
寸法	記号	21	21
数量	ガラス	A種 16	A種 16
金物		B種 6	B種 6
備考			

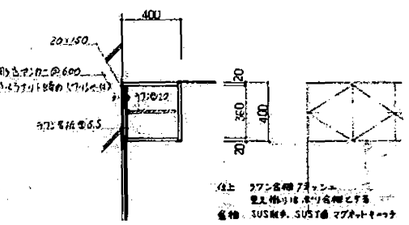
完成図

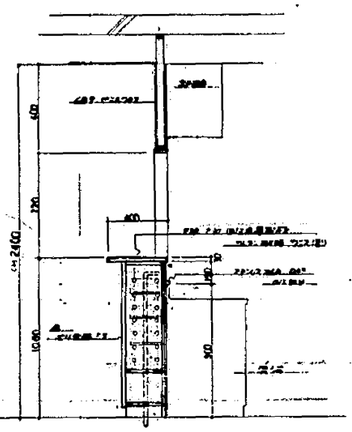
本園公園第二送迎駐車場山畜舎建築工事	14
立木図 S=1/60	
中国地方建設局営繕部	56

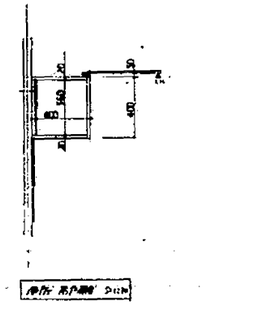

5,800
4,600
1,830
1,310
1,460
880
11,900
3,650
2,200
(GL-70)
(GL-50)
1,000
970
800
810
1,425
180
90
20
110
50
400
150
500
1,650
3,850
2,000
2,025
1,850
5,600
4,600
7,300
3,650
1260
500
600
300
1630
1310
900
6,550
2,750
A
B
C
D
1
3
5
A'
B'
C'
E'
N
完成図
本四公団第二建設局岡山宿舎建築工事
A棟1階平面詳細図
展開図
S=1/50.50
15
36
中国地方建設局営繕部

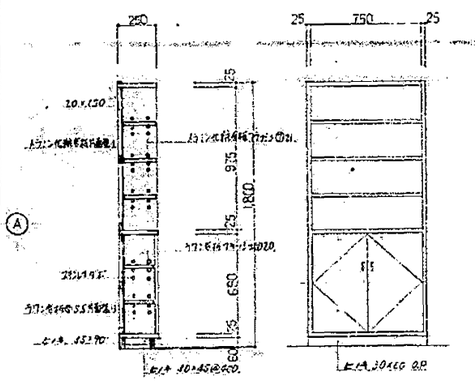








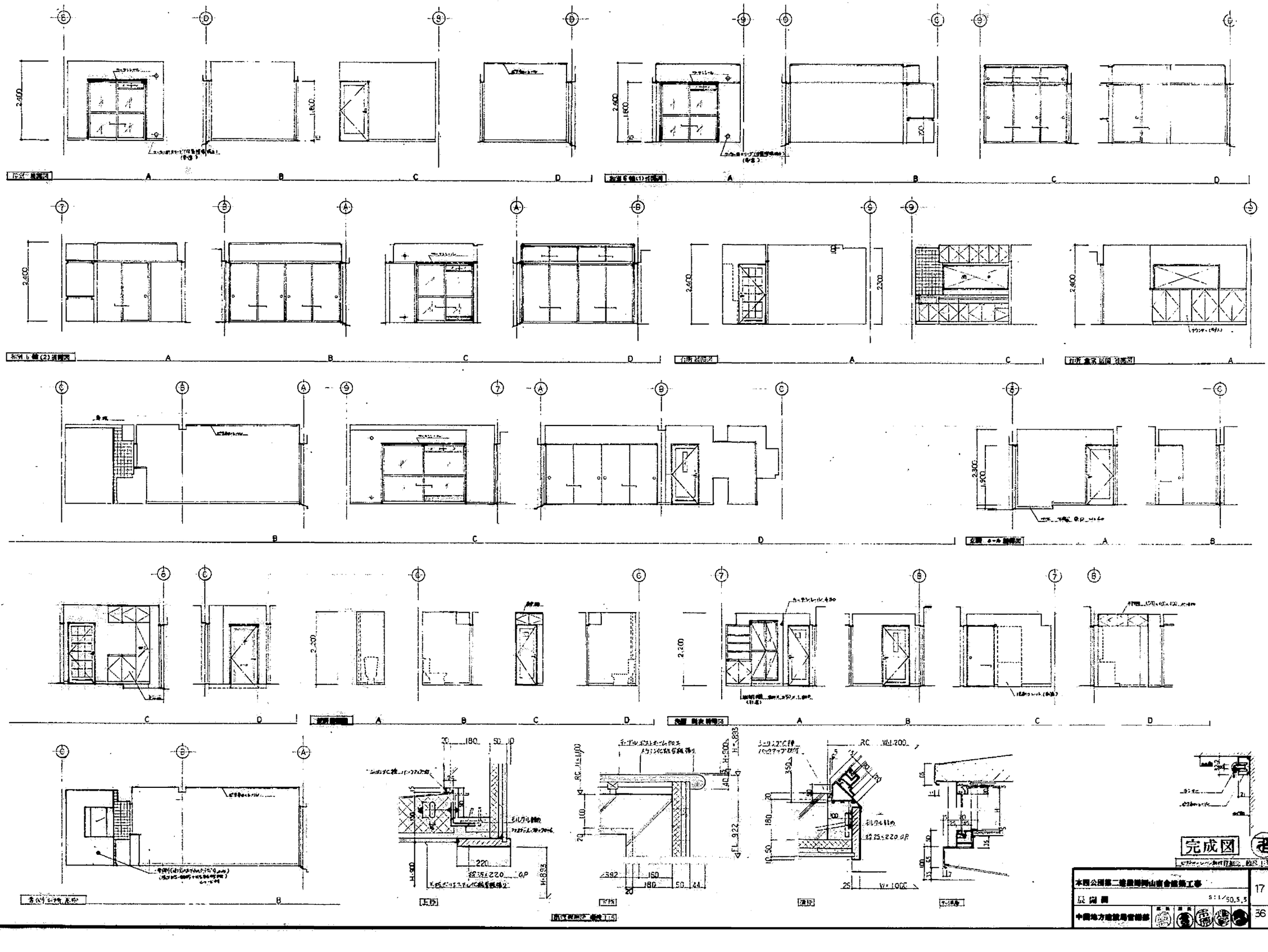




ビルド洗しリスト			
洗しき	FB - HS - 1500	1500 × 550 × 800	1 台
フンロ台	FB - HK - 700	700 × 550 × 800	1 〃
調理台	FB - HT - 600	720 × 546 × 820	1 〃
吊戸棚	FB - HA - 1500	1500 × 375 × 900	1 〃
〃	FB - HA - 600	600 × 375 × 900	1 〃
その他	水切棚ステンレス (L=2800)		

完成図

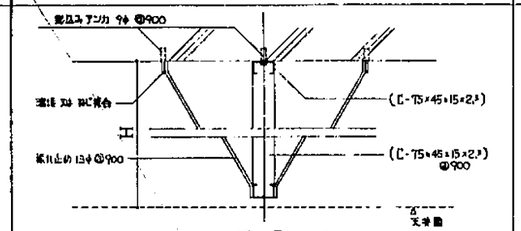
本四公団第二建設局岡山宿舎建築工事	16
平面詳細図 S=1/30	
中国地方建設局営繕部	36


完成図
本四公団第二建設局岡山市合建築工事
17
36
中国地方建設局営繕部

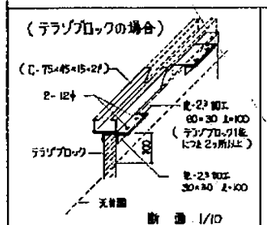
建築工事標準詳細図（昭和60年版）特記事項

頁	分類番号	図面名称	建築工事標準詳細図項目	特記事項
1	1-01-1	床：仕上げ	防水モルタル塗厚15	防水モルタルの塗厚は床・壁の塗厚に準じる。ただしピット内の塗厚は床・壁とも15とする。
11	2-01-1	壁：仕上げ	〃	
37	3-31-1~6	カーテンボックス：鋼製，アルミ製		カーテンボックスはサイドカバー付とする。
39	3-32-1,2	〃：木製		
64	4-41-2	鋼製建具	水切目地	水切目地は，たき寸法が70%以上の場合に設けるものとする。
66	4-42-2	〃		
67	4-43-1	〃		
67	4-91-1	〃		
75	4-51-1~3	アルミニウム製建具		
104	8-11-1~4	浴室室：フリアビス		フリアビスの下地（現よりやり直）をアルミシアル板@5張りEP塗り仕上とする。
122	6-32-2,3	浴室：コンクリート洗場など		浴槽および水そん台のテラソブロック等の据付は，7-12-7に準ずる。ただし，据付金物の埋込は400内外とする。
154	8-21-3	くつふきマット（埋込り専用）	特殊製鋼溝ふた 500×250×15	特殊製鋼溝ふた 500×250×25

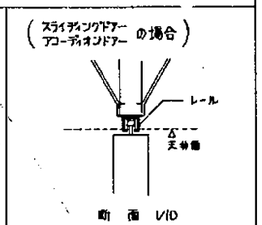
3-431-1　テラゾブロック，スライディングドアー　アコーディオンドアー，（既製間仕切）　天井裏補強



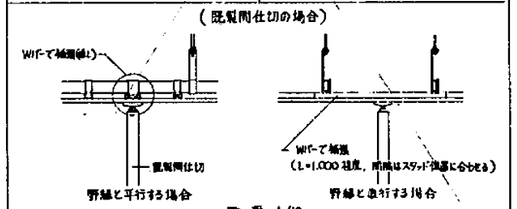
（テラゾブロックの場合）



（スライディングドアー　アコーディオンドアー　の場合）

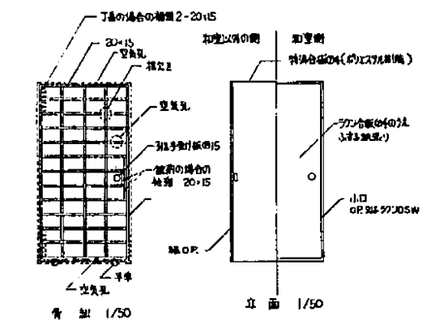


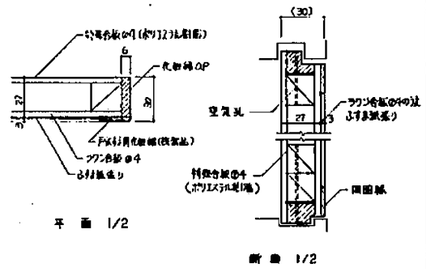
（既製間仕切の場合）



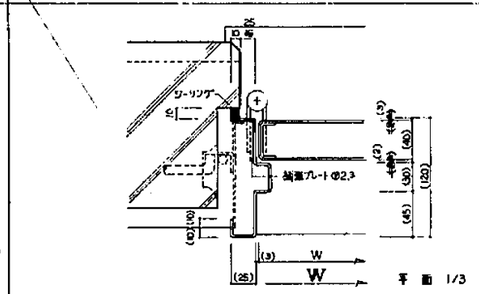
特記　・H≧900の場合は特記による。
・テラゾブロックへだての上置，下置の場合は適用しない。
・袖壁とはその全高さの時切は(7.3.2)のB袖とし，ほりの時切は(7.3.4)のC袖とする。

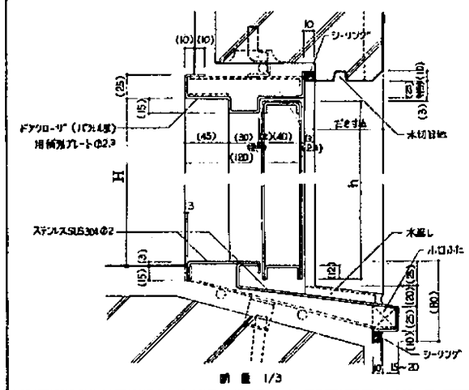
4-141-1　戸ふすま





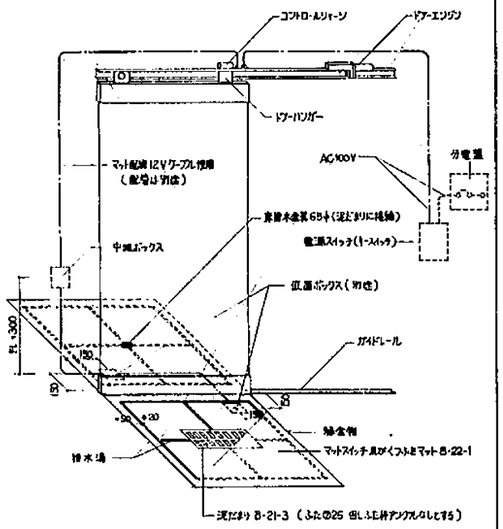
4-431-1　鋼製建具わく（外部額縁なし）





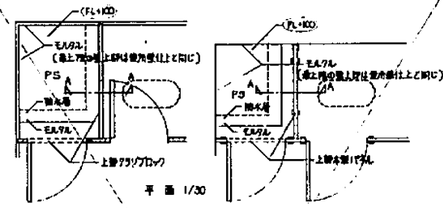
特記　・水切目地は，たき寸法が70%以上の場合に設けるものとする。

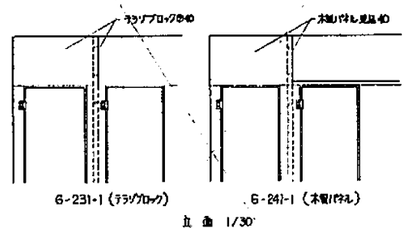
4-471-1 自動扉（鴨居内蔵型）

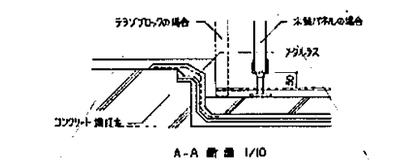


特記　・引込電気設備は電源スイッチ以降の配線工事（配管およびボックス類は別途工事）
・マットスイッチはくつふきマットの大きさとし，寸法は特記による。
・マットスイッチの信号ケーブルはコントロールユニットまで配線し，中継ボックスまでは接続が必要ない。

6-231-1，6-241-1　便所へだて

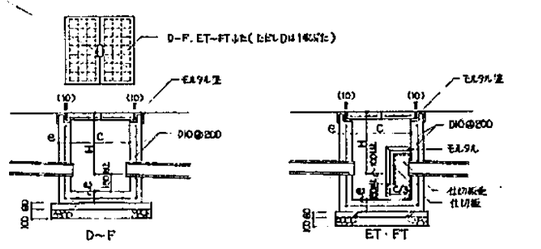


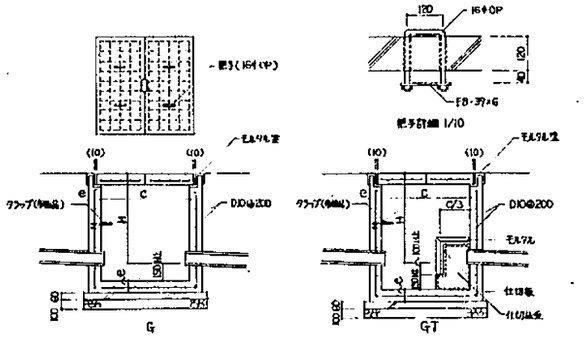




特記　・木部はOPまでとする
・PS上部木製パネルおよびテラゾブロックは最上段については特記なき限り不要とする。

9-131-1　排水ます





記号分類表

コンクリート桝ふた型		マンホールカバー型	
一般型	トラップ型	一般型	トラップ型
D		DM	
E	ET	EM	EMT
F	FT	FM	FMT
G	GT	GM	GMT

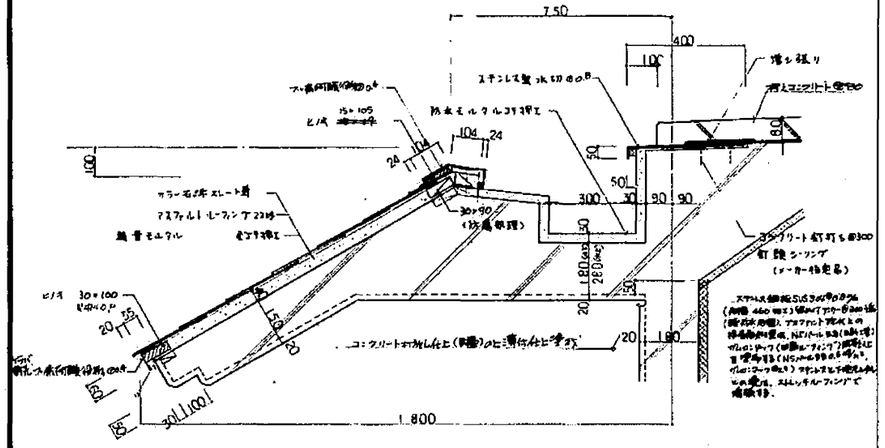
記号	たのさす寸法 H(管底)	C×C	e	ふたの種別 コンクリート 大きさ	厚さ	板筋	マンホールカバー 内径
D	約400	350×350	100	410×410	60	D9-54	
DM							300
E	約550	450×450	120	520×520	75	D9-78	
ET							
EM							450
EMT							
F	約650	600×600	120	690×690	75	D10-84	
FT							
FM							450
FMT							
G	約850	900×900	120	990×990	120	D10-103	
GT							
GM							500
GMT							

特記　・仕切板はモルタル塗@30，4寸管底までに100所打とし，
・仕切板のある場合，仕切板@3（レンガ積仕ヒモルタル）を両面に取付ける。
・ラップは H=1,000 以上のとき取付ける。
・合流型Bと併用する。
・コンクリートの設計基準強度 Fc=180 kg/cm² とする。

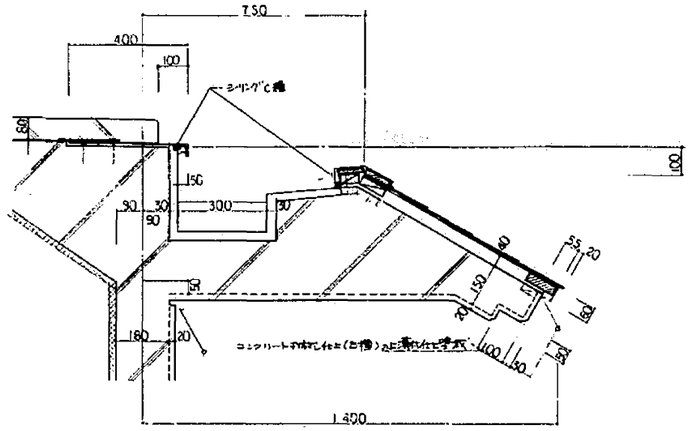
完成図

本四公団第二建設局岡山管理事務所建築工事						6
共通詳細図（1）	建築工事標準詳細図（昭和60年版）対応各種					36
中国地方建設局営繕部	設計	製図	照査	課長	部長	

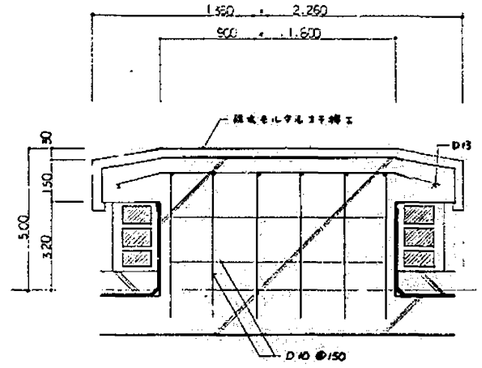
軒　廻り　S=1:10



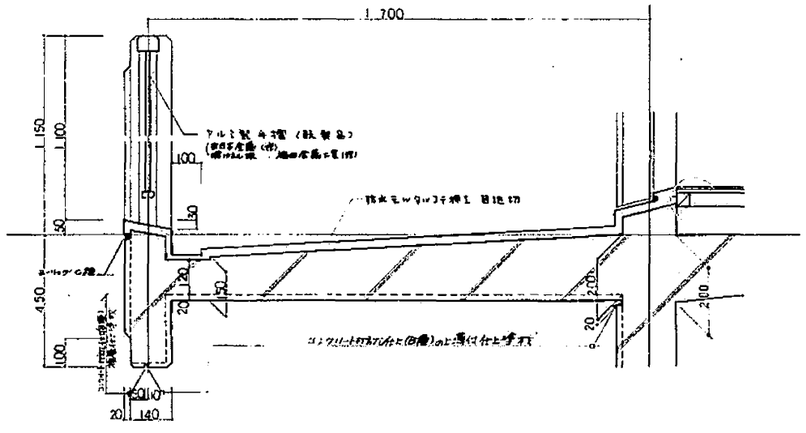
軒　廻り　S=1:10



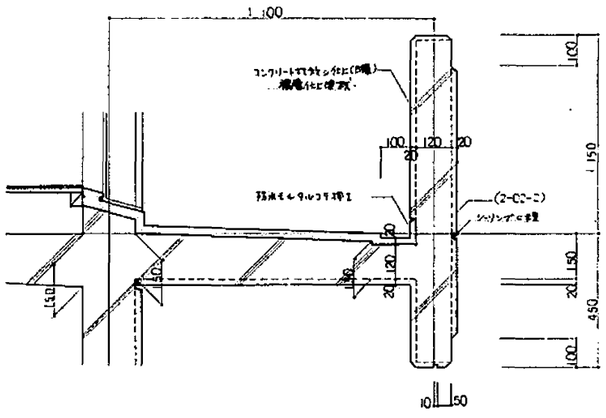
パラボラ　テレビアンテナ基礎　S=1:10



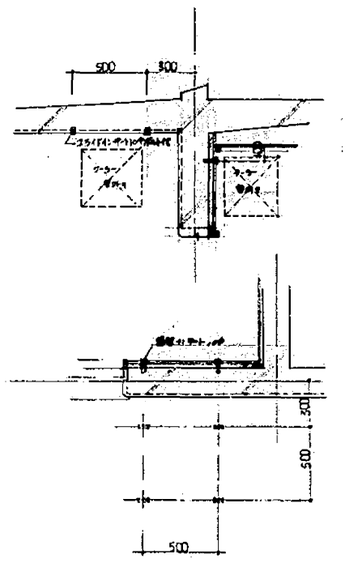
ベランダ廻り　S=1:10



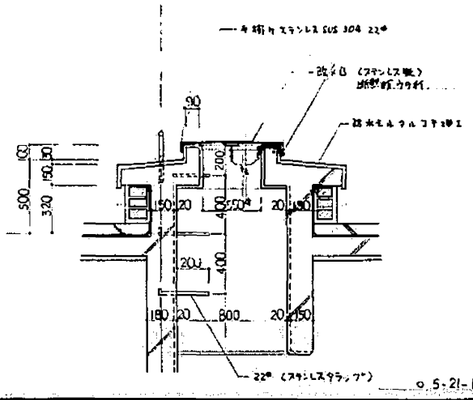
ベランダ廻り　S=1:10



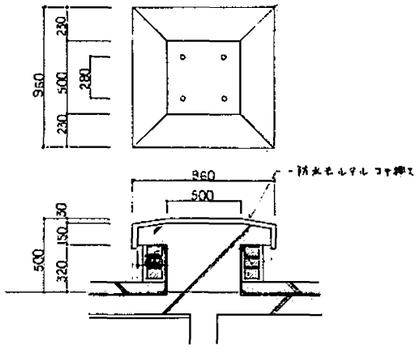
カーテンポート　S=1:20　1:2



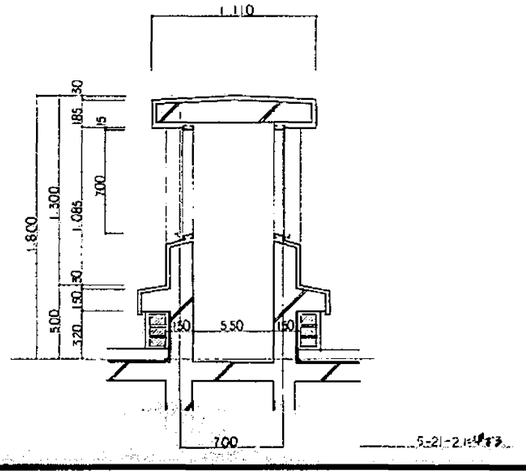
改め口廻り　S=1:20



雨架木橋　基礎　S=1:20



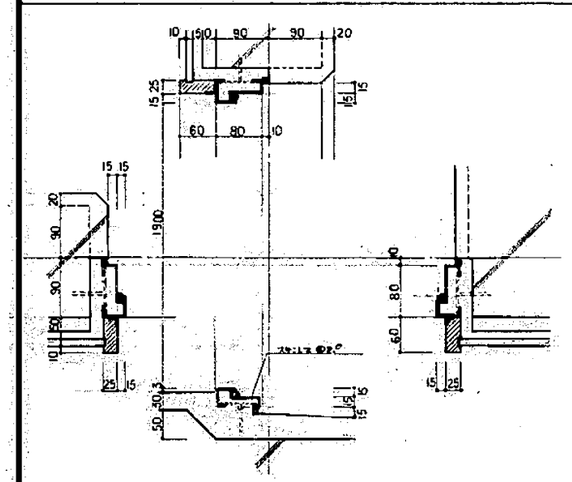
ハト小屋　S=1:20



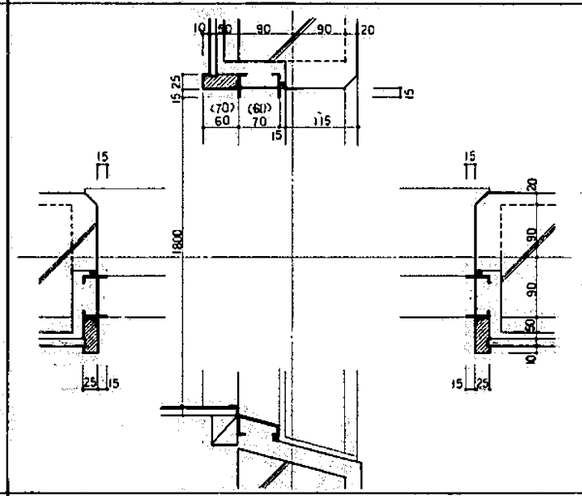
完成図

本四公団第二建設局岡山管理事務所新築工事		19
配分詳細図	1.	36
中国地方建設局営繕部		

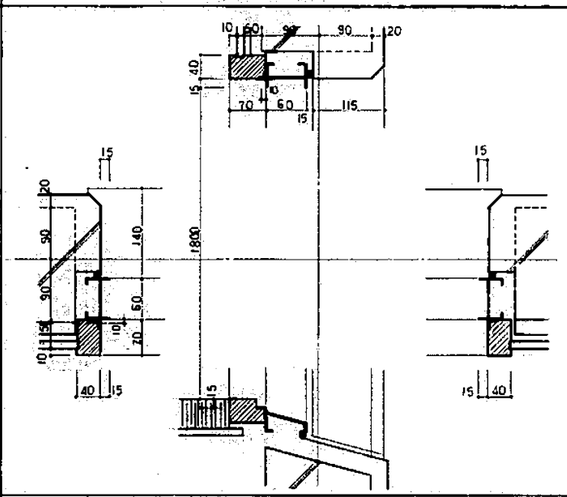
建具廻り（玄関） S=1:5



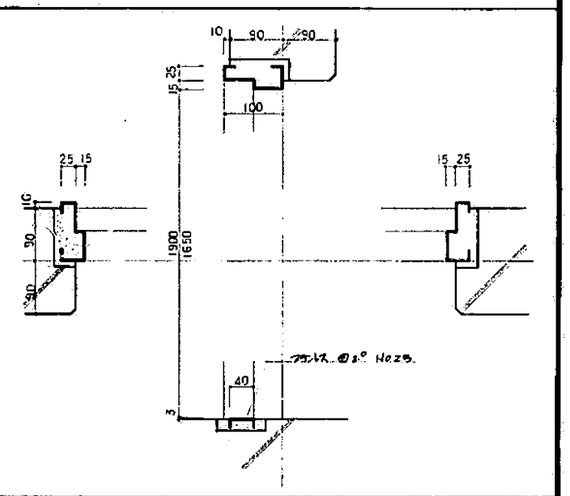
建具廻り（洋室） S=1:5



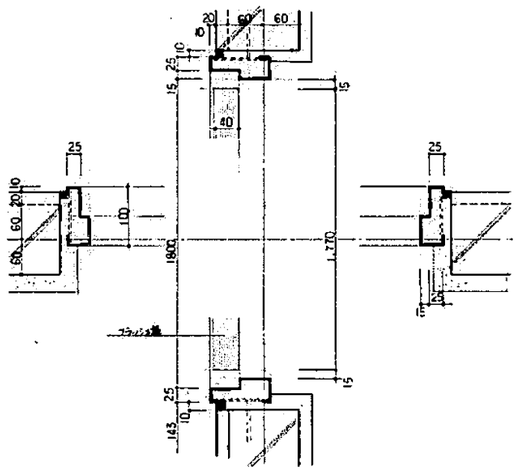
建具廻り（和室） S=1:5



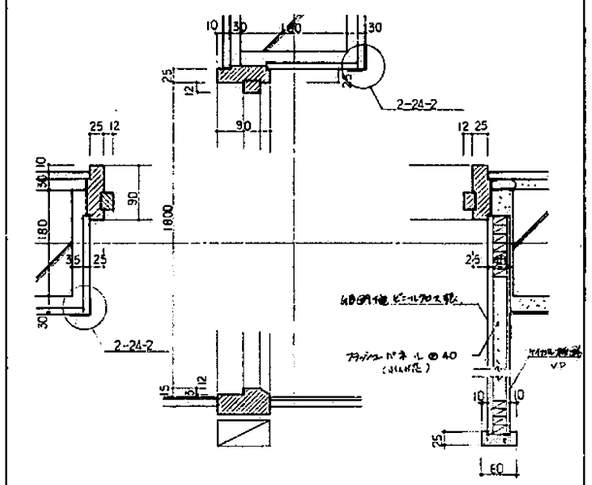
建具廻り（物置・ポンプ室） S=1:5



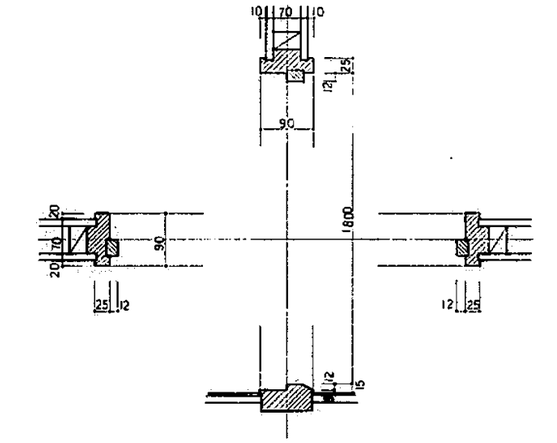
建具廻り（PS） S=1:5



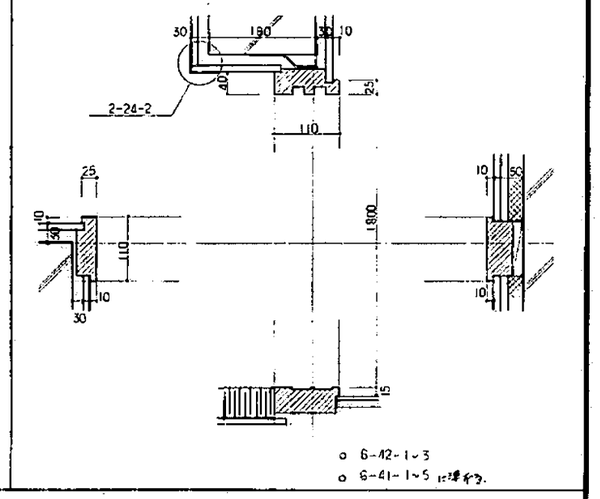
建具廻り（台所） S=1:5



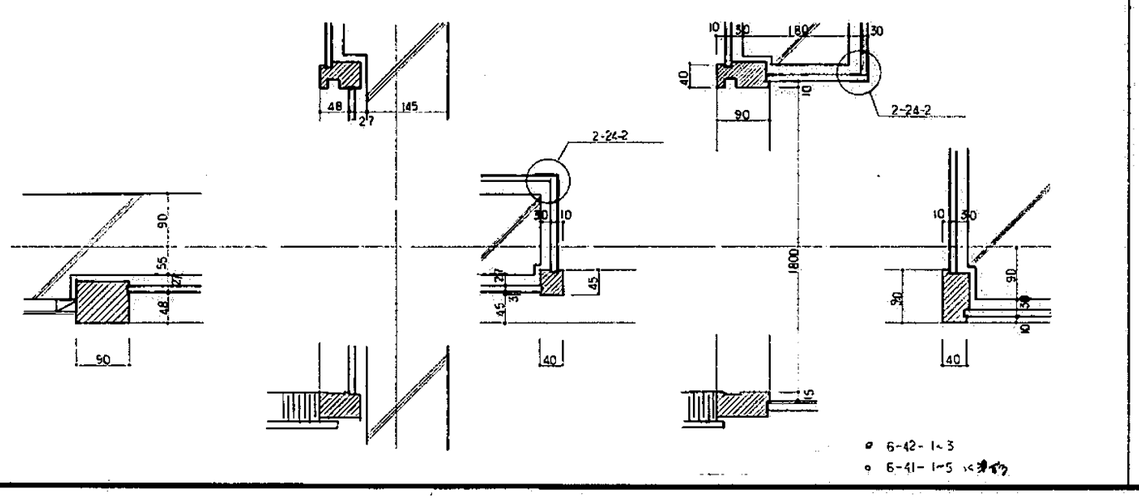
建具廻り（洋室） S=1:5



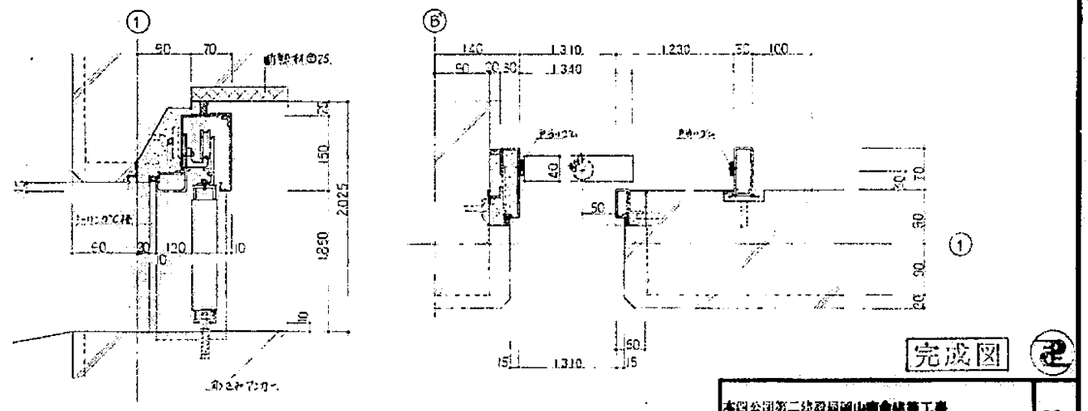
建具廻り（和室） S=1:5



建具廻り（和室） S=1:5



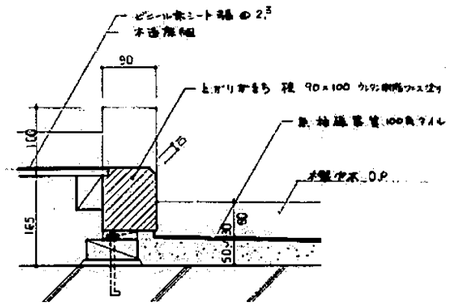
自転車置場 出入口 S=1:5



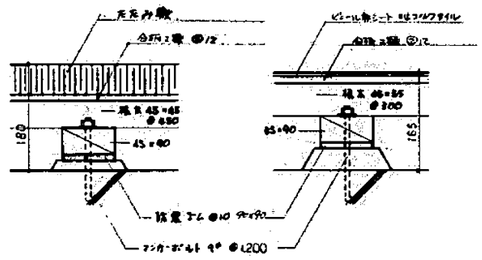
完成図

本四公団第二建設局岡山管理事務所建築工事	
部分詳細図 2. S=1:5	20
中国地方建設局営繕部	30

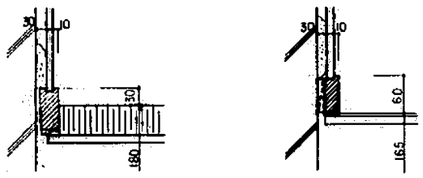
上がりがまち廻り　S=1:5



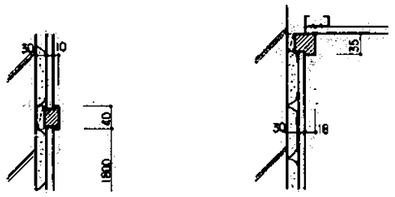
こうがし床組　S=1:5



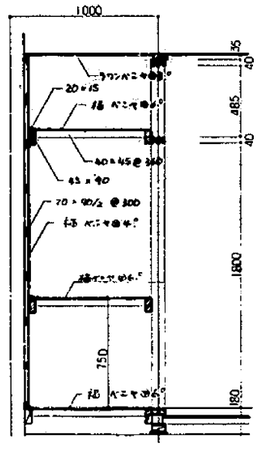
タタミ寄セ・巾木廻り　S=1:5



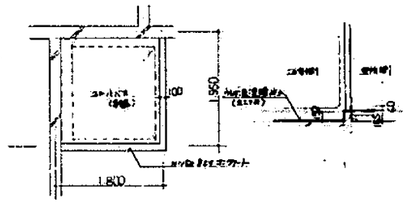
付鴨居・廻り縁廻り　S=1:5



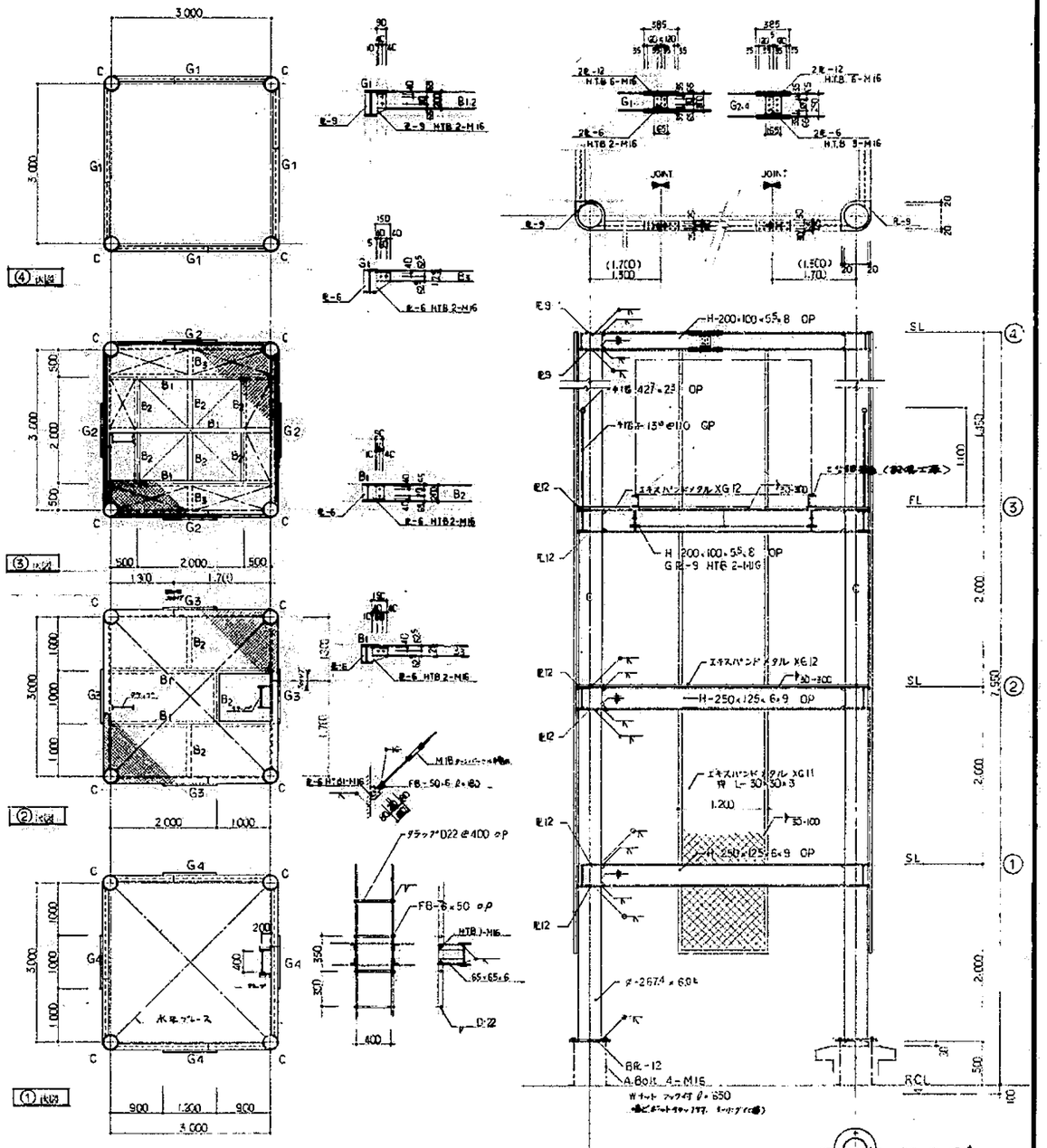
出入口廻り　S=1:20



浴室床下面　S=1:50



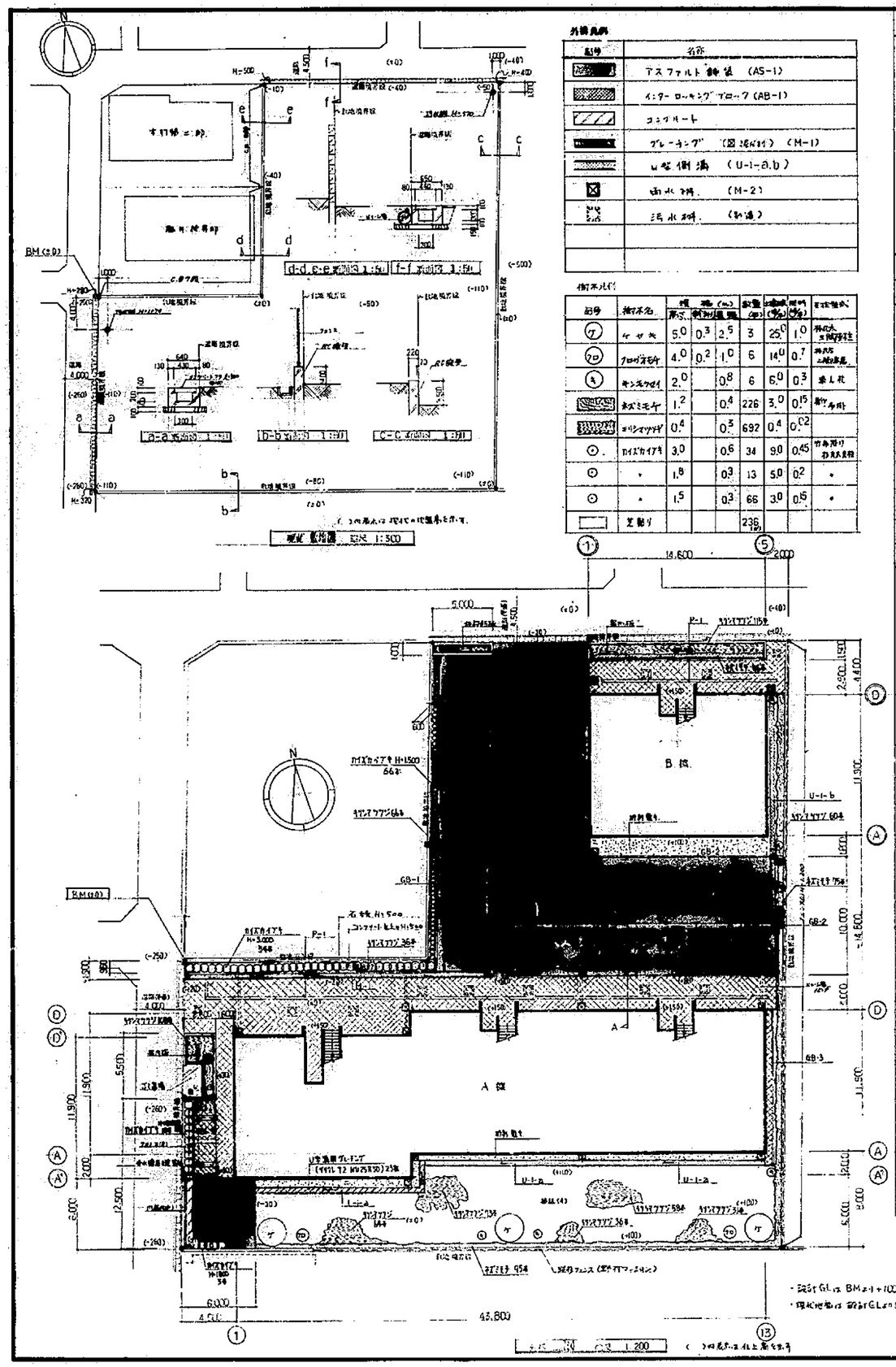
鉄骨本構　S=1:50



C	φ-267.4×6.0
G1	H-200×100×5.5×8
G2-4	H-250×125×6×9
B1,2	H-200×100×5.5×8
B3	C-125×65×6×8
ブレース	M18 ターンバックル締め.

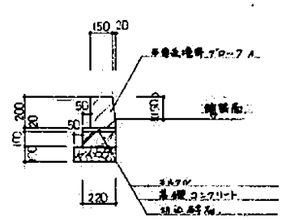
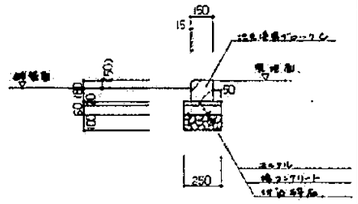
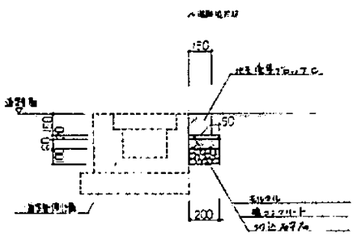
完成図

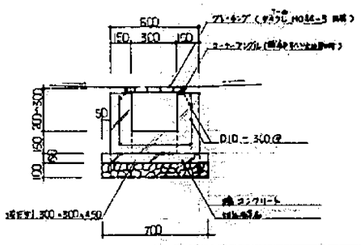
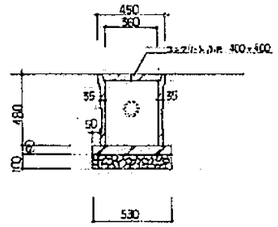
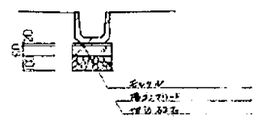
本四公団第二建設局岡山調査建築工事	21
部分詳細図 3. S=1/5,20,30	
中国地方建設局営繕部	36

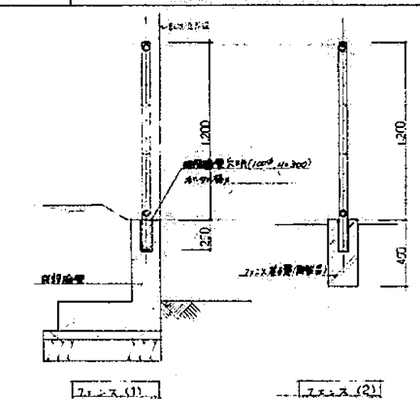
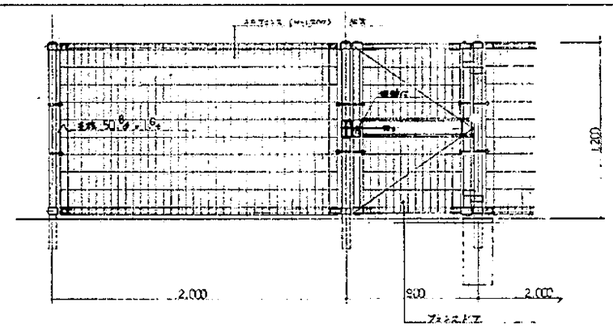


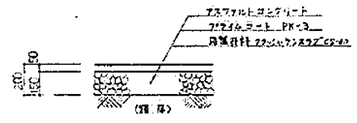
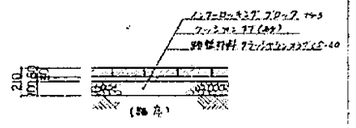
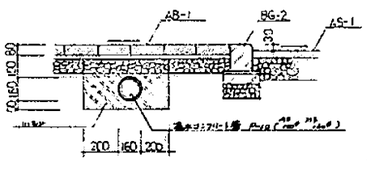
記号	植栽名	規格 (m) 高さ	幹周	枝張	数量 (本)	土壌量 (m³)	植栽間隔 (m)	備考
⑦	ケヤキ	5.0	0.3	2.5	3	25.0	1.0	特定大木 支柱3本
⑦a	ケヤキ(多幹)	4.0	0.2	1.0	6	14.0	0.7	特定大木 支柱3本
④	キンモクセイ	2.0		0.8	6	6.0	0.3	添え木
	ネズミモチ	1.2		0.4	226	3.0	0.15	植付本数
	ヒラドツツジ	0.6		0.5	692	0.4	0.02	
⊙	カイズカイブキ	3.0		0.6	34	9.0	0.45	市松植付 株間1.5m
⊙	〃	1.8		0.3	13	5.0	0.2	〃
⊙	〃	1.5		0.3	66	3.0	0.15	〃
	芝張り				236 (m²)			

・設計GLは BM±0+100 とする
・現地地盤は 設計GL±0 とする

記号	GB-1	縁石	1:20	GB-2	縁石	1:20	GB-3	縁石	20
									
備考	9-11-C			9-11-12			9-11-11		

記号	M-1	グレーチング溝	1:20	M-2	雨水桝	1:20	U-1-a,b	U型側溝	1:20
									
備考	9-11-5 及び 9-12-2 に準ずる			9-13-1 C種			9-11-4		

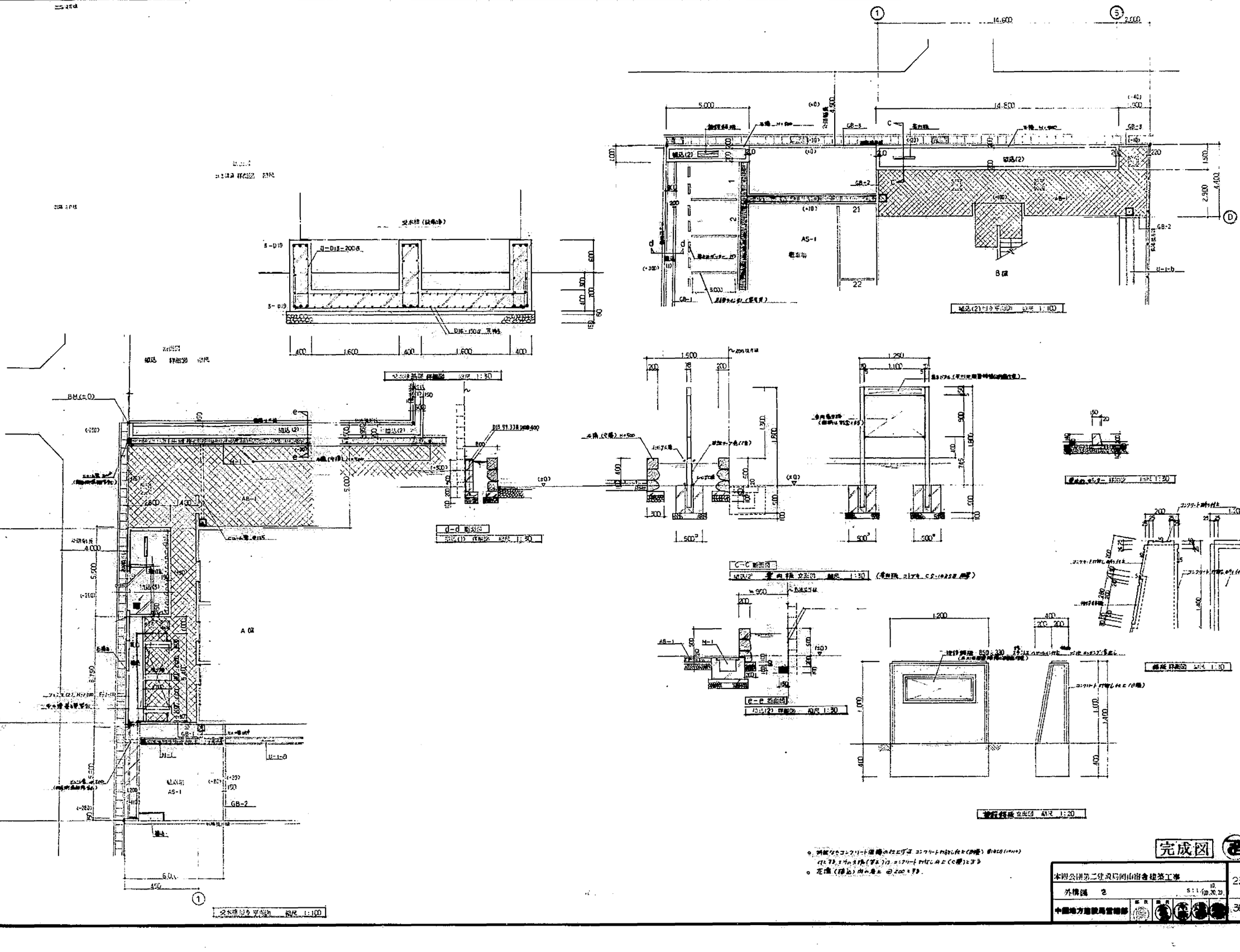
記号	F-1-	フェンス	1:20
			
備考	フェンス(1)		フェンス(2)

記号	AS-1	アスファルト舗装	1:20	AB-1	インターロッキング舗装	1:20	P-1	透水管
									
備考	9-21-1			9-22-1 に準ずる			A-A 断面図		

※ 建物外構、設備等、別途工事のものは、最終工事にて整備する事。

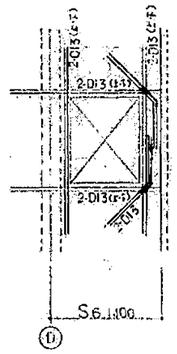
完成図

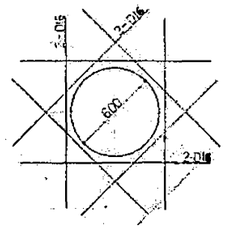
本四公団第二建設局岡山管理線改工事		22
外構図 1	S=1:20, 50	
中国地方建設局営繕部	監督 / 局長	36


完成図
本四公団第二建設局岡山南倉建築工事
外構図 2
中国地方建設局営繕部
23
36

スラブリスト　※ハト筋は使用せず。

符号	版厚	位置	短辺方向配筋 端部	短辺方向配筋 中央	短辺方向配筋 両端	長辺方向配筋 端部	長辺方向配筋 中央	長辺方向配筋 両端	備考
R~1S1	130	上端筋	D13-D10交互@150	D10@300	D10@300	D13-D10交互@200	D10@400	D10@300	Ⓐ Ⓐ' Ⓑ Ⓑ'
(2S1A)	(200)	下端筋	D13-D10交互@150	D13-D10交互@150	D10@300	D13-D10交互@200	D13-D10交互@200	D10@300	立ちはスラブに along
R~1S3	150	上〃	D10@200			D10@200			
		下〃	D10@200			D10@200			
3~1S4	200を	上〃	D16-D13交互@150			D10@200			開口のあるスラブは S1 同じ 1500 mm ある
	120も	下〃	D13@150			D10@200			
2S5	210を 5 120も	上〃	D16-D13交互@150			D10@200			今工
		下〃	D13@150			D10@200			
3~1S6	150を 5 120も	上〃	D13-D10交互@150			D10@250			今工
		下〃	D10@150			D10@250			
RS7	180	上〃	D13-D10交互@150			D10@200			今工
		下〃	D10@200			D10@200			

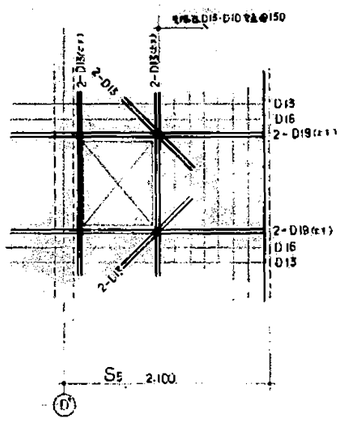




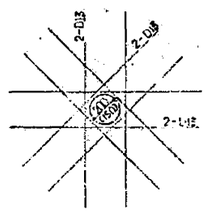
スリーブ(φ600)補強筋図 S.1:20

上階スラブ断面図 S.1:20

バルコニー開口部補強筋図 S.1:50



バルコニー開口部補強筋図 S.1:30



スリーブ(φ600)補強筋図 S.1:20

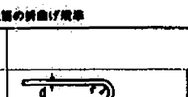
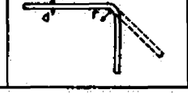
4．重式構造の定着及び継手長さ　R-1-1 表

使用部分		種類	引張 Fc=24N/mm² SR24	引張 Fc=24N/mm² SD345	圧縮 Fc=24N/mm² SR24	圧縮 Fc=24N/mm² SD345
耐力壁	周辺	定着・継手	40d	45d	35d	40d
	端部	定着・継手	40d	45d	35d	40d
耐力壁以外の壁		定着・継手	30d	35d	30d	35d
柱の帯筋比 0.2%以上の梁、壁、基礎梁		定着・継手	40d	45d	35d	40d
柱の補助筋		定着	40d	45d	35d	40d
床	上端筋	定着	40d	45d	35d	40d
	下端筋	定着	35d	40d	35d	40d
	上、下筋	継手 ※1	25d	30d	25d	30d

(注)Fc≦36N/mm²のコンクリートを使用する場合は鉄筋コンクリート構造計算規準の値による。
※1　継手位置は3.3の位置とする。

※本工事に使用するコンクリート強度は Fc=21 とする

1．鉄筋の折曲げ規準

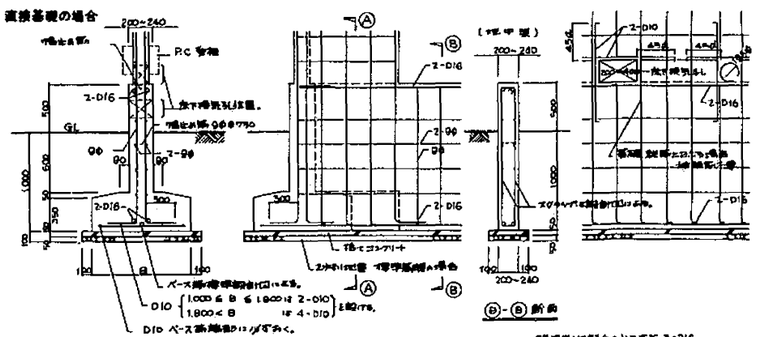
	形状		折曲内法直径 SR24	折曲内法直径 SD345 SD295
主筋		dが13mm以上で曲げ角度180°の場合。(例 柱、梁等の主筋。)	r≧1.5d	r≧2d
帯筋		dが12mm以下で曲げ角度135°の場合。(例 帯筋、スターラップ)		
腹筋		dが13mm以下で曲げ角度90°の場合。(例 スラブ筋、壁筋。)		
		スラブと同時に打込む下ば、L形梁で U字形および他のタイのみに用いる。		
中間部	(曲げ角度90°以下) 	(例 スラブ筋、壁筋) 16mm以下	r≧2.5d	r≧2.5d
		(例 16mm以上	r≧2d	r≧2d
		(例 D13 D16 梁あばら筋 135°折曲げ筋) 普通丸鋼 D13 16mm以下 異形棒鋼 D13 D16以下	r≧2d	r≧2d
		普通丸鋼 D13 16mm以上 異形棒鋼 D19～D41	r≧4d	r≧4d

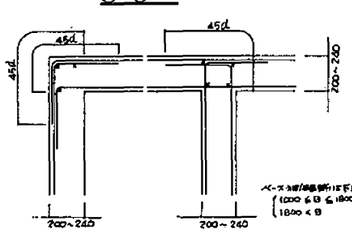
2．鉄筋のかぶり厚さの最小値

構造部分の種別		かぶり厚さの最小値
屋スラブ		30mm
非耐力壁	タイル張り、モルタル塗り、プラスター塗付タイル等鉄筋埋込み仕上材料を仕上げをしたもの。	20mm
	上記以外 ※1	30mm
柱、梁、耐力壁。		※1 30mm(40mm)
基礎、ようへ。		※2 60mm

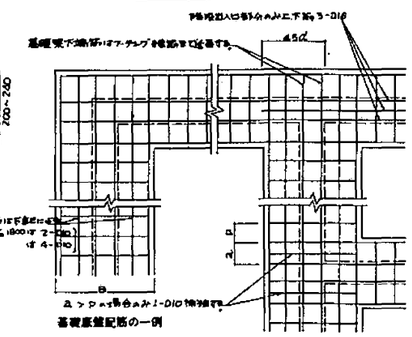
※1．（ ）内数値は上に接する部分及び屋外で仕上げなしの場合を示す。
※2．捨てコンクリートはかぶり厚さに算入しない。

直接基礎の場合





基礎梁開角部における上端主筋の定着を示す



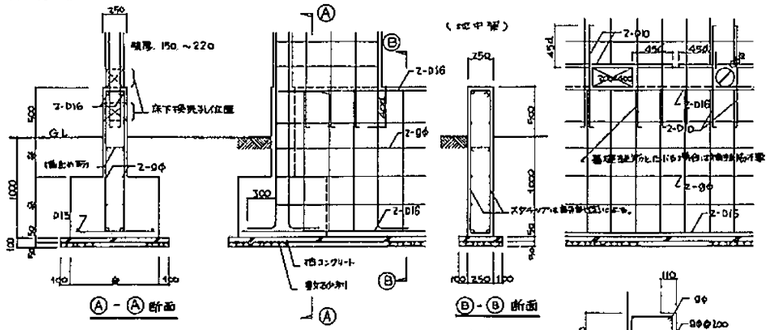
基礎底筋配筋の一例

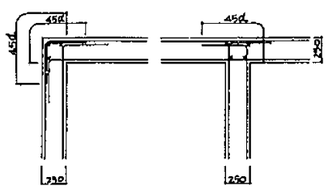
完成図

※完成図では F=180 を使用している場合です

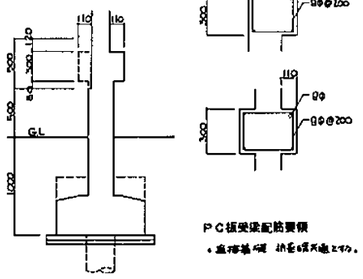
本四公団第二建設局岡山宿舎建築工事			24
構造図 1 スラブリスト S=1:30			
中国地方建設局営繕部	設計	審査	承認

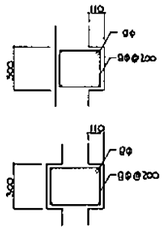
抗基礎の場合





基礎梁隅角部における上端主筋の定着を示す。

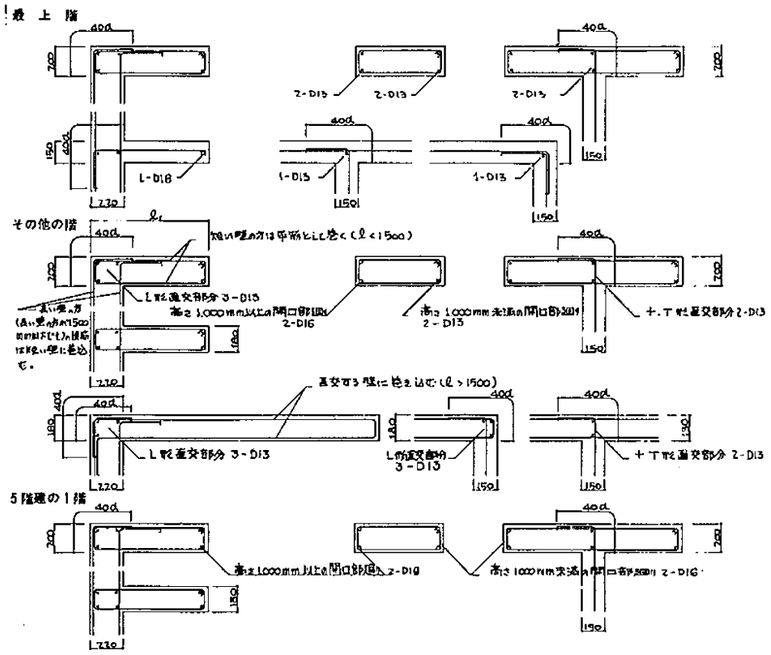


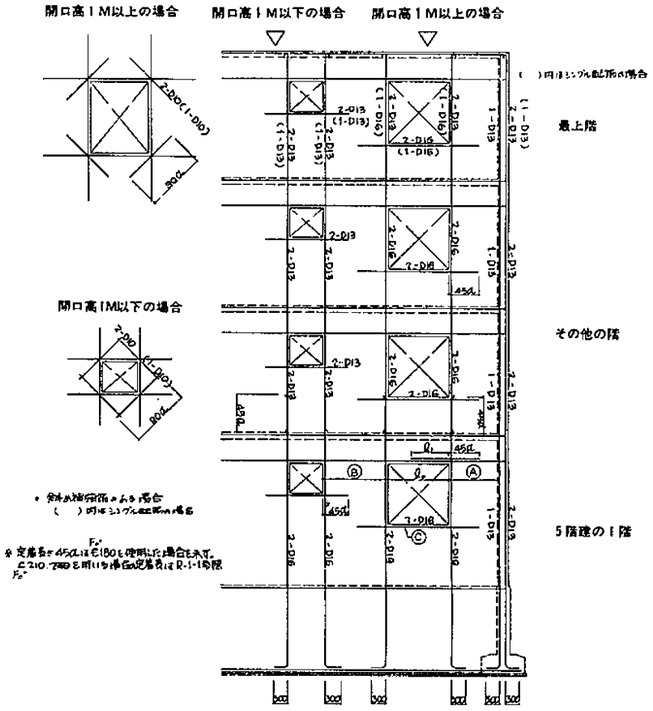


PC板受梁配筋要領

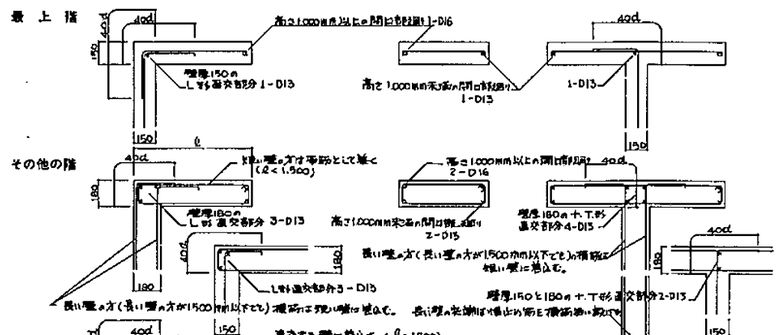
＊直接基礎 抗基礎共通とする。

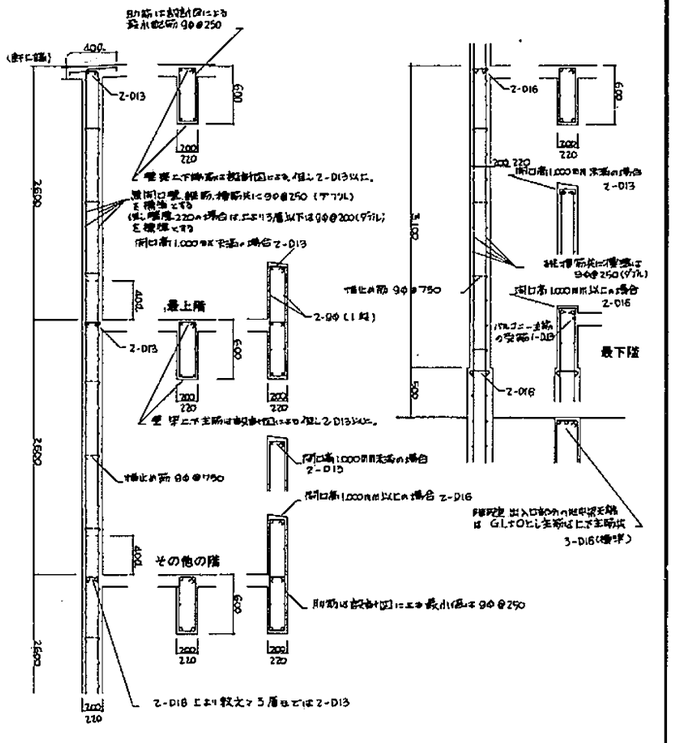
最上階





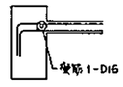
最上階





1. スラブ受筋

端主筋より下にスラブ主筋が取り付くときはスラブ主筋用の受筋を入れる。

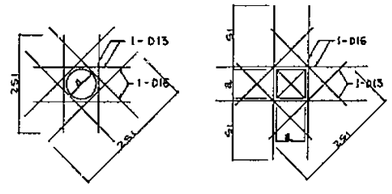


2. 壁受部分

スラブ主筋に曲げが取り付くときは、壁筋を内側へ交互にアンカーする。

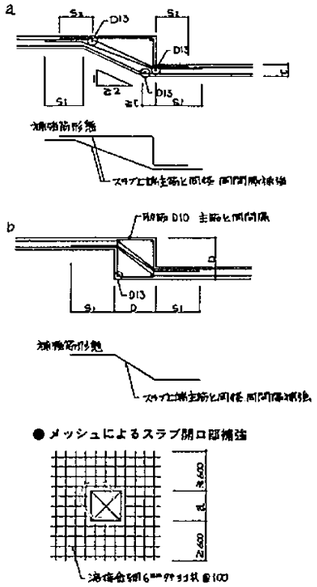
3. スラブ開口部補強

a. 200 ≦ a ≦ 600 の場合



b. a < 200 の場合 ------- 補強筋は不要
a > 600 の場合 ------- 各主筋面の配筋量による。

4. スラブ段違部配筋 (aが困難な場合にはbによる)



＊ 中止め筋は 子中を 2ヶ所に 折曲げる

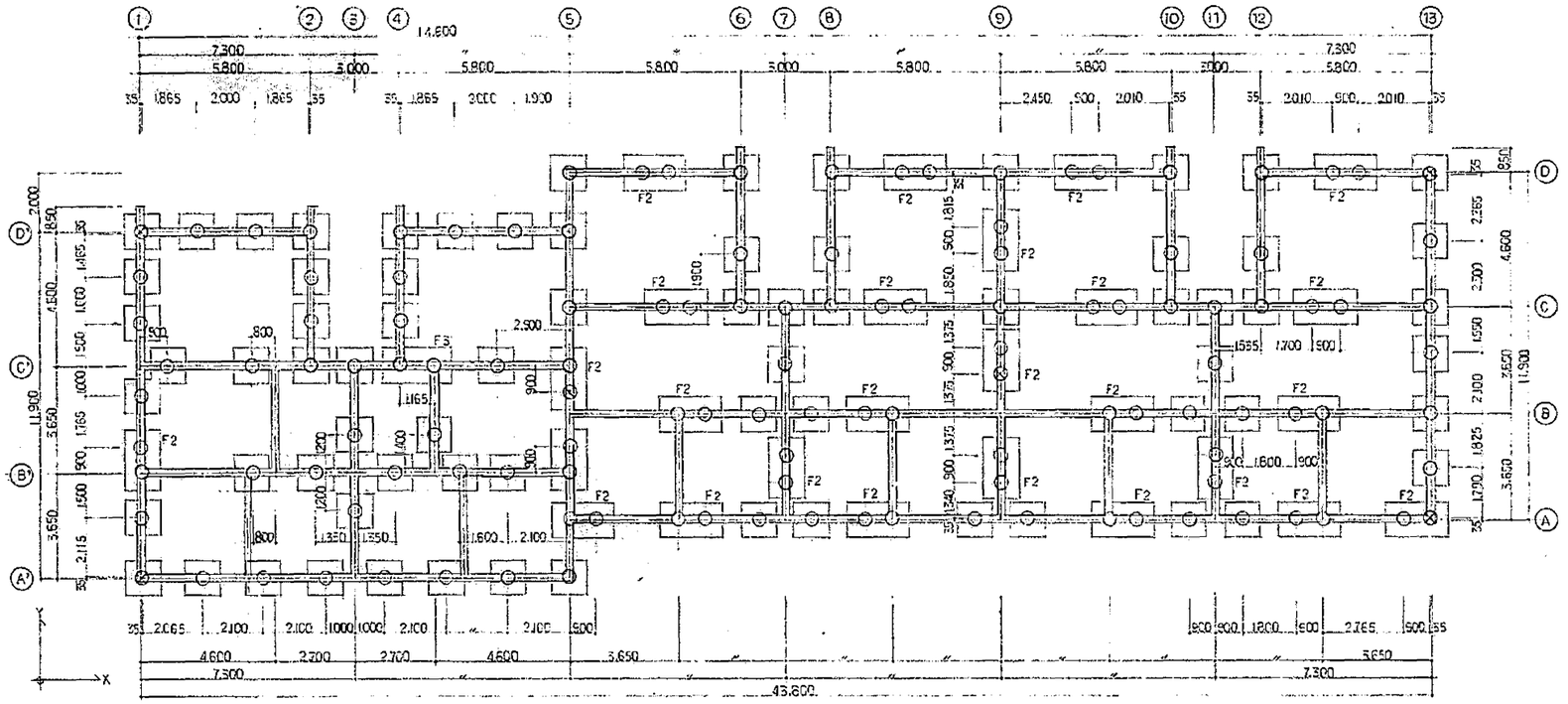
完成図

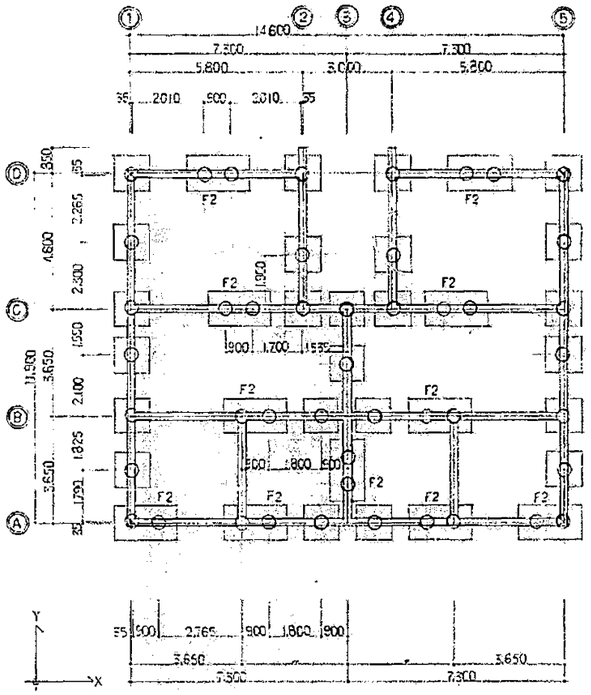
※定着長さ≦45dは≦150を使用した場合を示す

本四公団第二建設局岡山宿舎建築工事

一般図 2

中国地方建設局営繕部





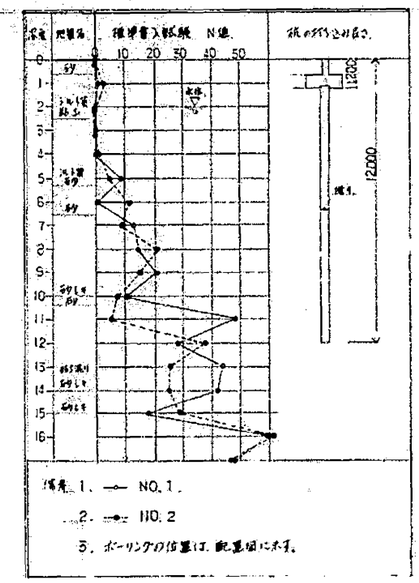
※ 表記は特記以外全てF1。

⊗ 試験杭を示す。

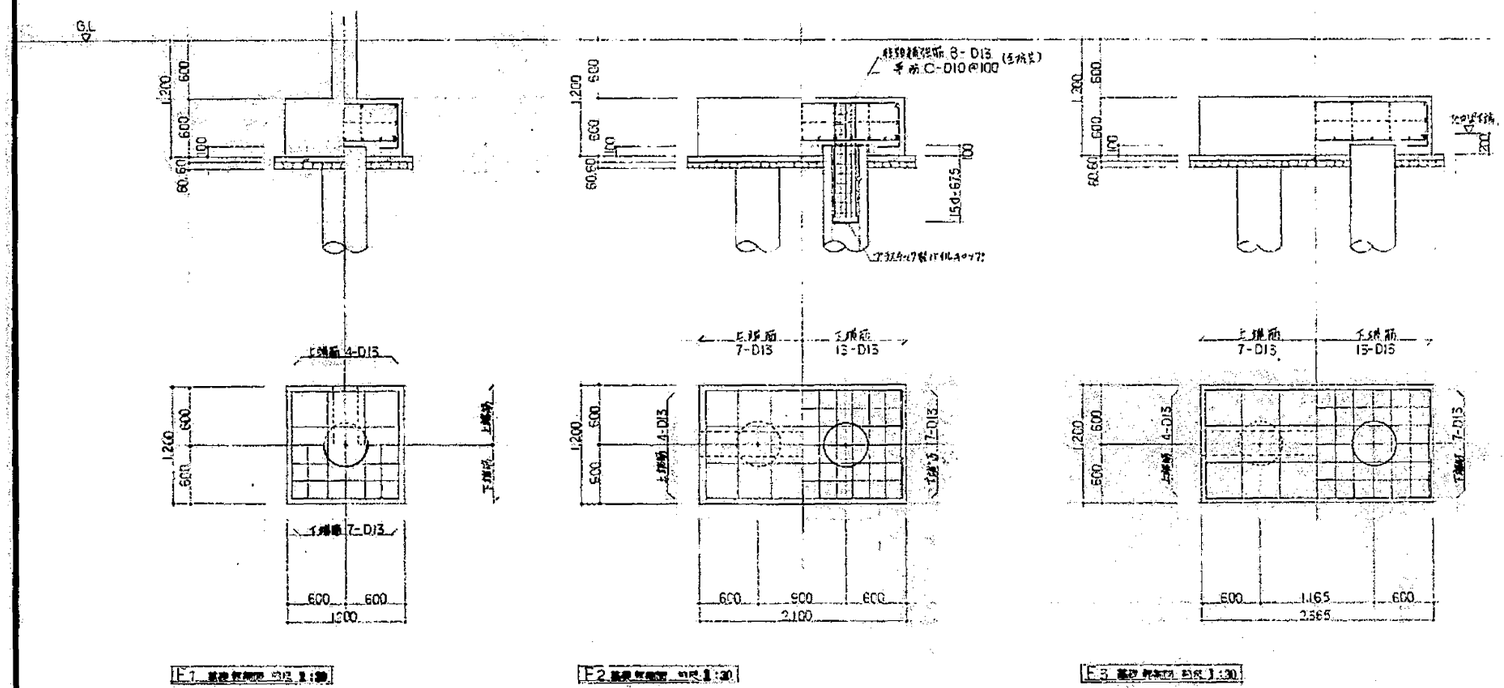
特記事項

1. 通り符号
   - A線 ― ― ①・Ⓐ.
   - B線 —— ①・Ⓐ.
2. 使用杭 PHC杭(A種) 450Φ L=12.0m (6M 2本継).
3. A線 127 set.
4. B線 46 set.
5. 1, 5, 9, 13 通り線は補強杭とし、根入長を1.0m長くする (10.0m).
6. 施工法 (日本建築センター認定による)
   但し下記を原則とする.
   - 採用固定液を使用する.
   - 根固めはセメントミルクによる. 但し物件は経歴書の範囲とする.
   - 施工時に「埋込杭施工時計測記録」による.
   - 試験杭については電流計の値、地耐記事書のデーター及び地盤の判断資料とするので、地耐力の確認は警告音と事前物理探査を実施すること.
   - 施工法
     - KMN工法、 K開コンクリート工業(株).
     - ニーディング工法 大手パイル工業(株)、 宇部コンクリート工業(株).
     - RODEX工法 加化成建材(株)、 中国高圧コンクリート工業(株).

土質柱状図



備考 1. ―― NO.1.
2. ―― NO.2
3. ボーリングの位置は、配置図に示す。



F1

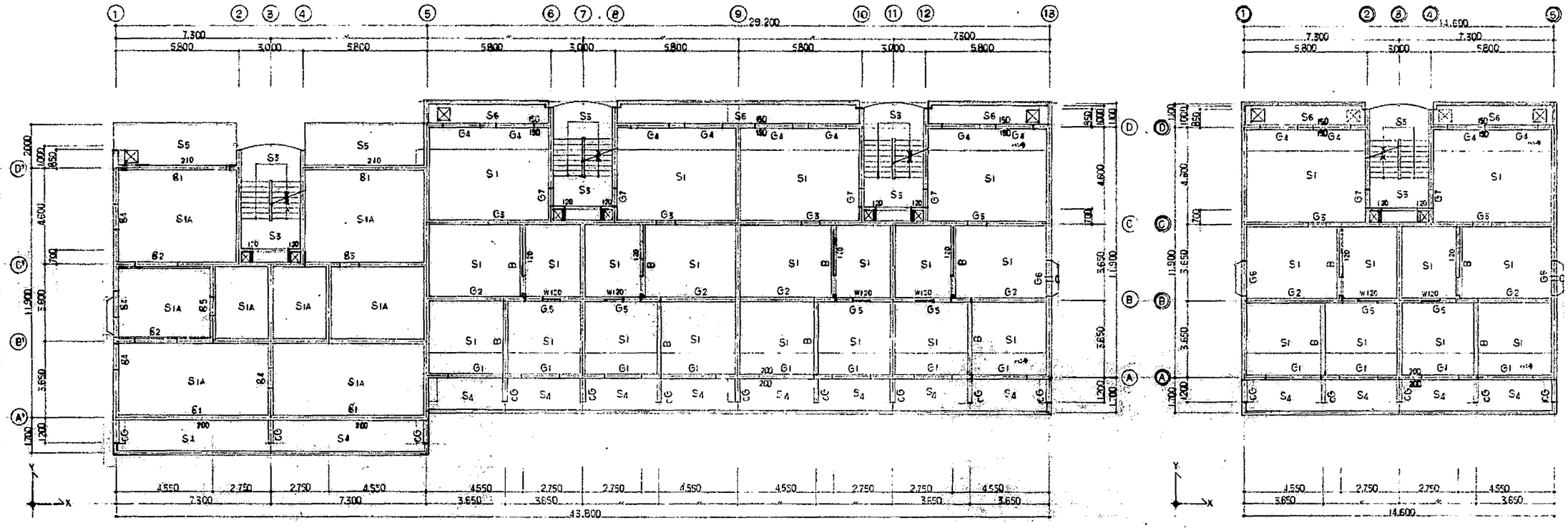
F2

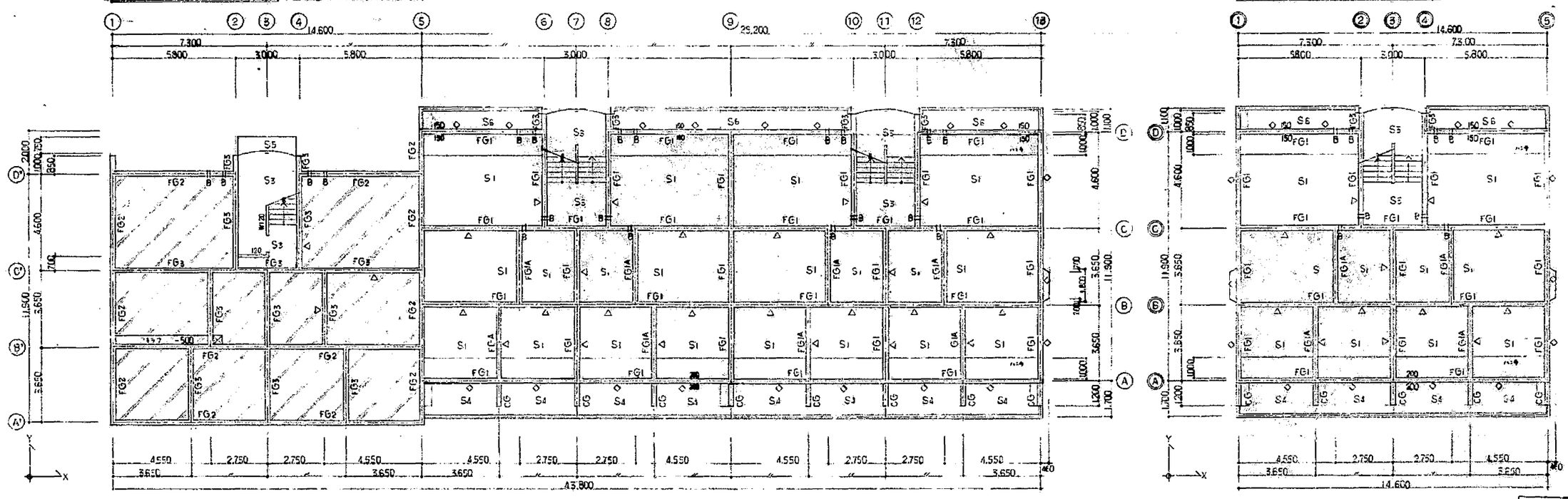
F3

完成図

本四公団第二建設局岡山宿舎建築工事

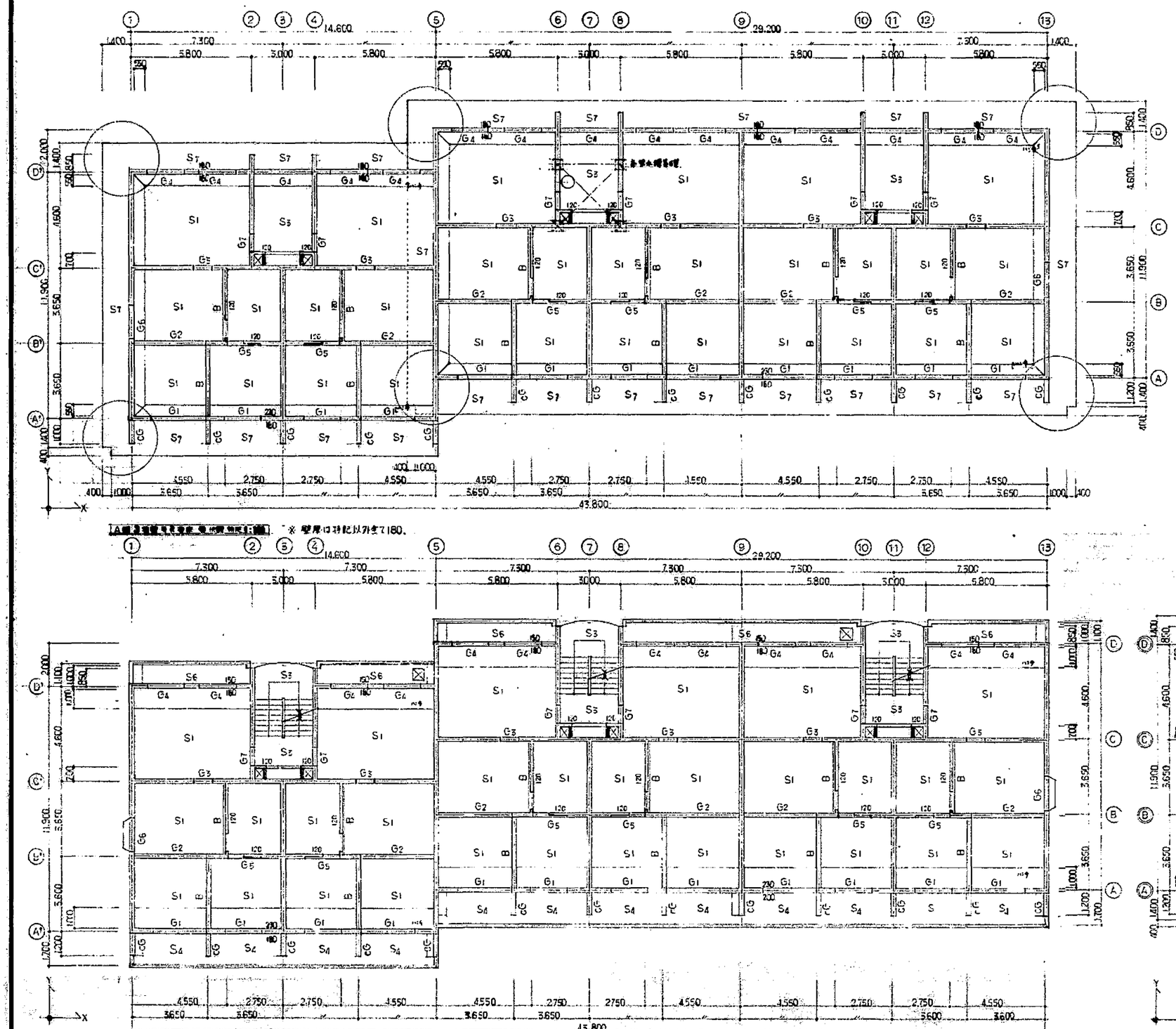
杭配置図	26
中国地方建設局営繕部	36

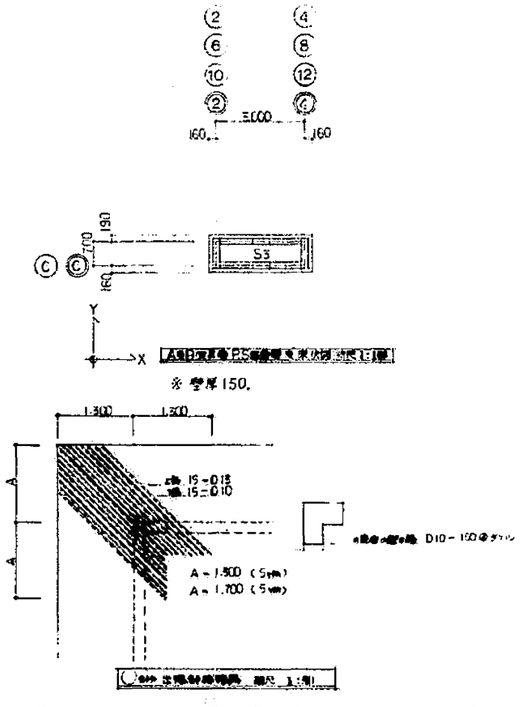




完成図

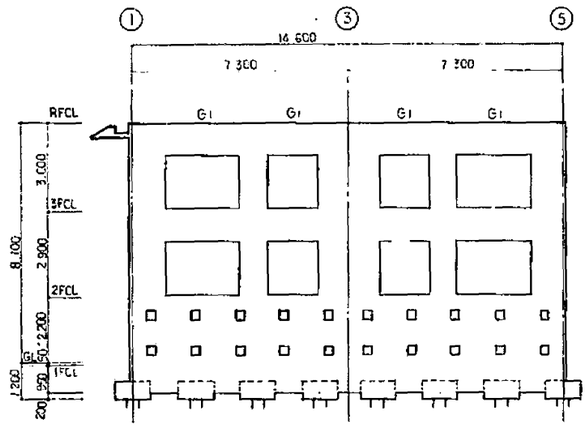
本四公団第二管理局岡山橋倉 建築工事	
完成図 1.	27
中国地方建設局管理部	36



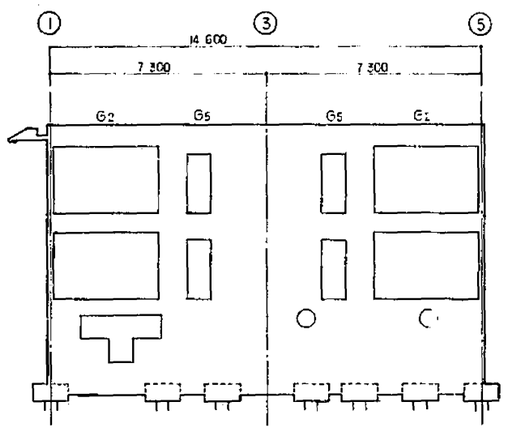


完成図

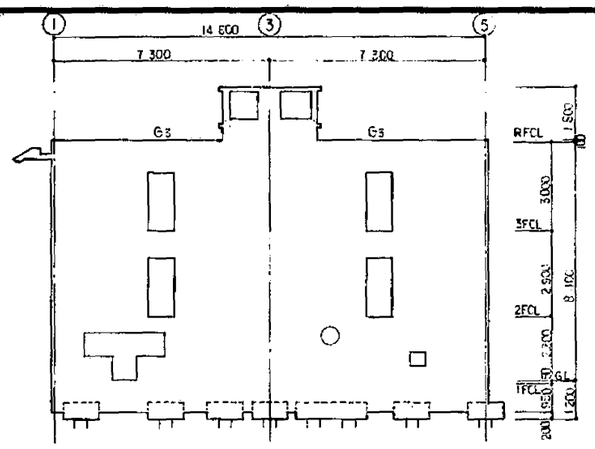
本四公団第二建設局岡山商会 建築工事	
図面 2.	S=1/150 1:200
中国地方整備局	28 / 36



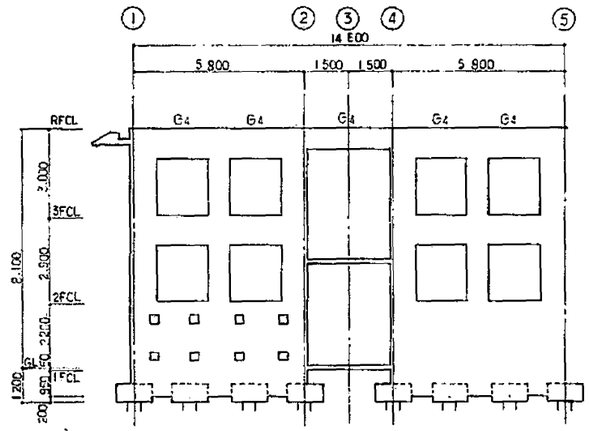
Ⓐ通 軸組図 縮尺 1:100



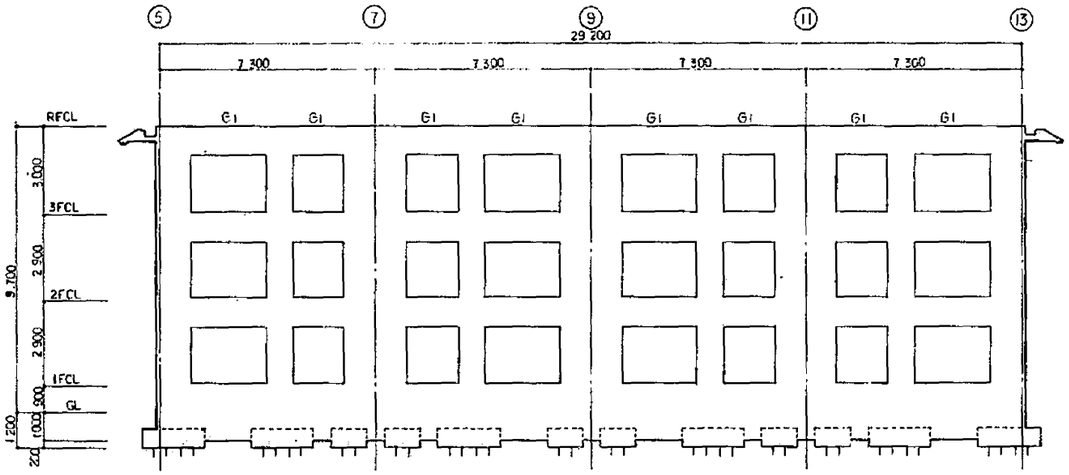
Ⓑ通 軸組図 縮尺 1:100



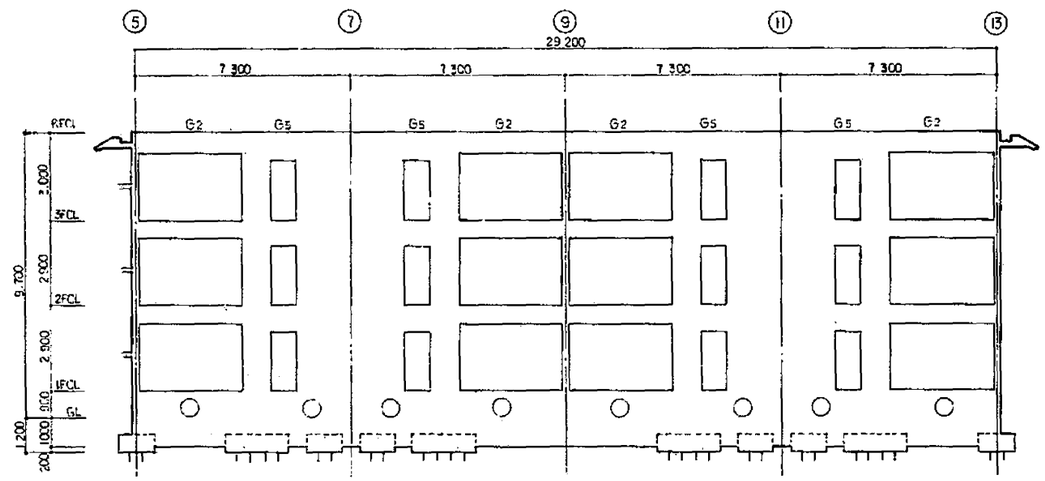
Ⓒ通 軸組図 縮尺 1:100



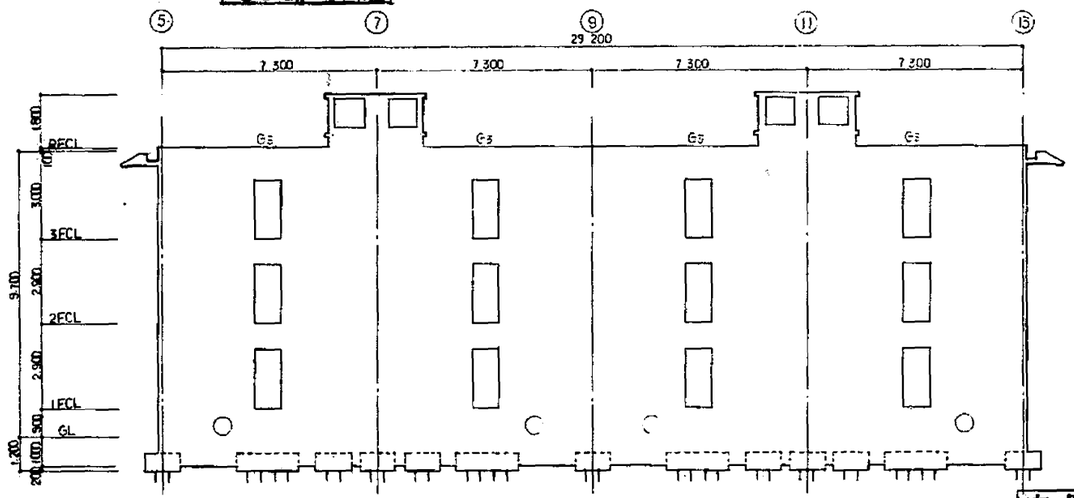
Ⓓ通 軸組図 縮尺 1:100



Ⓐ通 軸組図 縮尺 1:100



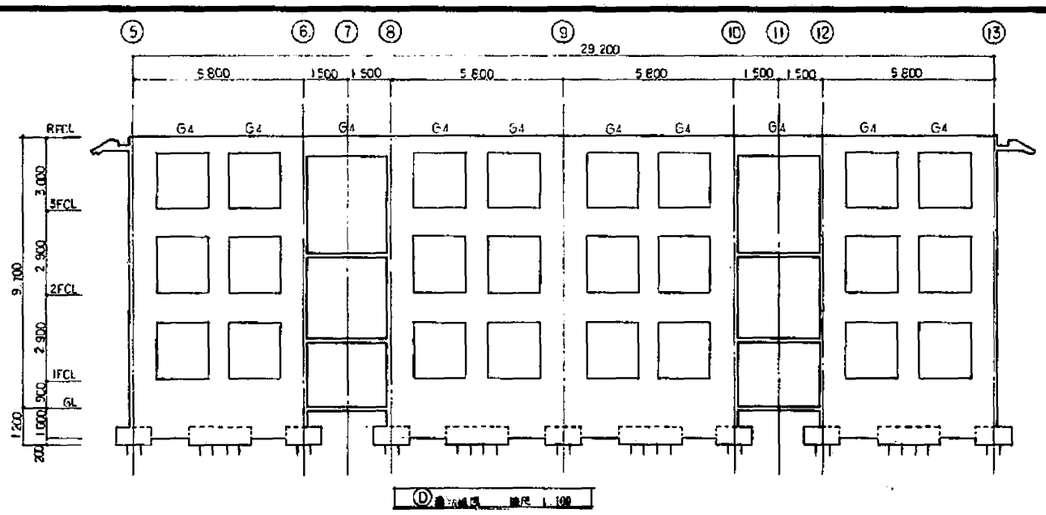
Ⓑ通 軸組図 縮尺 1:100

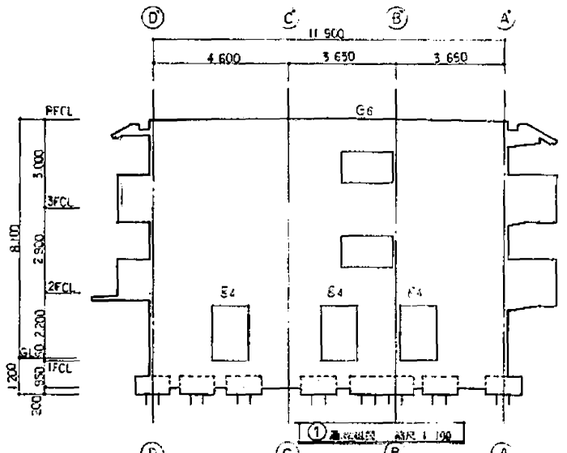


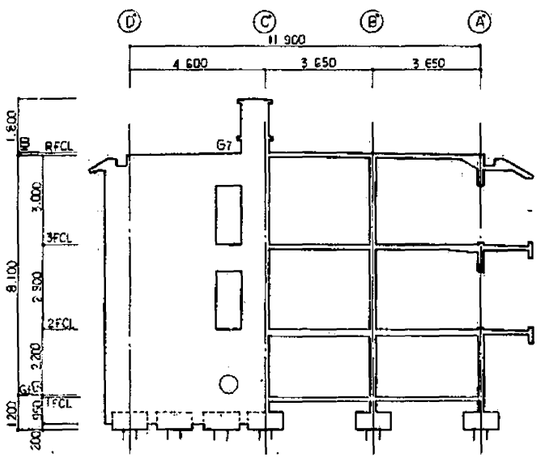
Ⓒ通 軸組図 縮尺 1:100

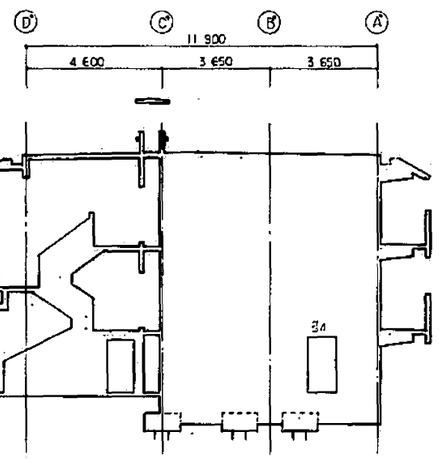
完成図

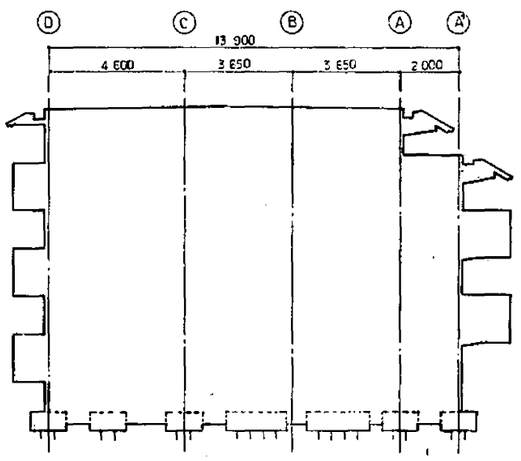
本田公団第二処県庁岡山清倉 建築工事	
軸組図 1 S=1/100	29
中国地方建設局営繕部	36

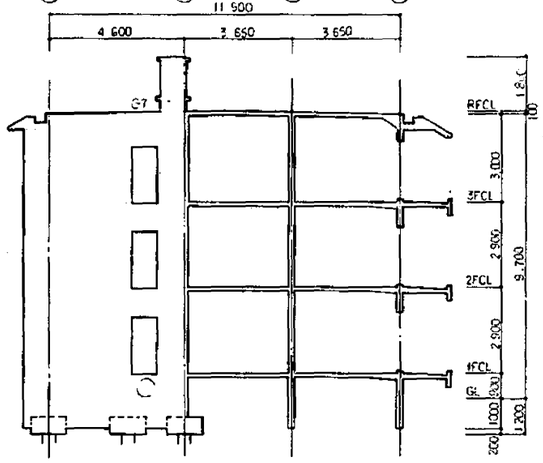


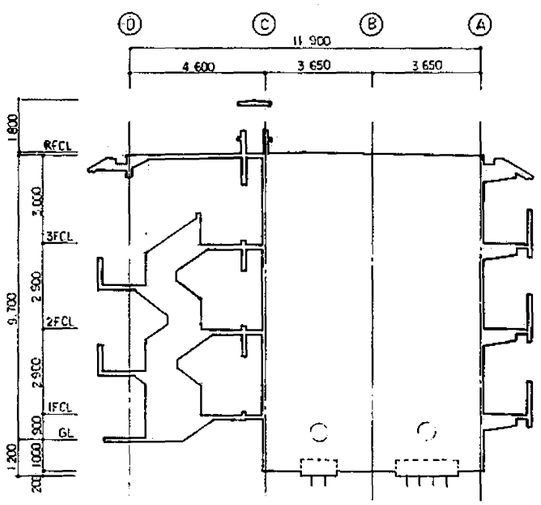


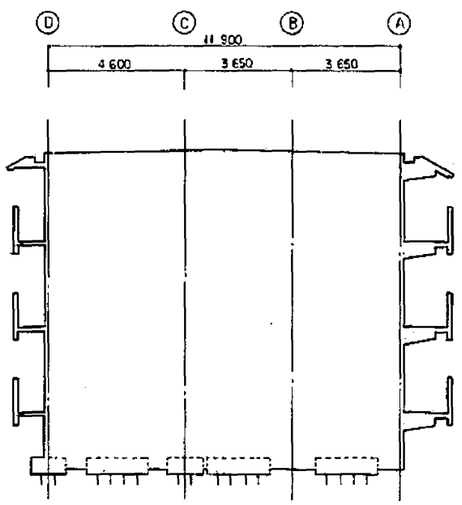


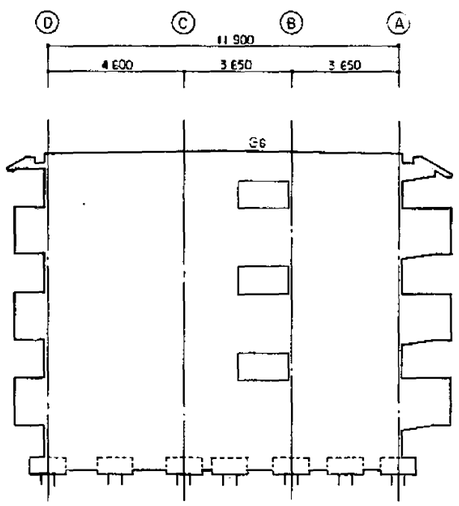






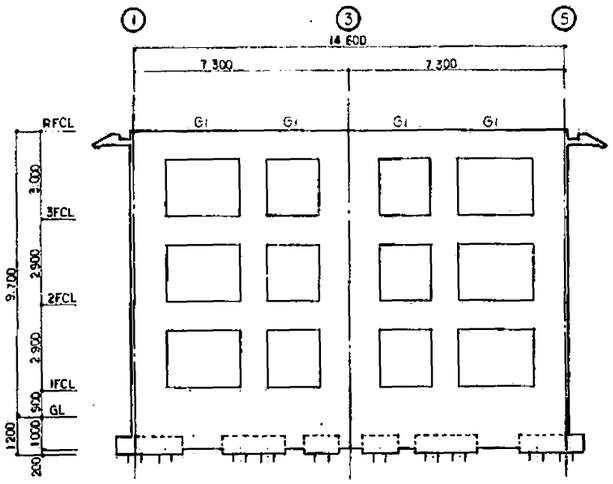




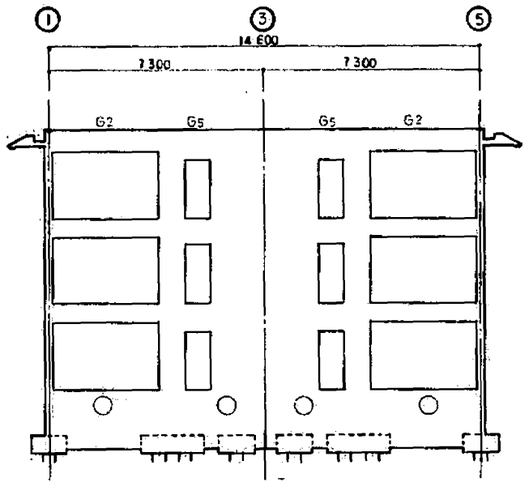


完成図

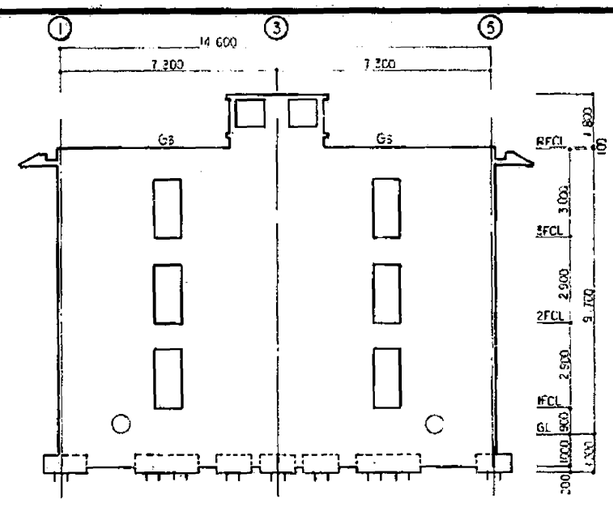
本四公団第二建設局岡山病舎 建築工事		
軸組図 2	S:1/100	30
中国地方建設局営繕部		36



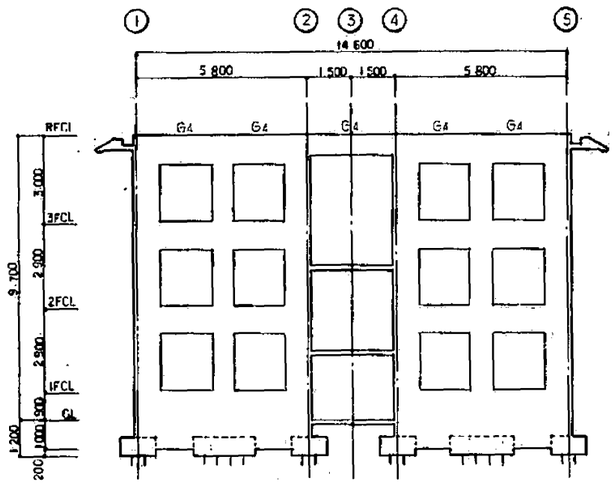
Ⓐ通り軸組図 縮尺 1:100



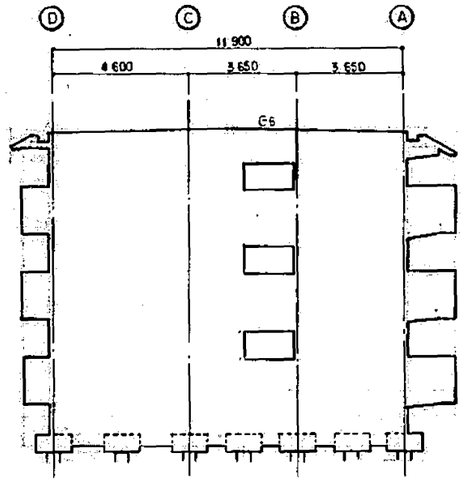
Ⓑ通り軸組図 縮尺 1:100



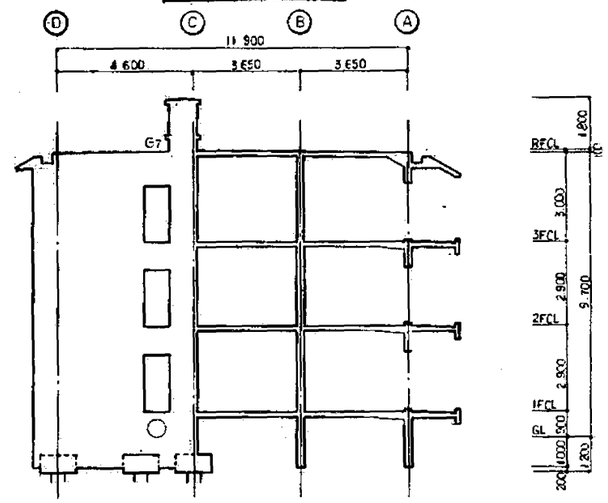
Ⓒ通り軸組図 縮尺 1:100



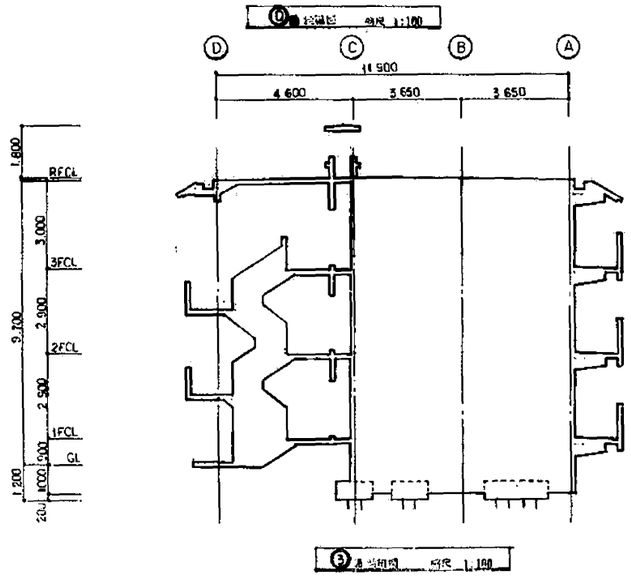
Ⓓ通り軸組図 縮尺 1:100



①⑤通り軸組図 縮尺 1:100



②④通り軸組図 縮尺 1:100



③通り軸組図 縮尺 1:100

完成図

本四公団第二建設局岡山南倉庫建築工事		
軸組図 3.	S=1/100	31
中国地方建設局営繕部		36

大梁リスト 1:50

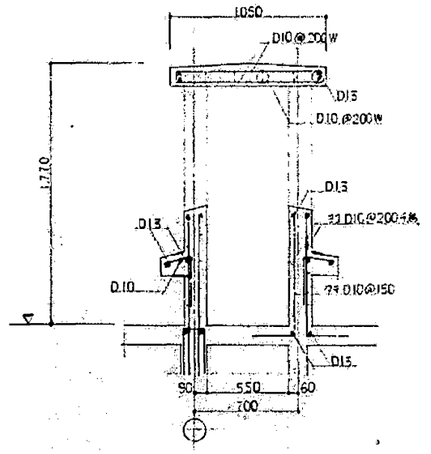
	符号	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7
	位置	全断面	←	←	←	←	←	←
R G 階	断面							
	B × D	180 × 1060	180 × 700	180 × 1060	←	←	←	←
	上端筋	2 - D16	4 - D16	2 - D16	←	←	←	←
	上端筋	2 - D16	4 - D16	2 - D16	←	←	←	←
	スターラップ	D10@150	←	D10@200	←	←	←	←
	腹筋	6 - D13	2 - D10	6 - D10	←	←	←	←
3 G 階	断面						2-D13	
	B × D	180 × 860	180 × 500	180 × 860	←	←	180 × 1750	180 × 860
	上端筋	4 - D16	←	←	←	2-D16 + 2- D13	2 - D16	4 - D16
	下端筋	4 - D16	←	←	←	2-D16 + 2-D13	2 - D16	4 - D16
	スターラップ	D10@150	D10@200	D10@150	D10@200	←	D10@250	D10@150
	腹筋	4 - D13	2 - D10	4 - D10	←	←	8 - D10	4 - D10
2 G 階	断面						2-D13	
	B × D	180 × 860	180 × 500	180 × 860	←	←	180 × 1700	180 × 860
	上端筋	4 - D16	←	2-D16 + 2-D16	4 - D16	2-D16 + 2-D13	2 - D16	2-D19 + 2-D16
	下端筋	4 - D16	←	2-D19 + 2-D16	4 - D16	2-D16 + 2-D15	2 - D16	2-D19 + 2-D16
	スターラップ	D10@150	D10@200	D10@100	D10@200	←	D10@250	D10@150
	腹筋	4 - D13	2 - D10	4 - D10	←	←	8 - D10	4 - D10
F G 階	断面	(FG1) (FG1A) 900		R G1				
	B × D	250 × 1900	250 × 950	250 × 950				
	上端筋	(FG1) 2-D22 (FG1A) 2-D19	4 - D19	2 - D22				
	下端筋	2-D22 2-D19	4 - D19	2 - D22				
	スターラップ	D13@250	D13@150	←				
	腹筋	10 - D13	8 - D13	←				

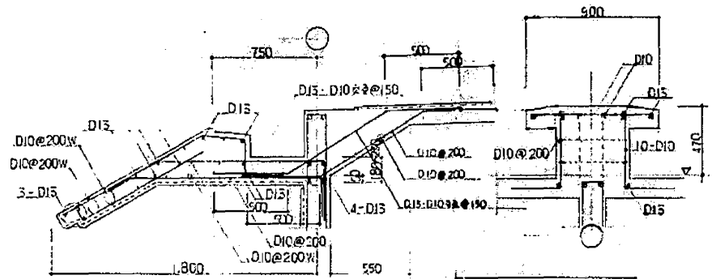
大梁リスト 1:50

	符号	g1	g2	g3	g4	g5
	位置	全断面	←	←	←	←
2 g 階	断面					
	B × D	200 × 950	250 × 700	180 × 700	180 × 850	180 × 450
	上端筋	4 - D16	4 - D22	4 - D16	←	4 - D13
	下端筋	4 - D16	4 - D22	4 - D16	←	4 - D13
	スターラップ	D10@150	←	←	←	←
	腹筋	4 - D13	2 - D13	4 - D10	←	2 - D10

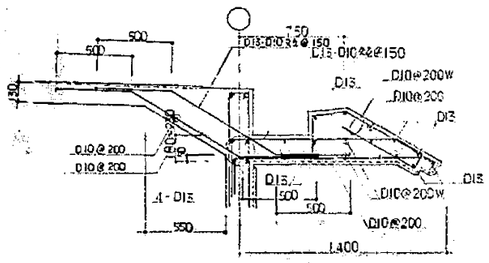
小梁リスト 1:30

	符号	B	CG
	位置	全断面	←
R S 1 F 階	断面		
	B × D	180 × 500	180 × 600 ~ 400
	上端筋	4 - D16	←
	下端筋	4 - D16	←
	スターラップ	D10@200	D10@150
	腹筋	2 - D10	2 - D13

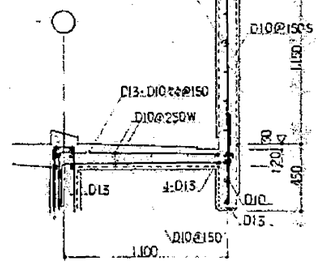




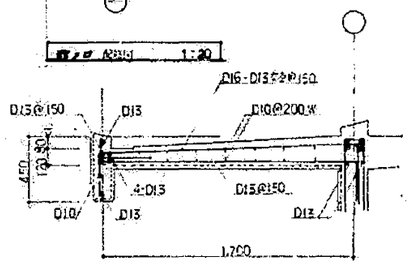
S7 1:20



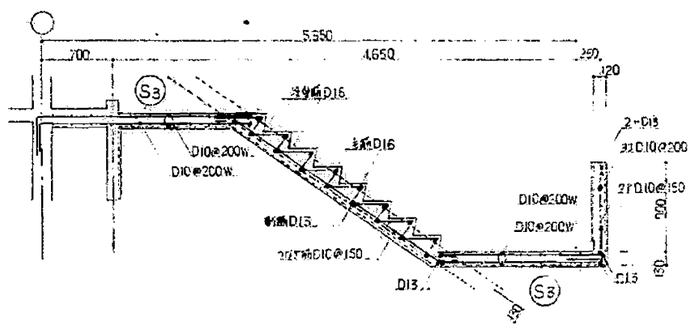
S7 1:20



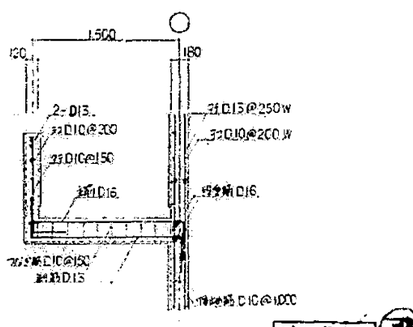
S6 1:20

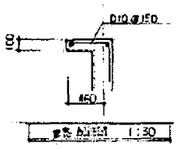


S4 1:20



S3 1:30





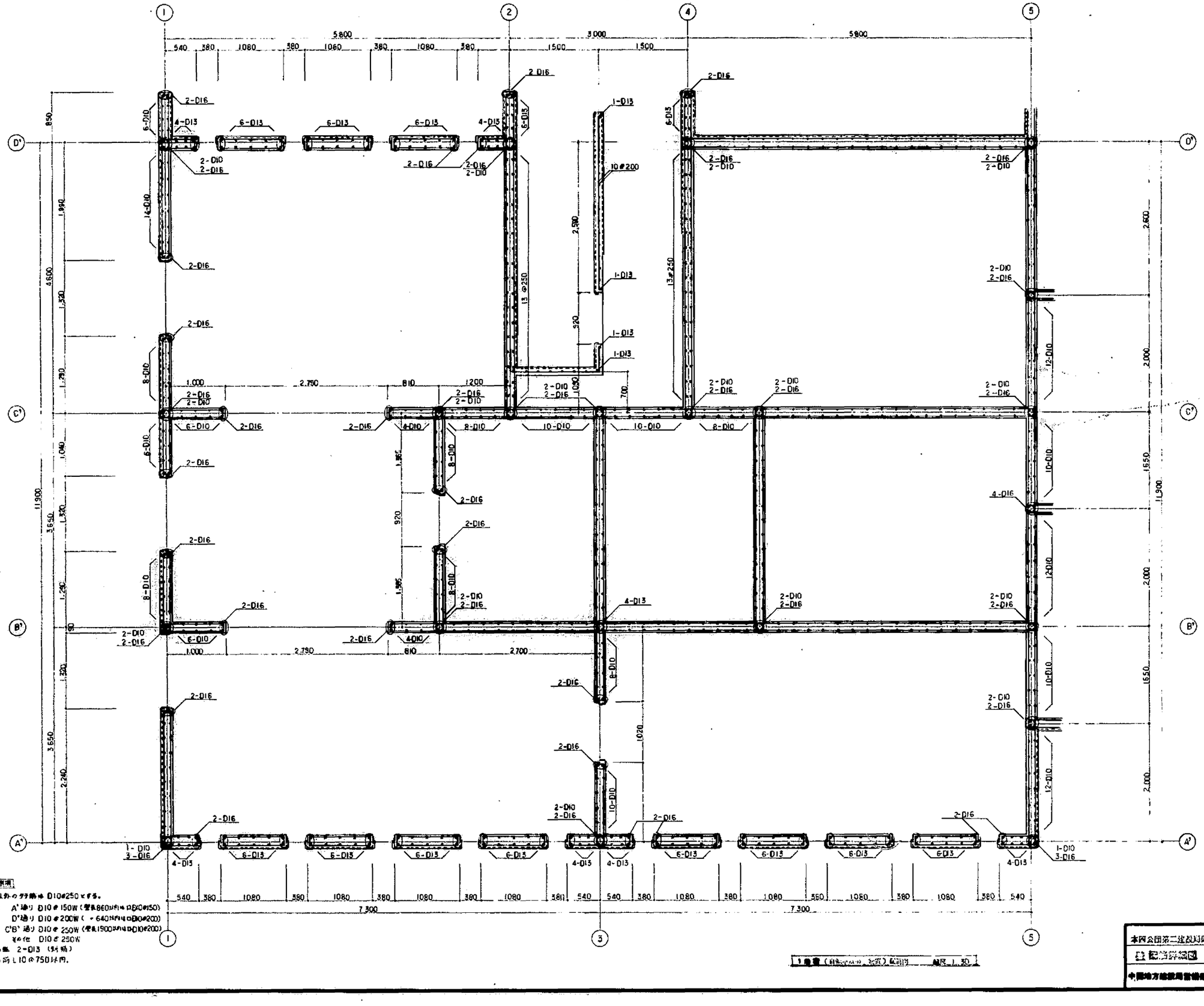
基礎 1:30

1. 帯止め筋は全て D10@750 以内。

完成図

本四公団第二建設局岡山管理工事

梁リスト 基礎伏図	S=1/100 20	32	
中国地方建設局営繕部	設計	製図	36

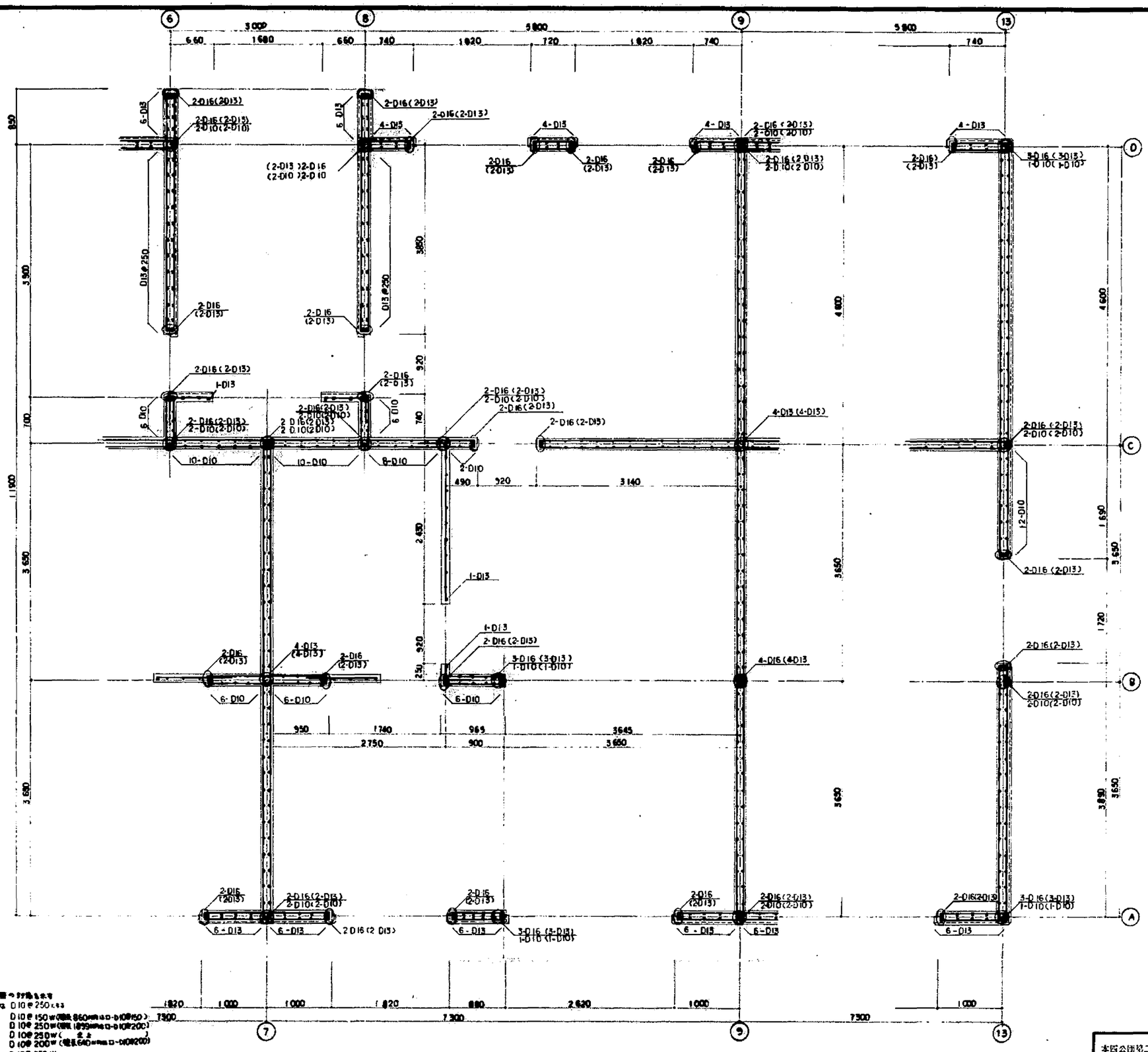


特記以外のスラブ筋は D10@250とする。
ヨコ筋　A'通り D10@150W（壁長860以内はD10@150）
D'通り D10@200W（〃640以内はD10@200）
C'B'通り D10@250W（壁長1900以内はD10@200）
その他　D10@250W
開口補強　2-D13（斜筋）
開まわり L10@750以内。

1階梁（耐震壁、支柱）伏図　縮尺 1:50

完成図

本四公団第二建設局岡山病舎建築工事
1階梁伏図 1.　S=1:50　33
中国地方建設局営繕部　36



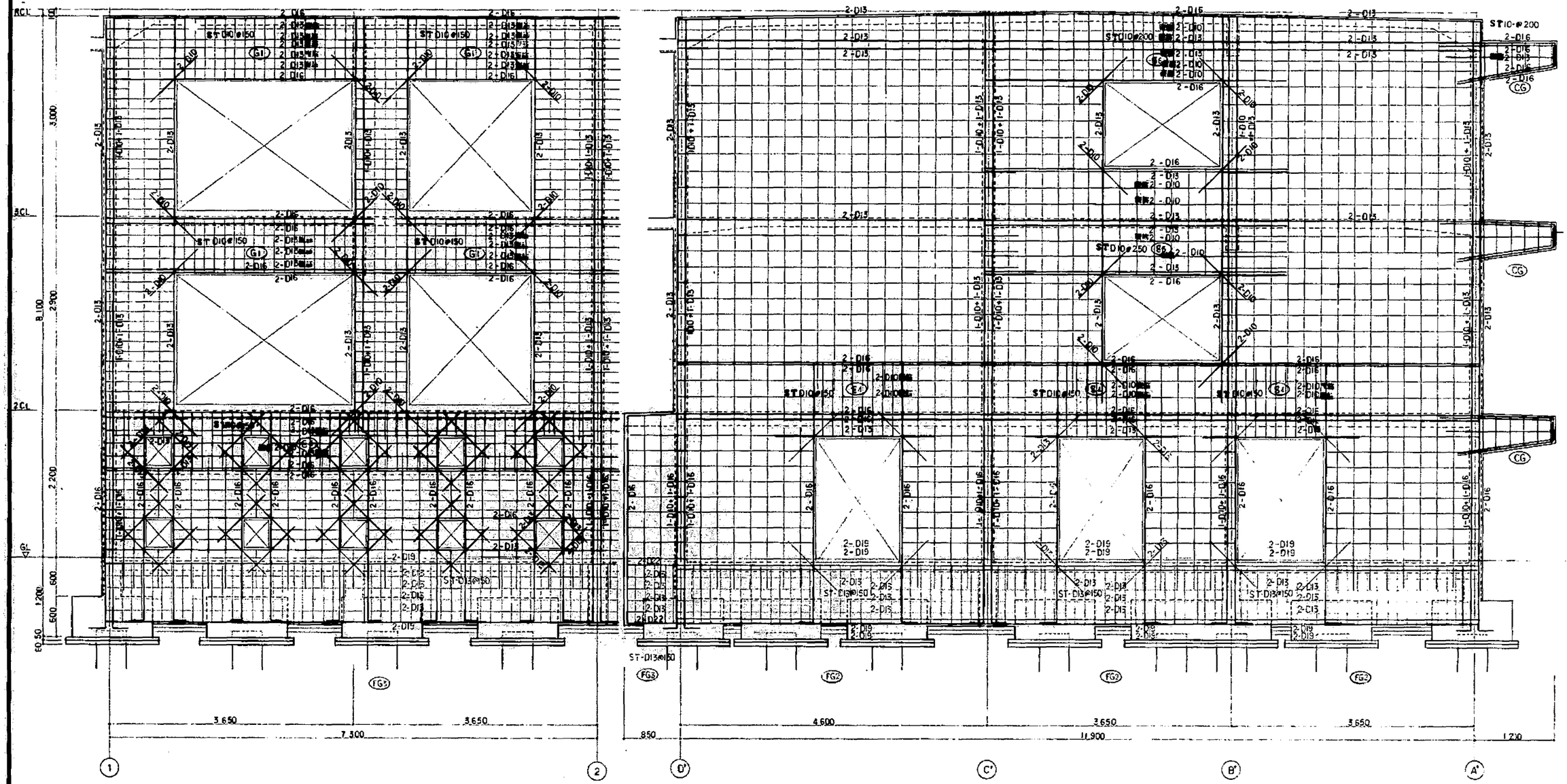
( )は 2F, 3F 階の寸法を表す
特記以外の寸法は D10@250とする

3通り	A通り	D10@150W(端部 860mmは D10@150)
	B通り	D10@250W(端部 1895mmは D10@200)
	C通り	D10@250W( )
	D通り	D10@200W(端部 640mmは D10@200)
	E通り	D10@250W

開口補強筋 1F - 2-D13 2~3F 2-D10 (斜筋)
頂上の筋 D10@750 ハンチ.

完成図

本四公団第二建設局鳴山宿舎 新築工事	
杭配筋伏図 2. S=1/20	34
中国地方建設局営繕部	36

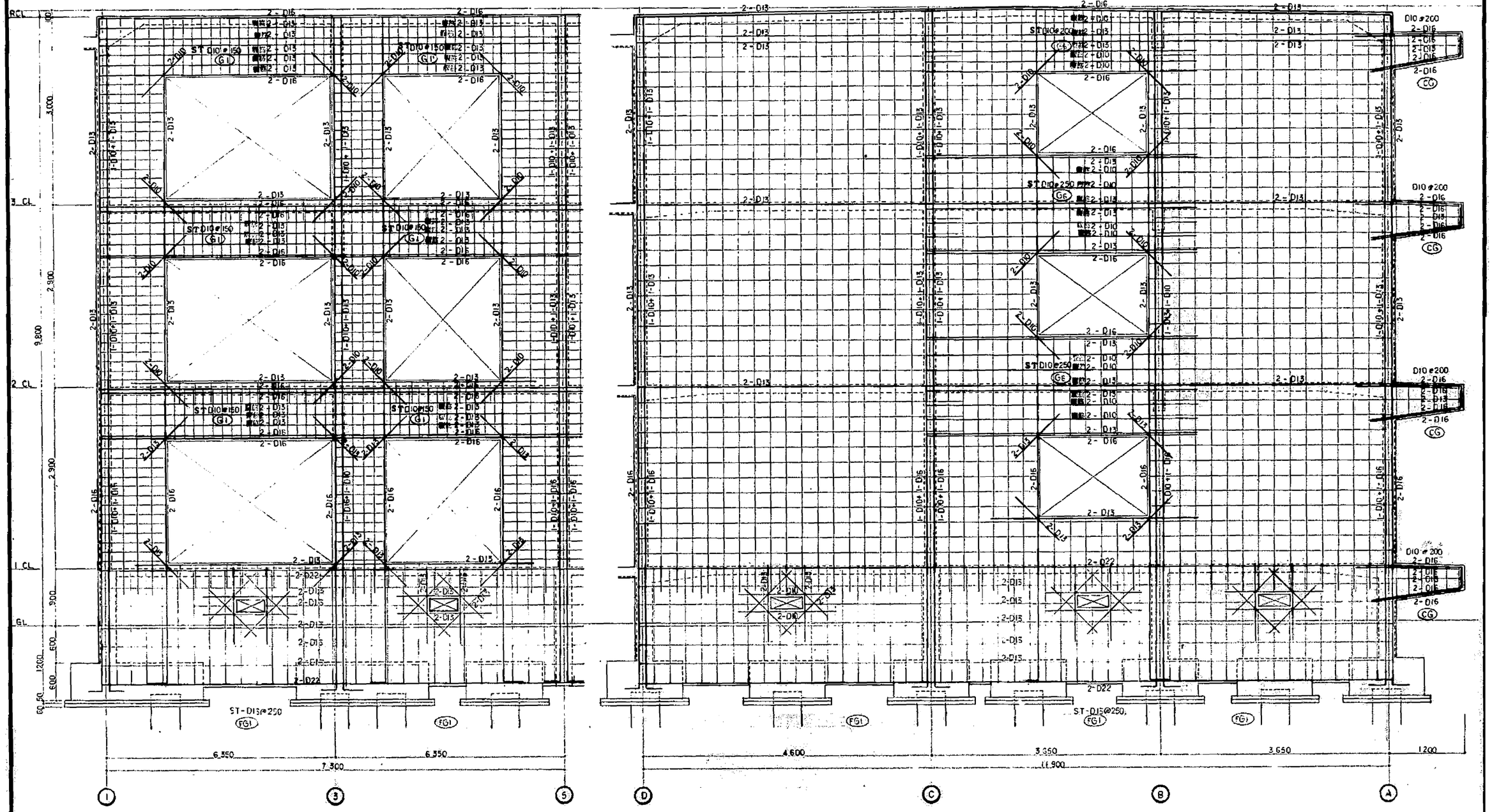


Ⓐ通り 縮尺 1:30

①通り 縮尺 1:30

完成図

本四公団第二技術局岡山総合建築工事	
配筋図 1. S=1/30	35
中国地方建設局営繕部	36



Ⓐ～① 断面図 縮尺 1:30

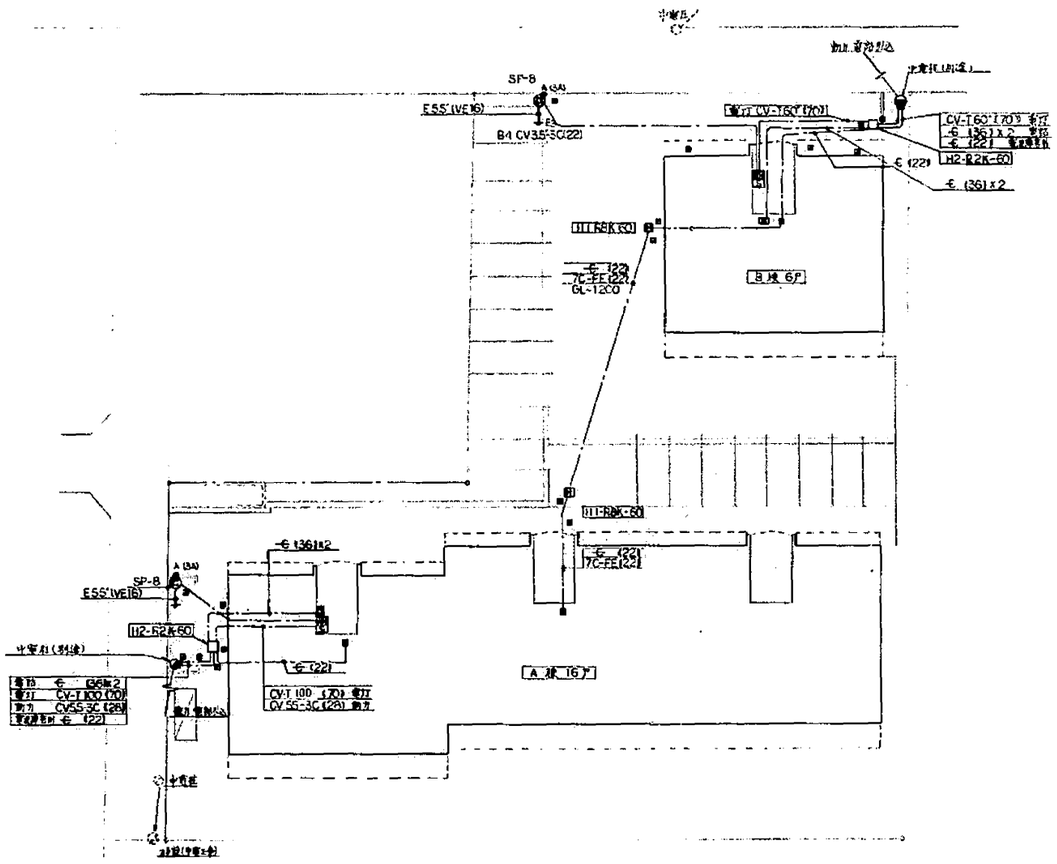
①～⑤ 断面図 縮尺 1:30

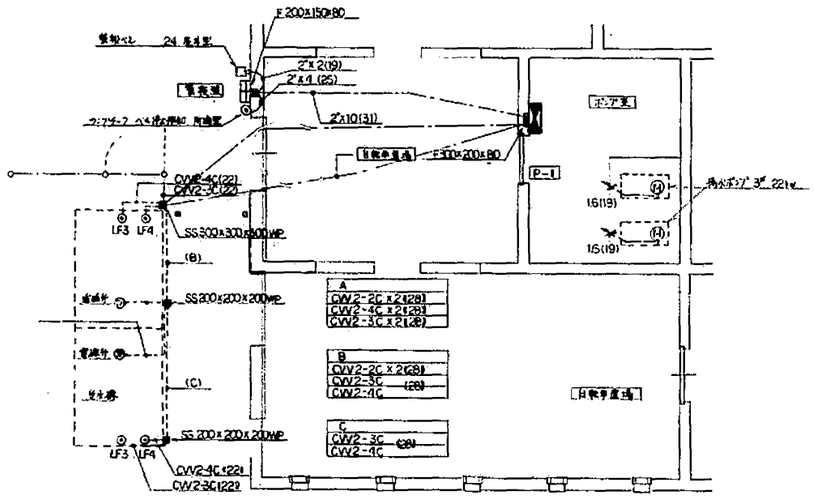
完成図

本四公団第二建設局岡山鋼合 橋脚工事	
断面図 2. S=1/30	36
中国地方建設局管理部	36

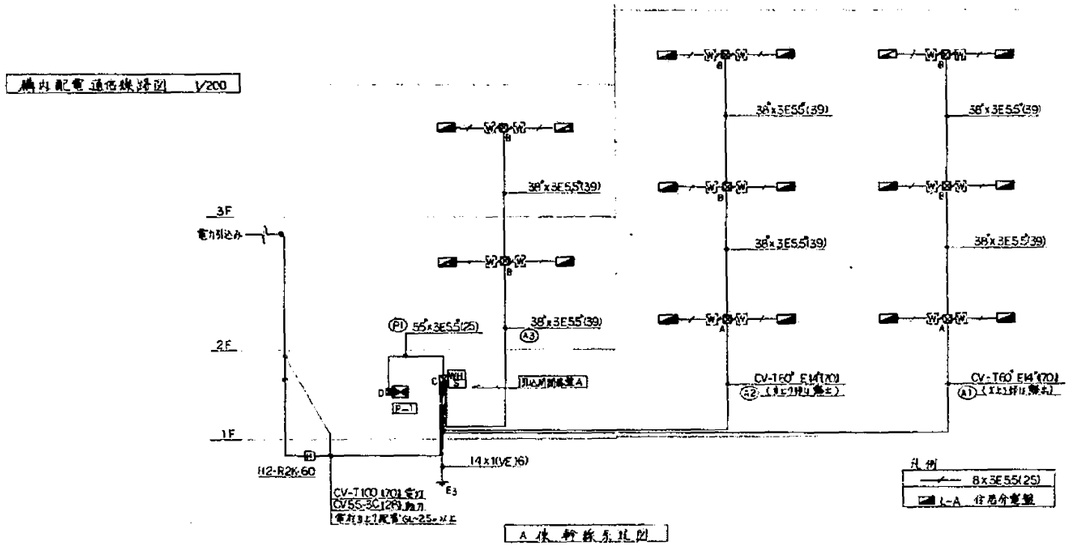
本四公団第二建設局岡山宿舎電気設備工事

図番	図　　面　　名　　称	SCALE
1/9	配置図・ポンプ室動力配線図・幹線系統図	1/200 , 1/50
2/9	A棟　1 , 2階　幹線・電灯・動力設備配線図	1/100
3/9	A棟　3 , R階　幹線・電灯・動力設備配線図	1/100
4/9	B棟　幹線・電灯・電話・テレビ共同受信設備配線図	1/100
5/9	住居内 電灯・インターホン・ガス漏れ警報設備配線図	1/30
6/9	電話・テレビ共同受信・セキュリティインターホン設備系統図	
7/9	A棟　1 , 2階　電話・テレビ共同受信設備配線図	1/100
8/9	A棟　3階　電話・テレビ共同受信設備配線図	1/100
9/9	B棟　1 , 2 , 3 階　火災報知設備配線図	1/100



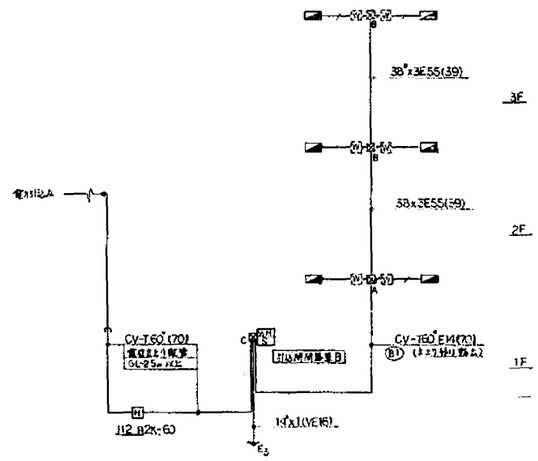


ポンプ室 動力設備配線図 1/50



通信配電設備系統図 1/200

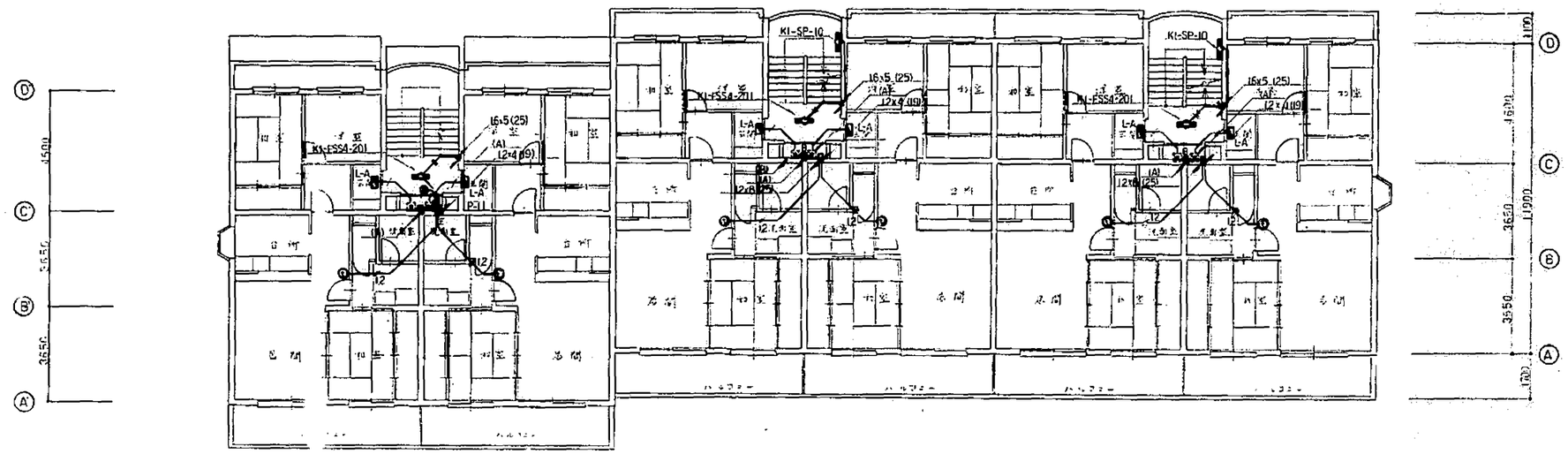
A棟 幹線系統図



B棟 幹線系統図

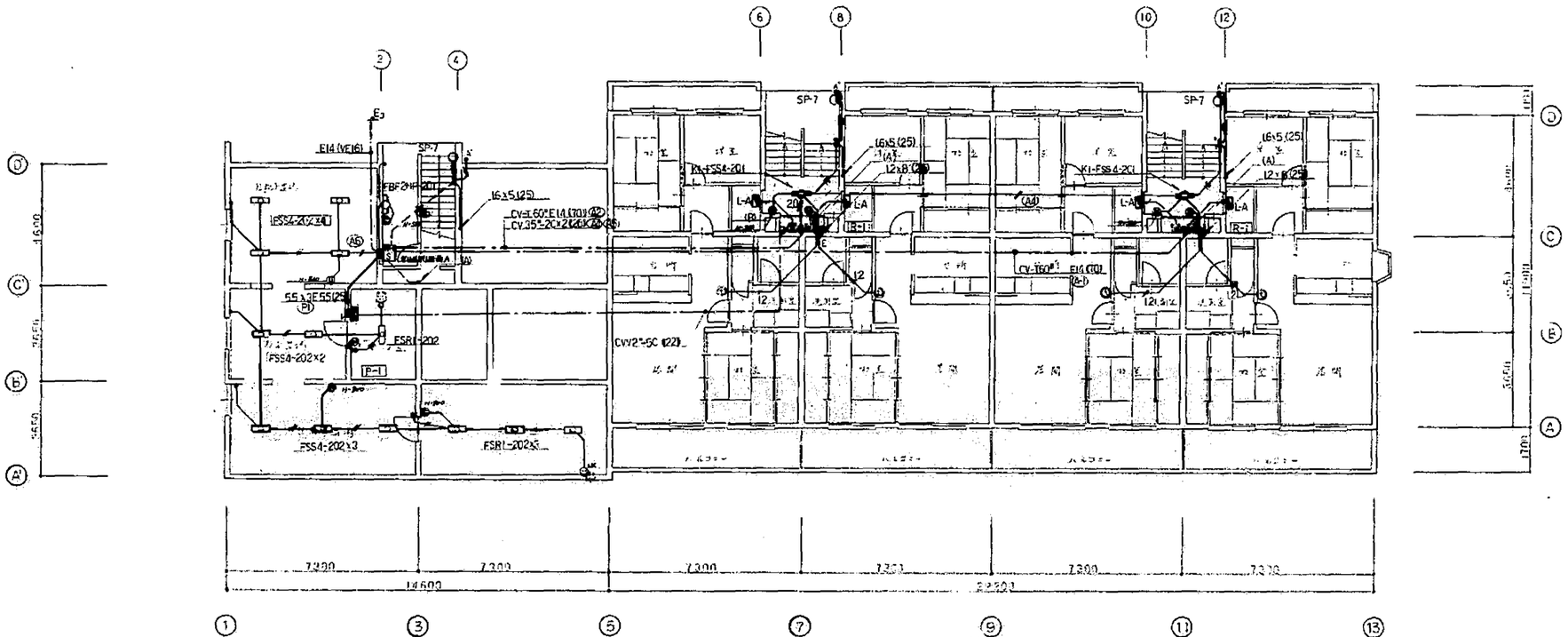
ブスボックス寸法	
A	MS 400x400x300 (300x300x80)
B	MS 350x350x300 (250x250x80)
C	F 350x250x80
D	F 300x200x80

工事名	東京公団第二浦和団地1-1街区電気設備工事	図面番号	1/9
図面名称	配管図 ポンプ室動力設備、幹線系統図	縮尺	N 1/200 1/50
設計年月日	昭和62年10月27日	設計者	東京支店 石川



A棟 2階 幹線 電灯 動力 設備 配線図 1/100

記号	名称	摘要
A	35×3E55(39) 幹線	
B	CV2*50(25) 管路	



A棟 1階 幹線 電灯 動力 設備 配線図 1/100

凡例

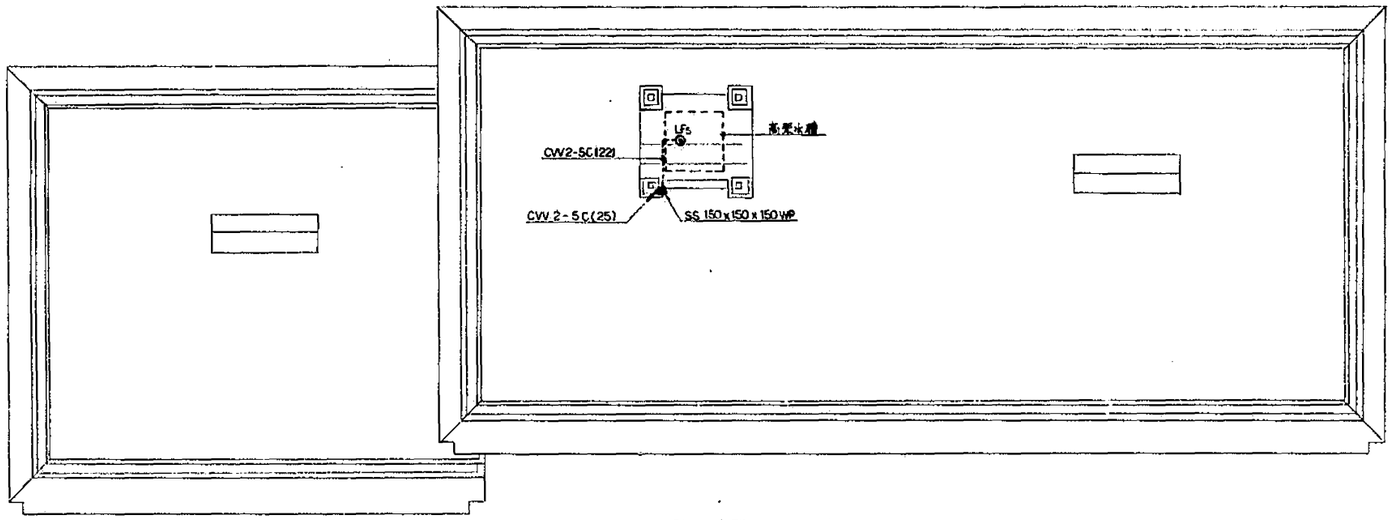
記号	名称	摘要
●D	プッシュ釦付表示灯	非常 予備 切
●E	引掛シーリング	AC 100V 15A(20A) アイボリー(白)
		(特記)
●FB	ブレード型ヒューズ(2本型)	定格(A) 個数
		ブレード型ヒューズ内蔵ホルダ
◎	埋込形ベル	AC 100V (100φ) 鋼製ケース入り
(P)	埋込用 電子音ブザ	(特記) 電圧(V)

(分岐)

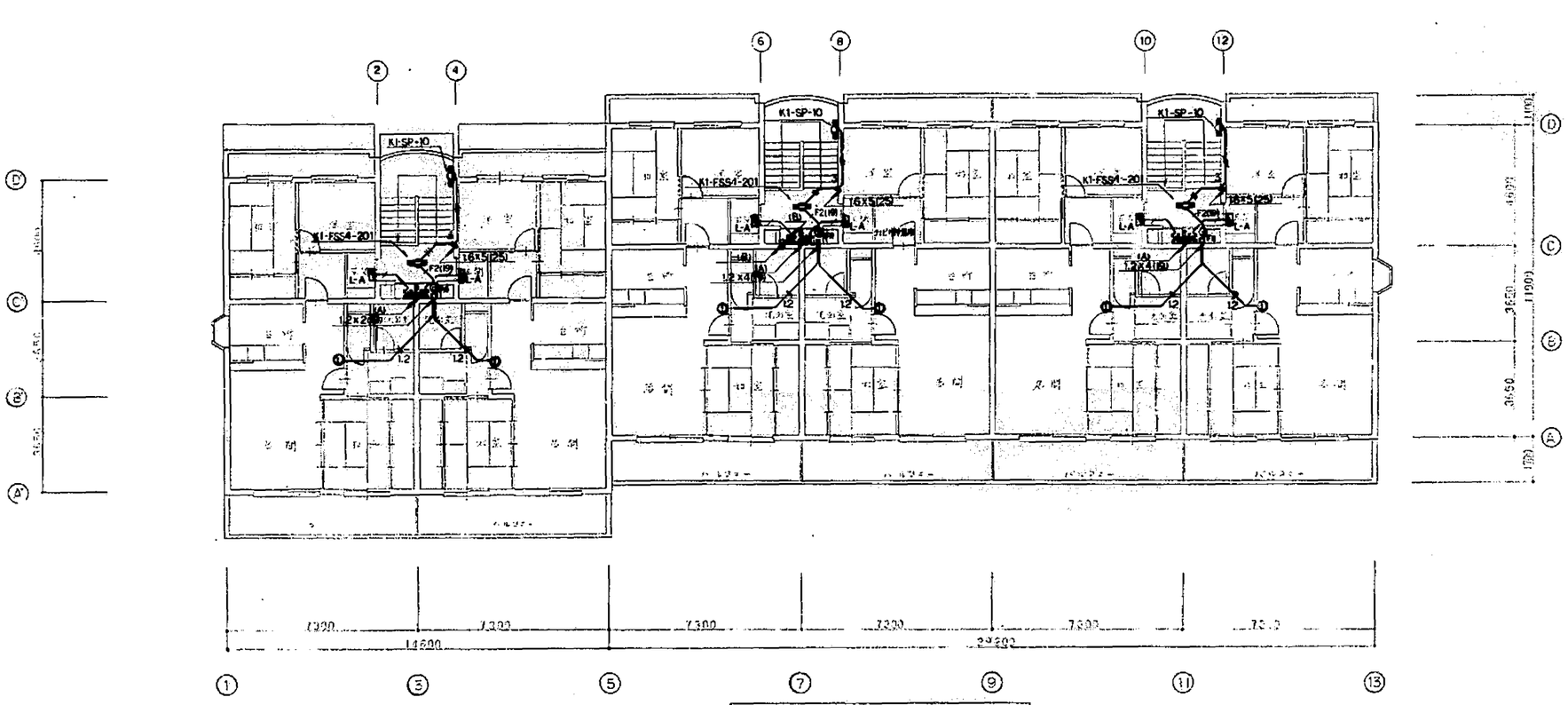
1. 引込開閉器(ブレード型ヒューズ入り)を下記による
   - 20×4(25) — 12×2(19)
   - 9×3E55(25)
2. ケーブルラック又はスチール製ボックスによる

ISA	MS	400×400×300 (F300:300×60)
ISB	MS	350×350×300 (F250:250×60)
ISC	F	350×250×60 (幹線用端子台 集約)
ISD	F	300×200×60 (P-1 集約)
ISE	F	200×150×60 (R-1 集約)

工事名	本四公団第二建設局岡山管内電気設備工事	図面番号	3/9
幹線及び動力設備配線図	A棟(2階 幹線、電灯、動力設備配線図	縮尺	1/100
調査年月日	昭和62年10月27日	設計者	電設技術 石川 憲

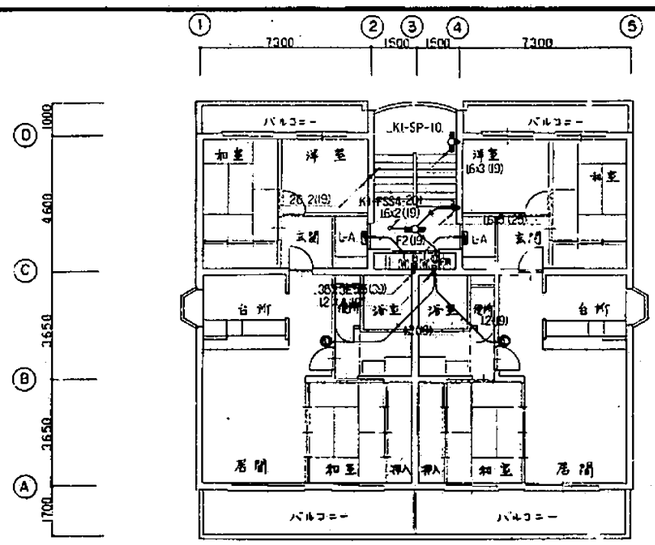


A棟 R階 動力設備配線図 1/100

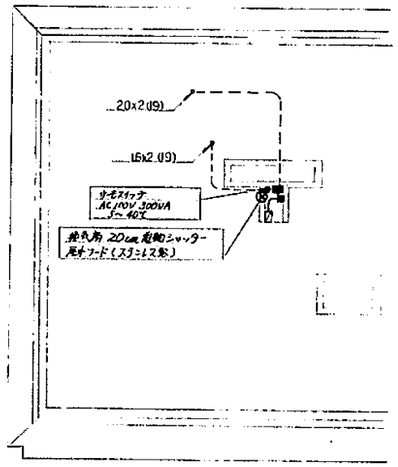


A棟 3階 幹線電灯動力設備配線図 1/100

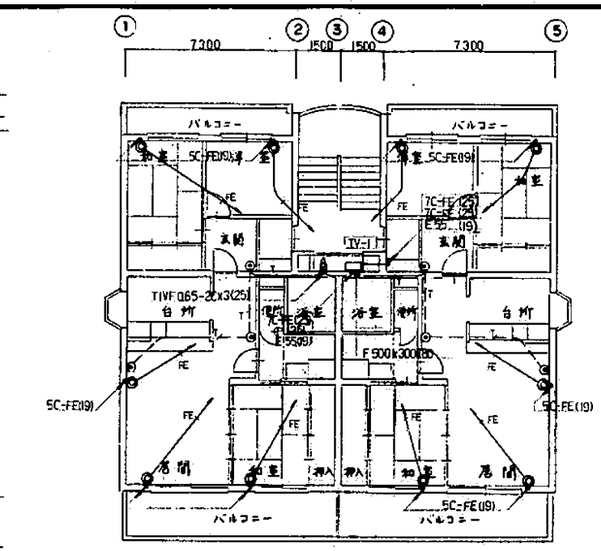
工事名	米沢公園第二住宅両側山形県営住宅建設工事	図面番号	3/9
図面名称	A棟3R階幹線、電灯、動力設備配線図	縮尺	1/100
設計年月日	昭和62年10月27日	設計者	東建設計事務所 石川・[illegible]



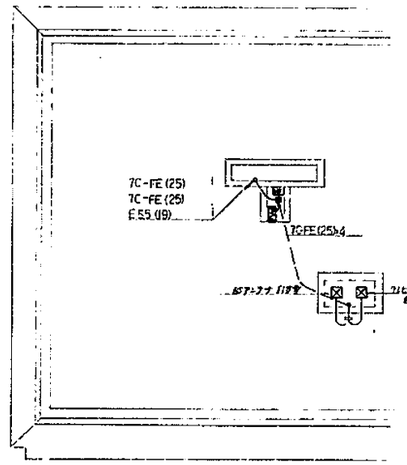
B棟 3階 新築 電灯 設備配線図 1/100



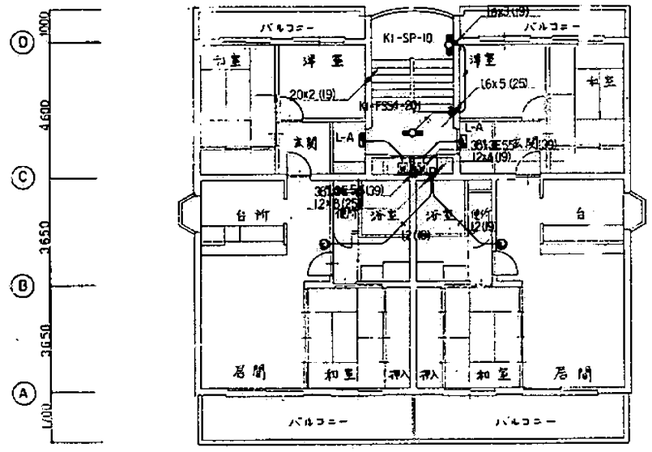
B棟 R階 電灯設備配線図 1/100



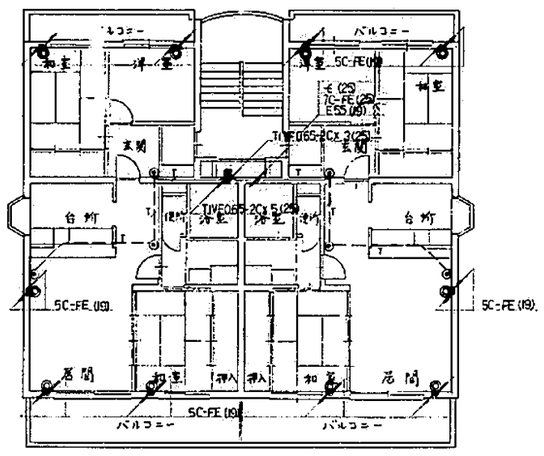
B棟 3階 電話 テレビ共同受信設備配線図 1/100



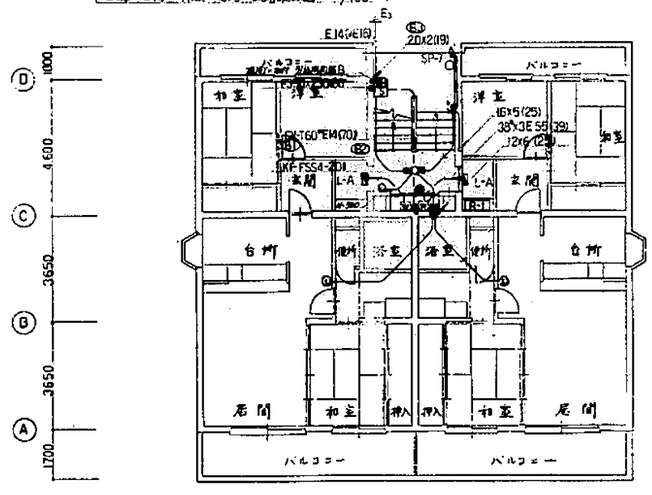
B棟 R階 電灯設備配線図 1/100



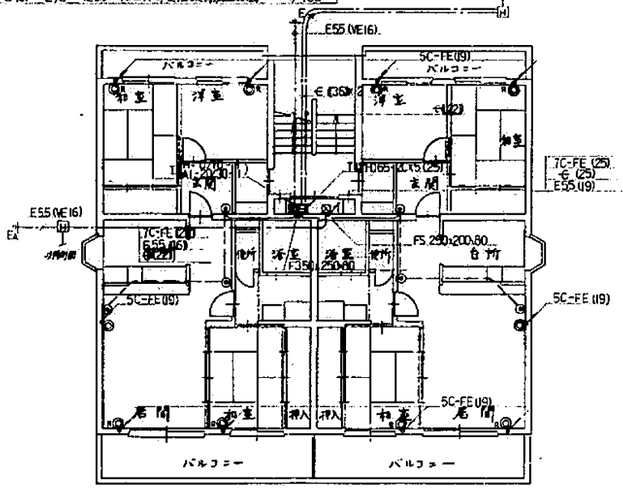
B棟 2階 新築 電灯 設備配線図 1/100



B棟 2階 電話 テレビ共同受信設備配線図 1/100

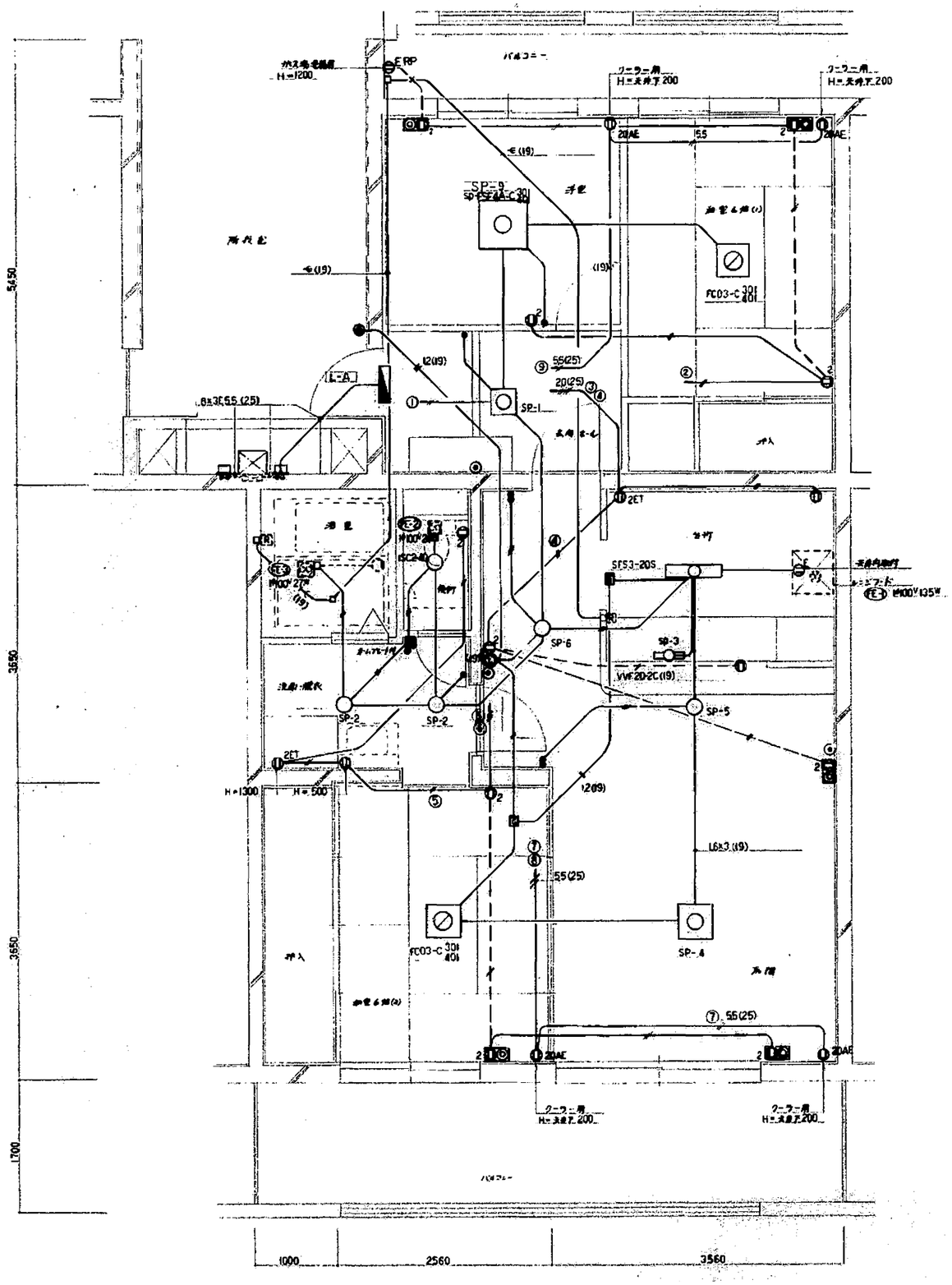


B棟 1階 新築 電灯 設備配線図 1/100

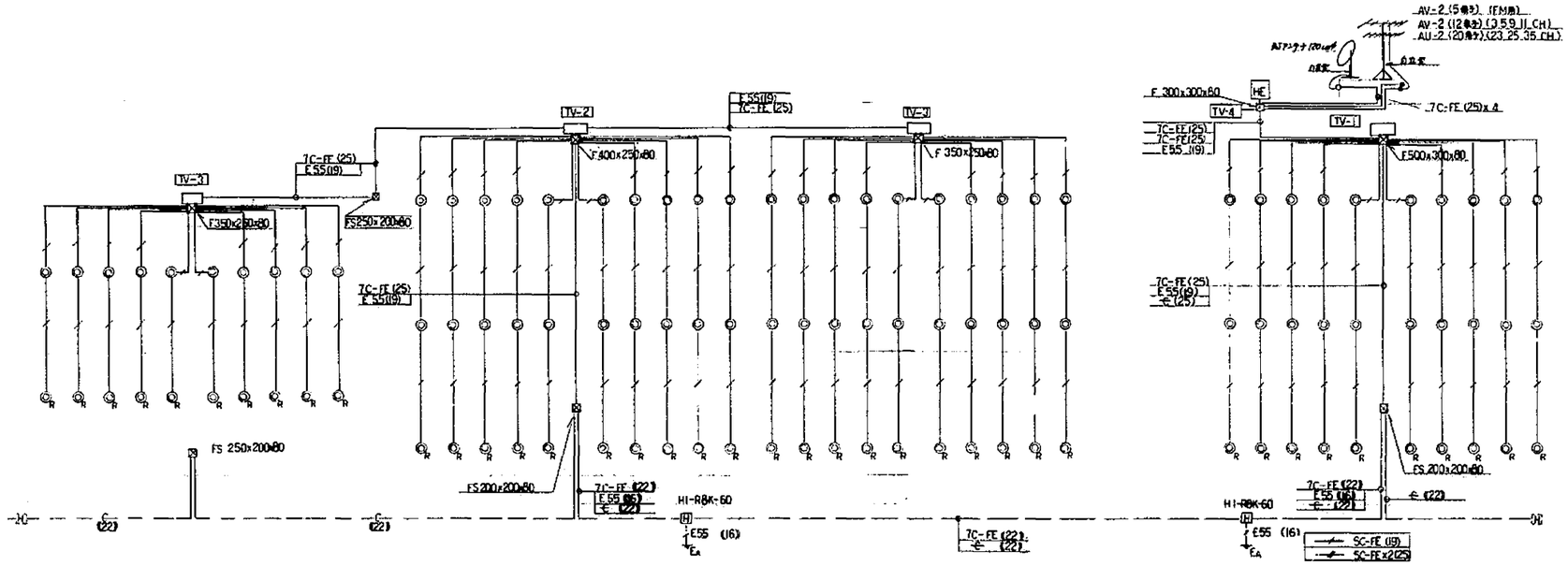


B棟 1階 電話 テレビ共同受信設備配線図 1/100

工事名	本四仁田第二地区高岡山南住宅団地1号	図面番号	6/9
図面名称	B棟 新築 電灯 電話 テレビ共同受信設備配線図	縮尺	1/100
調製年月日	S62年10月27日	氏名	石川建日



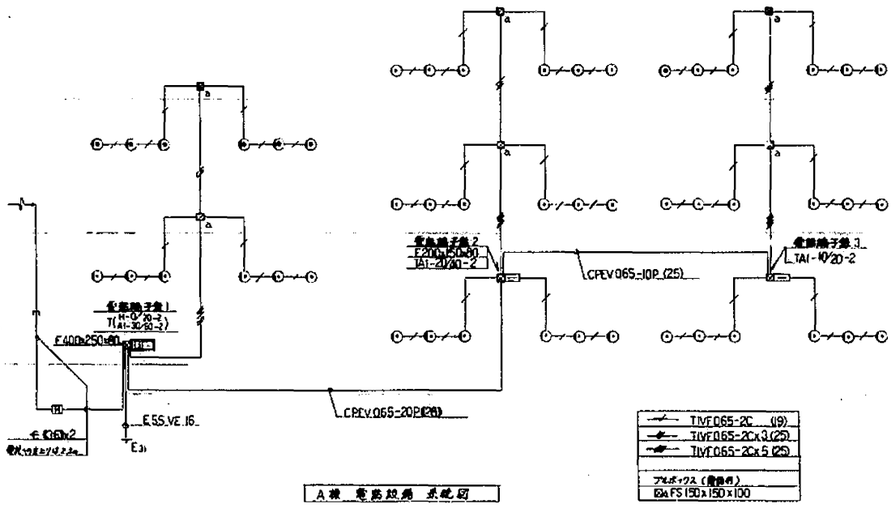
住戸内のフラッシュプレートは、期間数（消防用火BLプレート）とする。



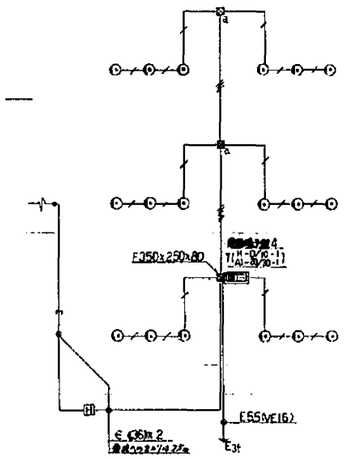
A線 テレビ共同受信設備 系統図

B線 テレビ共同受信設備 系統図

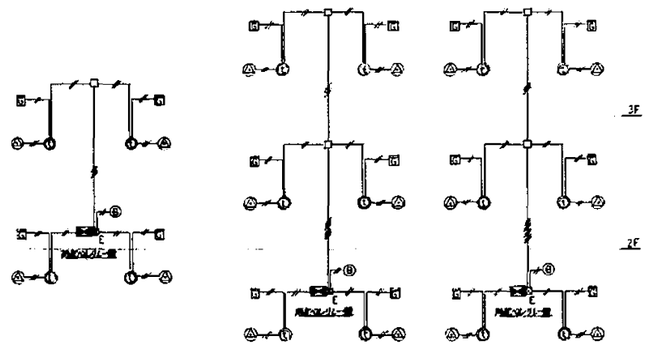
B線 セキュリティインターホン設備系統図



A線 電話設備 系統図

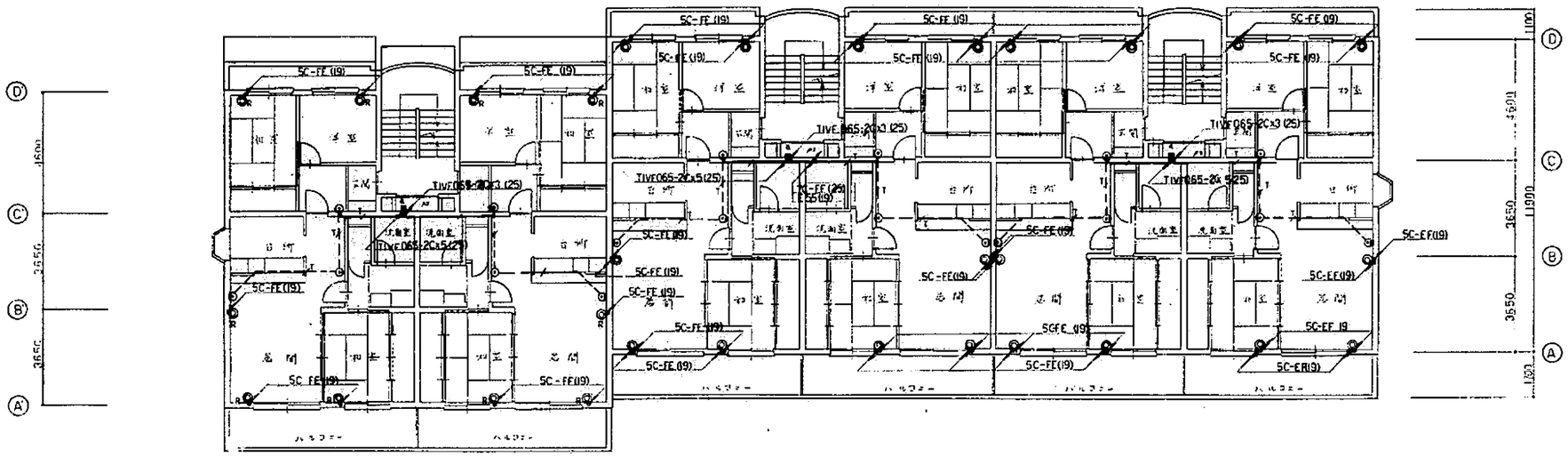


B線 電話設備系統図

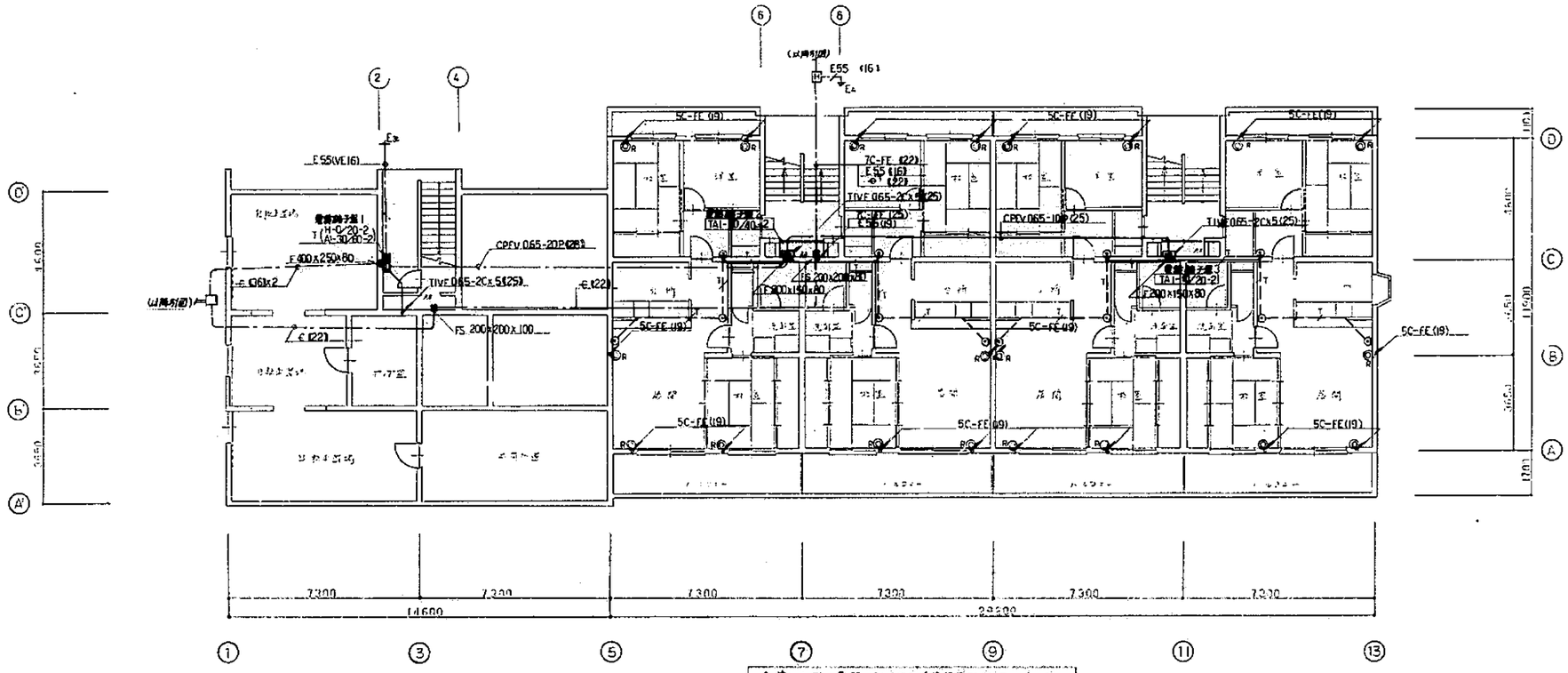


A線 セキュリティインターホン設備 系統図

工事名	本四公団第二管理局岡山病院電気設備工事	図面番号	5/9
図面名称	電話 テレビ共同受信 セキュリティインターホン設備系統図	縮尺	
調製年月日	昭和62年10月27日	調製会社	官職及び資格 電気技士 氏名 石川重己



A棟 2層 電話、テレビ共同受信設備配管図 1/100

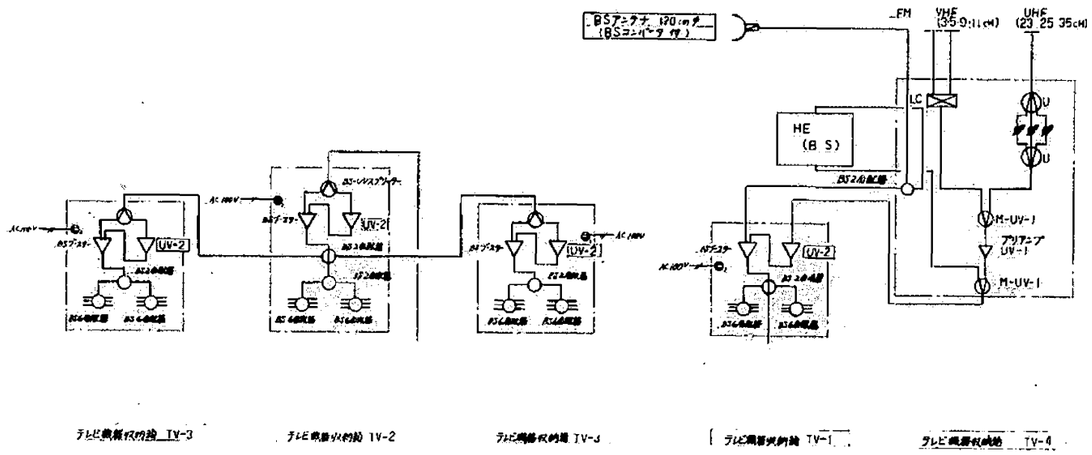


A棟 1階 電話、テレビ共同受信設備配管図 1/100

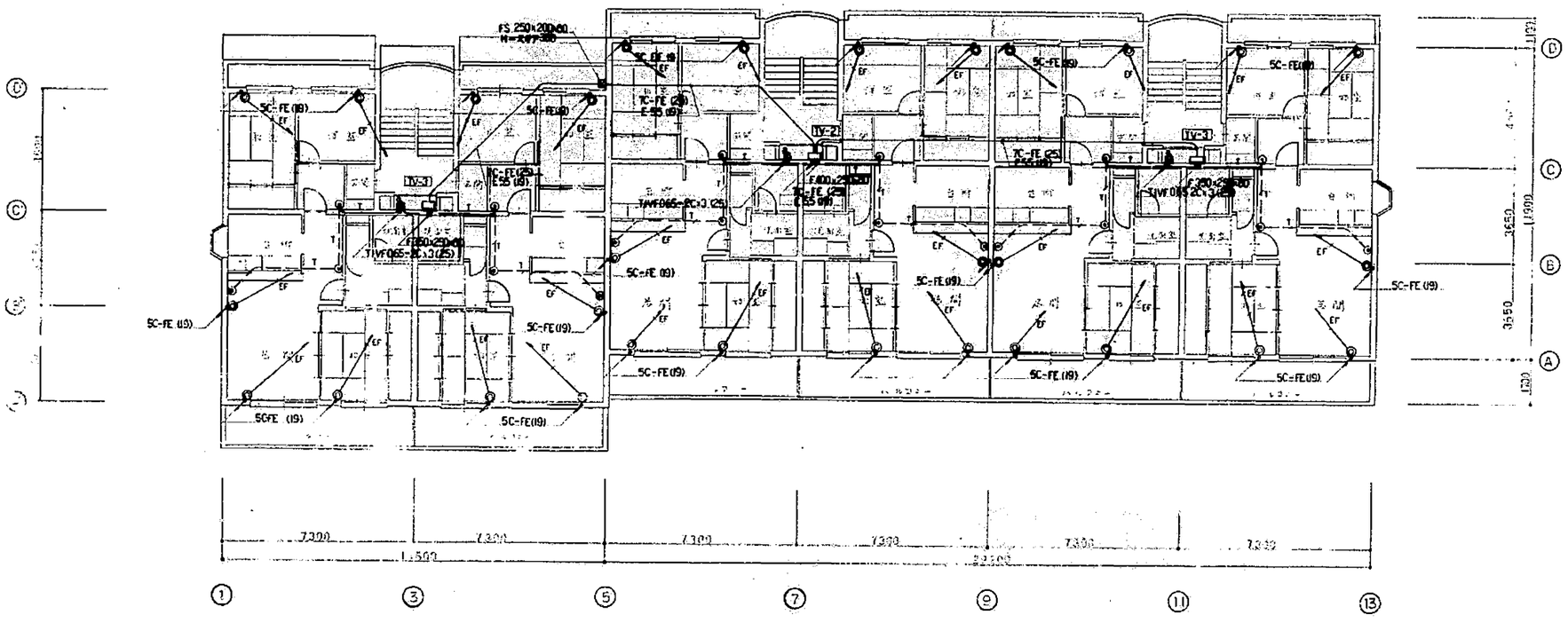
工事名	市川公団第二建設局岡山宿舎電気設備工事	設計番号	79
図面名称	A棟 1,2階電話、テレビ共同受信設備配管図	縮尺	1/100
調製年月日	昭62.10.27	設計	東京建守行 川窪

凡例

LC	レベルコントローラー（ライン用）	チャンネルのレベル調整のできるもの 周波数帯域　FM　VHF 5素
U	UHF 分波器	周波数帯域　UHF3波 入出力インピーダンス　75Ω
U	UHF混合器	同　上
M	FM アッテネータ	固定減衰器（電流通過形）

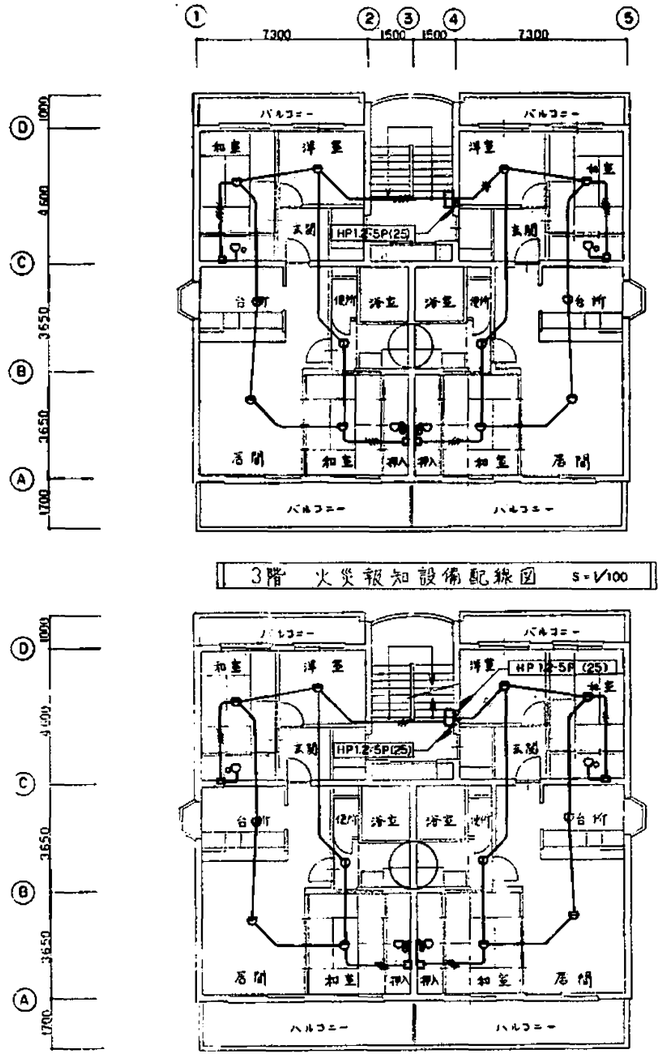


衛生放送用ヘッドエンド HE (BS) 仕様		
入力チャンネル	:	BS CH 15 11
出力チャンネル	:	BS (UHF直接) CH 13-59 の任意の隣り合う チャンネル 2波
入力インピーダンス	:	75Ω 不平衡
出力 〃	:	〃
利　得	:	30 dB以上
最大出力レベル	:	106 dBμ以上
最適入力レベル	:	75 ～ 110 dBμ
利得調整範囲	:	0～10 dB連続可変、-10dB，-20dB（固定）
電源電圧	:	AC 100V ±10% 60Hz



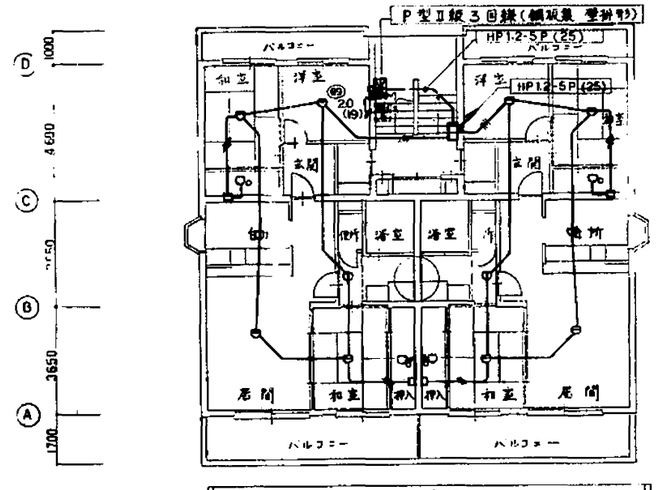
A 棟 3 階　電話・テレビ共同受信　配線図　1/100

工事名	木内公団第二増殖農向山側名営外施設工事	設計番号	8/9
図面名称	A棟 3階 電話、テレビ共同受信設備図	縮尺	1/100
図面作成年月日	昭和62年10月27日	作成者	電電公社 氏名

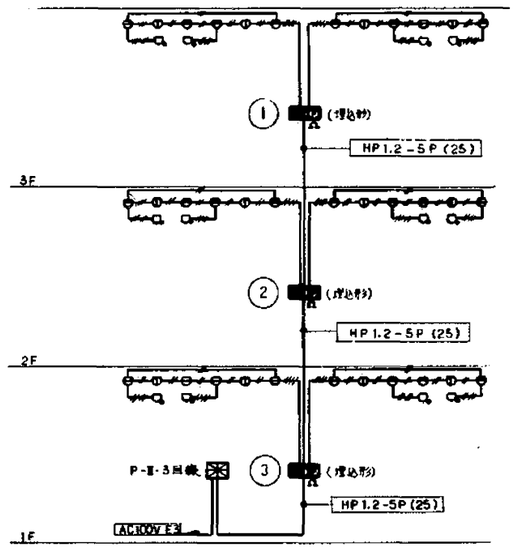


3階 火災報知設備配線図 S=1/100

2階 火災報知設備配線図 S=1/100



1階 火災報知設備配線図 S=1/100

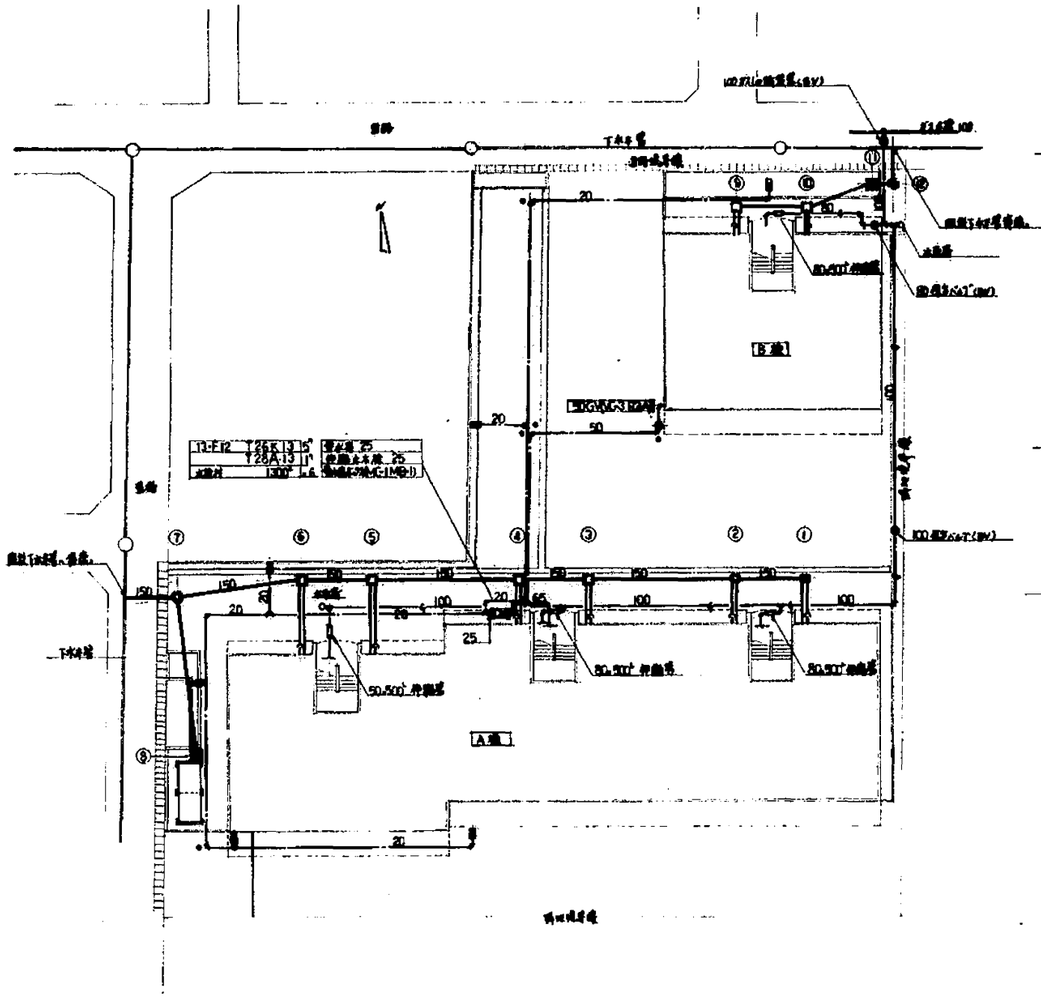


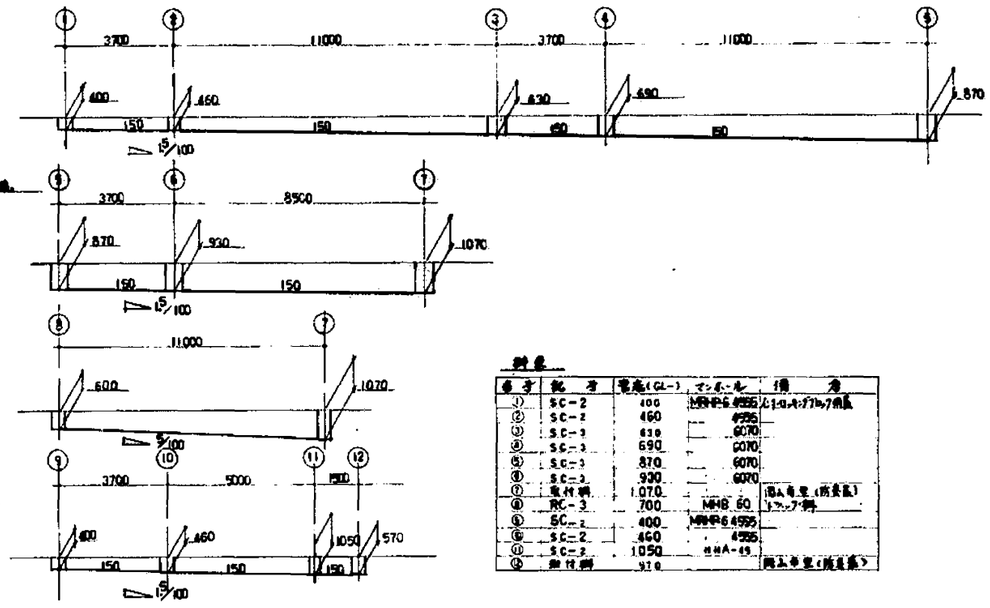
火災報知設備系統図

注記 特記なき配線は下記による

———	1.2×2C (19)
——//——	1.2×4C (19)

工事名	市営公園第二建設局岡山南営農向設備工事	図面番号	9/9
図面名称	B棟1・2・3階 火災報知設備配線図	縮尺	1/100
設計年月日	昭和52年10月27日	作図又は受託	民 名
担当者	建設技術者	関	三

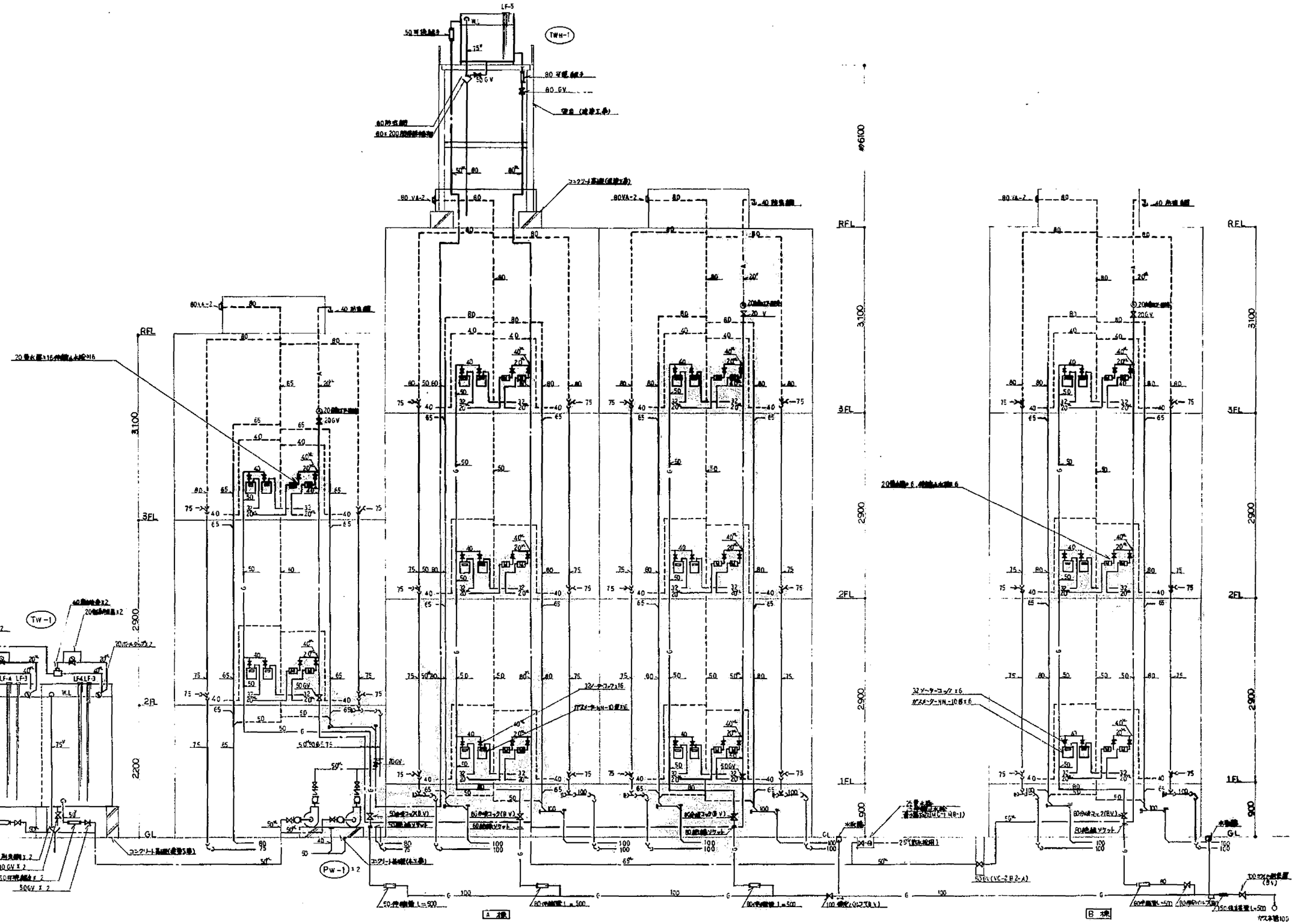




番号	記号	寸法(GL-)	マンホール	備考
①	SC-2	400	MHP-6 4935	人孔ホールドフルップ付蓋
②	SC-2	460	4935	
③	SC-3	630	6070	
④	SC-3	690	6070	
⑤	SC-3	870	6070	
⑥	SC-2	930	6070	
⑦	取付鋼	1070		防A種2号(防食鋼)
⑧	RC-3	700	MH8 60	ドロップ鋼
⑨	SC-2	400	MHP-6 4935	
⑩	SC-2	460	4935	
⑪	SC-2	1050	特種A-49	
⑫	取付鋼	970		防A種2号(防食鋼)

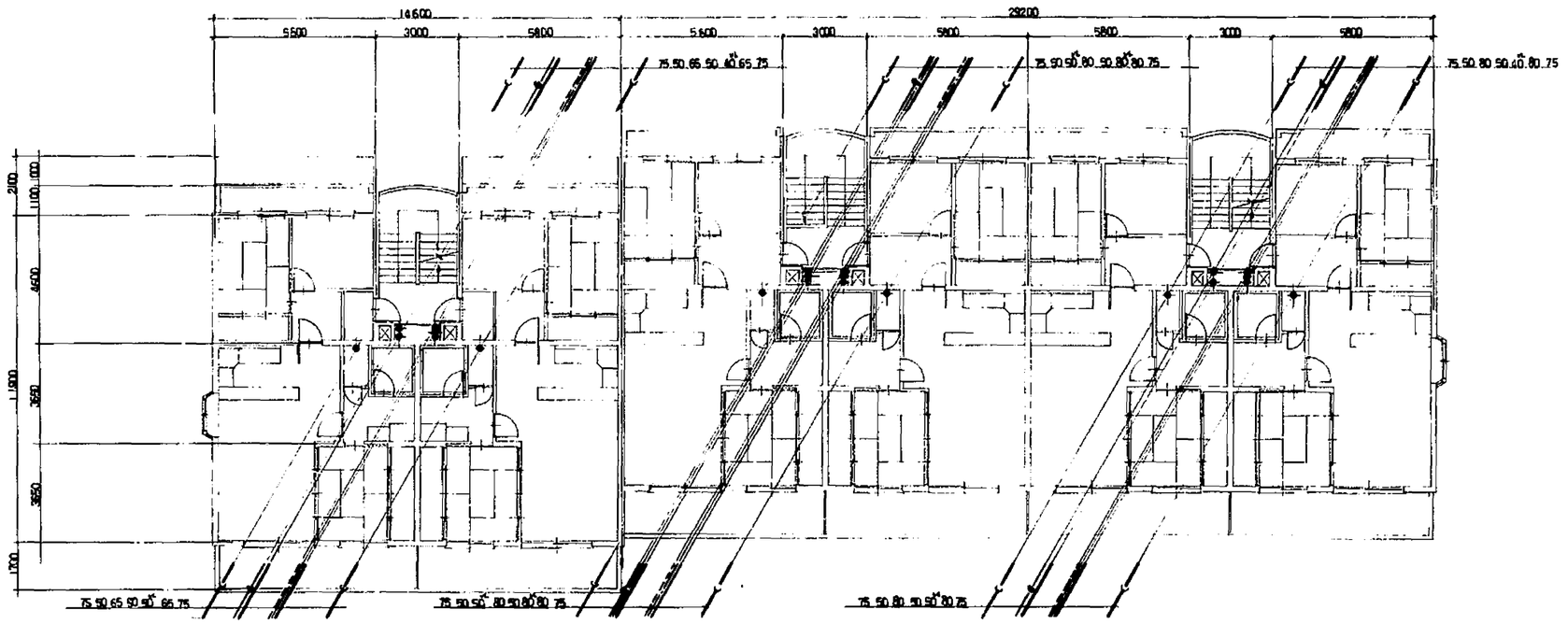
屋外配管図 1:200

工事名	[illegible]	図面番号	1
図面名称	屋外配管図	縮尺	1/200
図面作成日	昭和63年10月20日	設計者	[illegible]



配管系統図

工事名	本四公団第二管理用開山岩倉機械設備工事	図面番号	2
図面名称	配管系統図	縮尺	
測量年月日	昭和62年10月20日	設計者氏名	建設技術者 吉田孝司

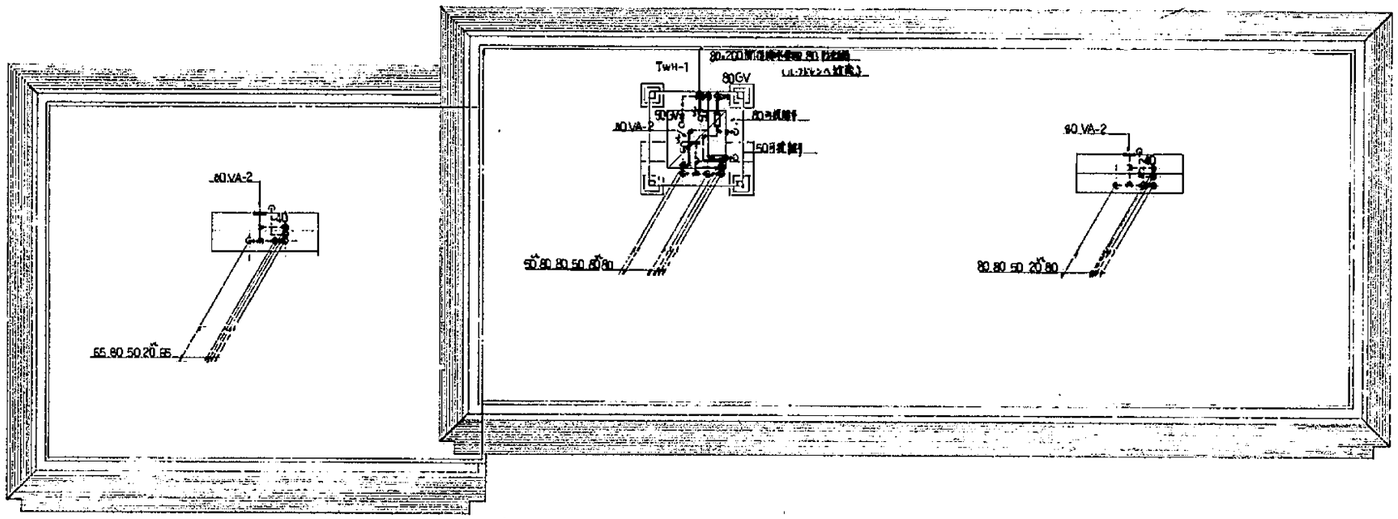


A棟　2階平面図　1:100

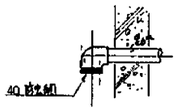
機器表

記号	品名	規格	仕様	電動機容量	数量	備考
Fe-4	ダクトファン	100 m³/h × 1mmH₂O	SUS製格納ベントキャップ付	1φ 100V 37W	1	A棟1階 ホッケ室
Fe-5	排気扇	270 m³/h × 4mmH₂O	SUS製ウェザーカバー付	1φ 100V 32W	1	A棟1階 倉庫物置

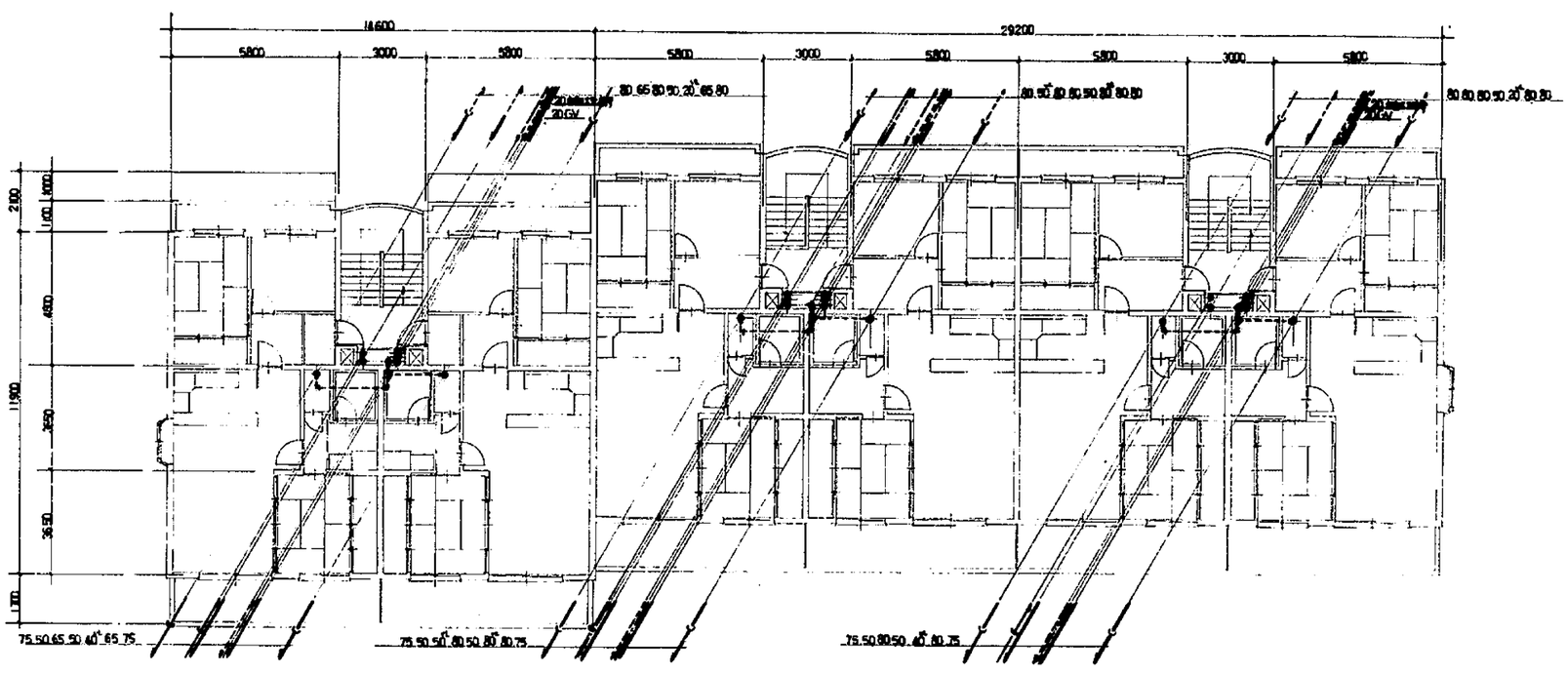
A棟　1階平面図　1:100



A棟　R階平面図　1:100

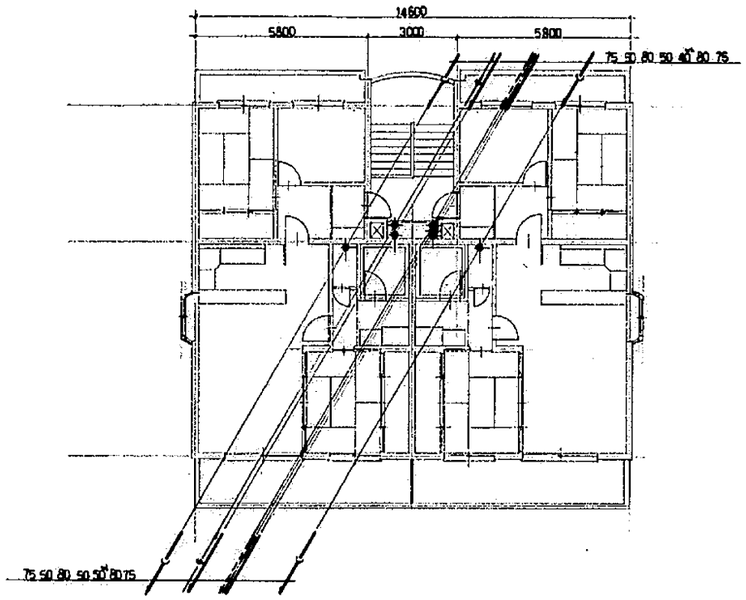


R階排気1号 給水 13-設備管径詳図

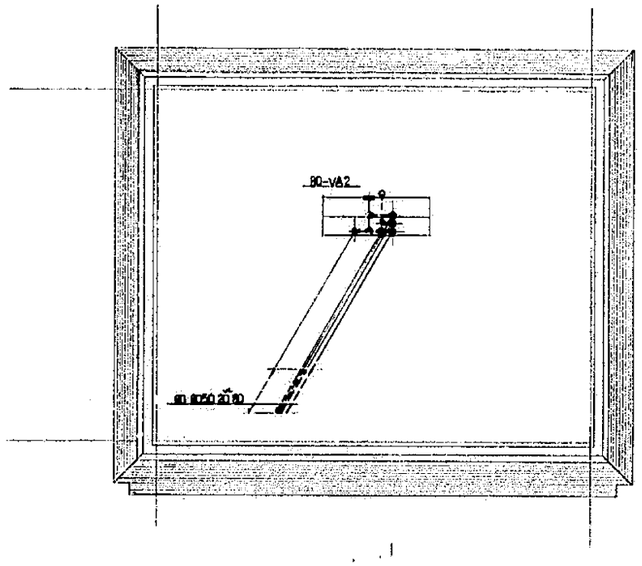


A棟　3階平面図　1:100

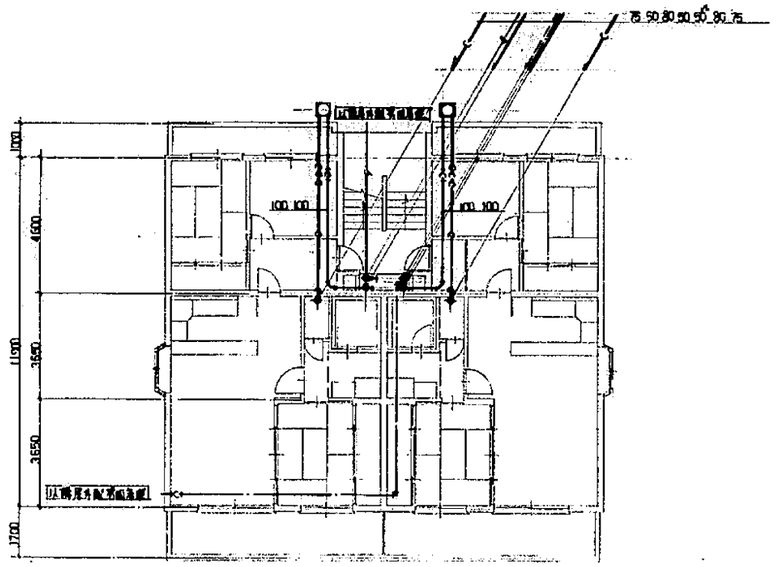
工事名	本田技研第二寮夏期青山寮舎模様設備工事	図面番号	
図面名称	A棟 3階平面図	縮尺	S=1/100
調製年月日	昭和52年10月20日	設計	氏名
		監督	吉田建司



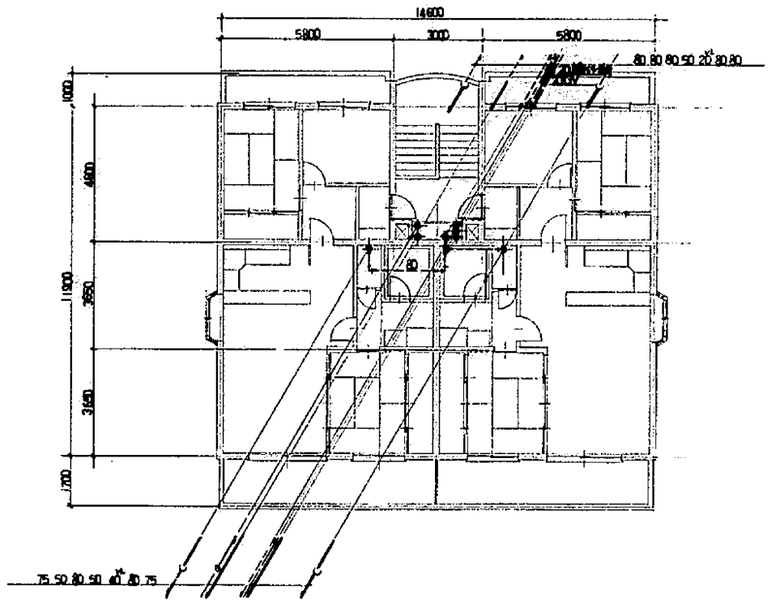
B棟 2階平面図 1:100



B棟 R階平面図 1:100

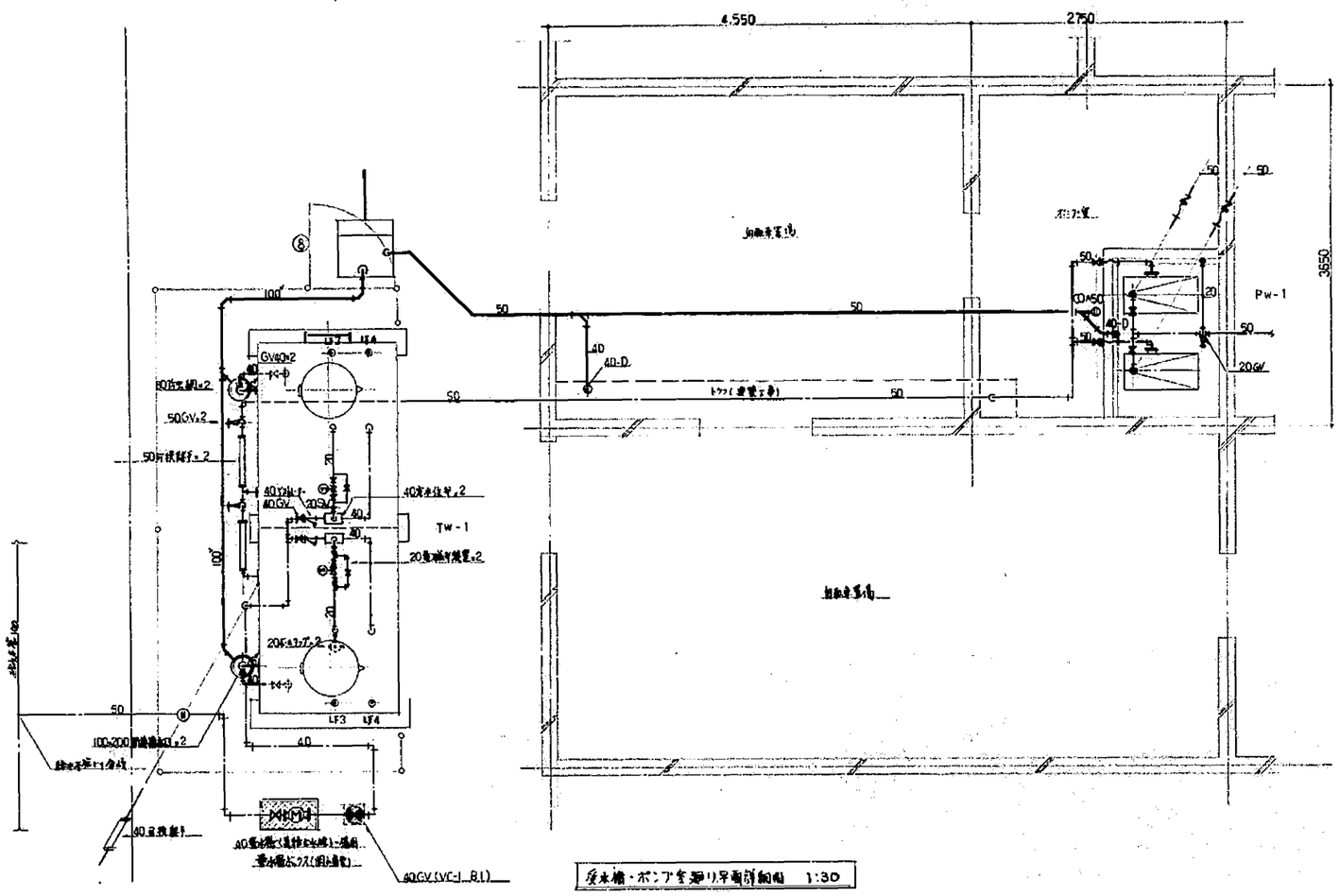


B棟 1階平面図 1:100



B棟 3階平面図 1:100

工事名	本四公団第二期改良岡山宮倉他2地区機工事	図面番号	5
図面名称	B棟1～R階平面図	縮尺	S=1/100
調製年月日	昭和62年10月20日	設計者	吉田建例

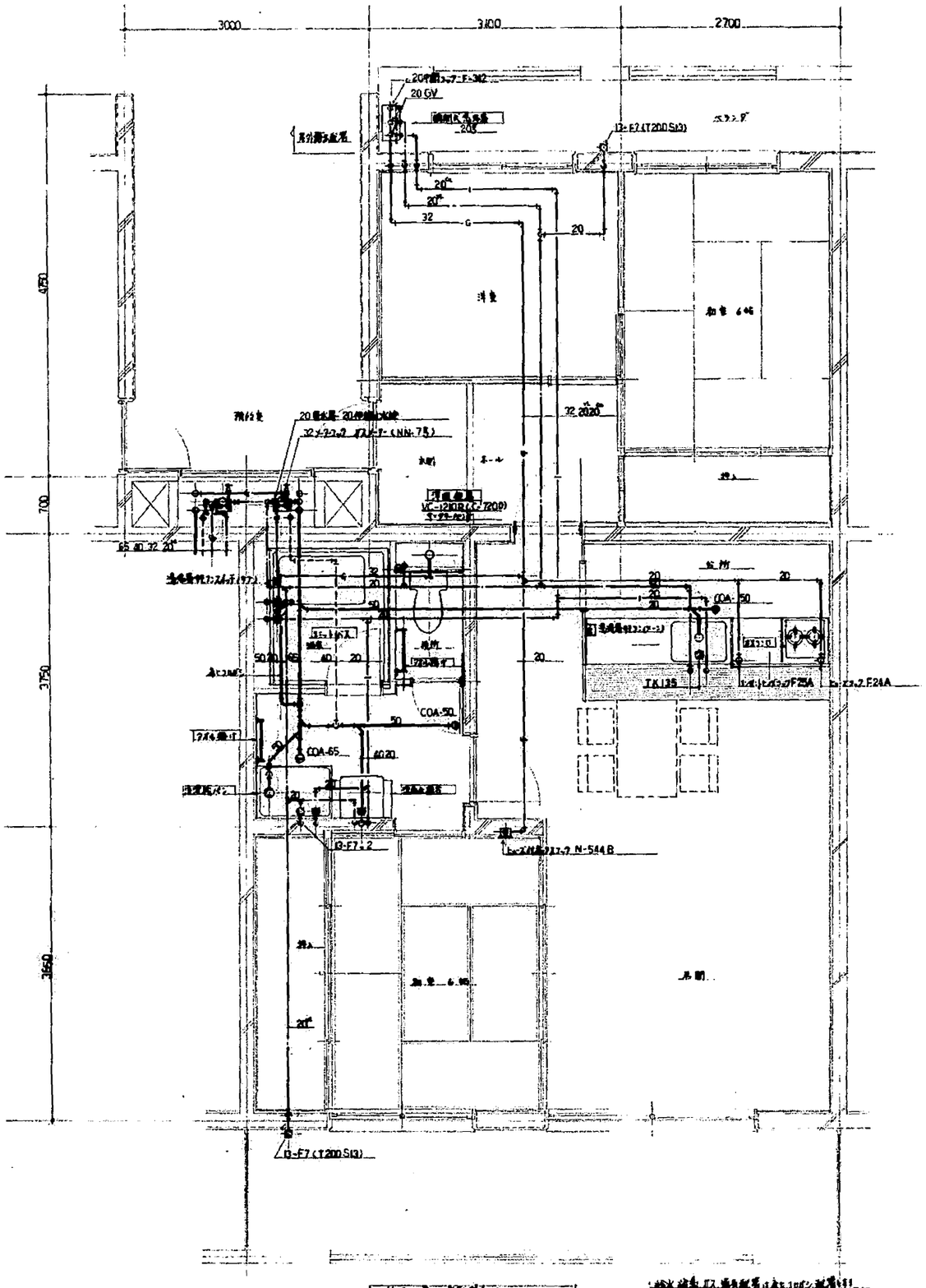


受水槽・ポンプ室廻り平面詳細図 1:30

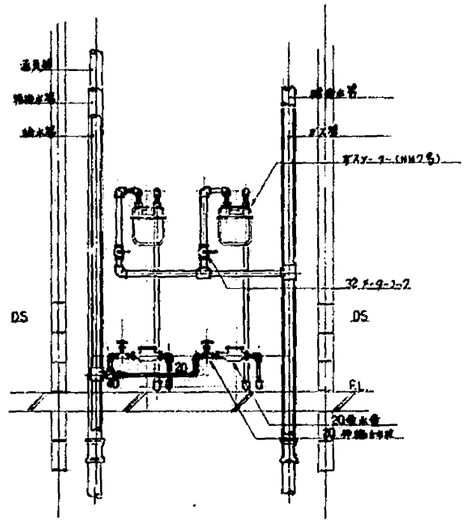
受水槽・ポンプ室廻り断面詳細図 1:30

記号	品名	規格仕様	電気容量	数量	型式	備考
Tw-1	受水槽	FRPサンドイッチ構造一体形(2槽式) 4000 × 1500 × 2000H (有効容量10m³) チャンネルベース(溶融亜鉛メッキ仕上) 水平震度 0.6G		1	YP-1000CN2	コンクリート基礎(建築工事)
TwH-1	高置水槽	FRPサンドイッチ構造一体形 2000 × 2000 × 1500H (有効容量5m³) チャンネルベース(溶融亜鉛メッキ仕上) 水平震度 1.5G		1	YP-500CN4	コンクリート基礎 鋼製架台(建築工事)
Pw-1	揚水ポンプ	片吸込渦巻形 40φ × 140 l/min × 23 m	3φ 200V 2.2 Kw 4 P	2	M.40.2-1	

工事名	市川公団第二期住宅用地内官舎機械設備工事	図面番号	6
図面名称	受水槽ポンプ室廻り平面図	縮尺	1/30
設計年月日	昭和45年10月20日	作成者	大関



衛生器具配管詳細図 1:30



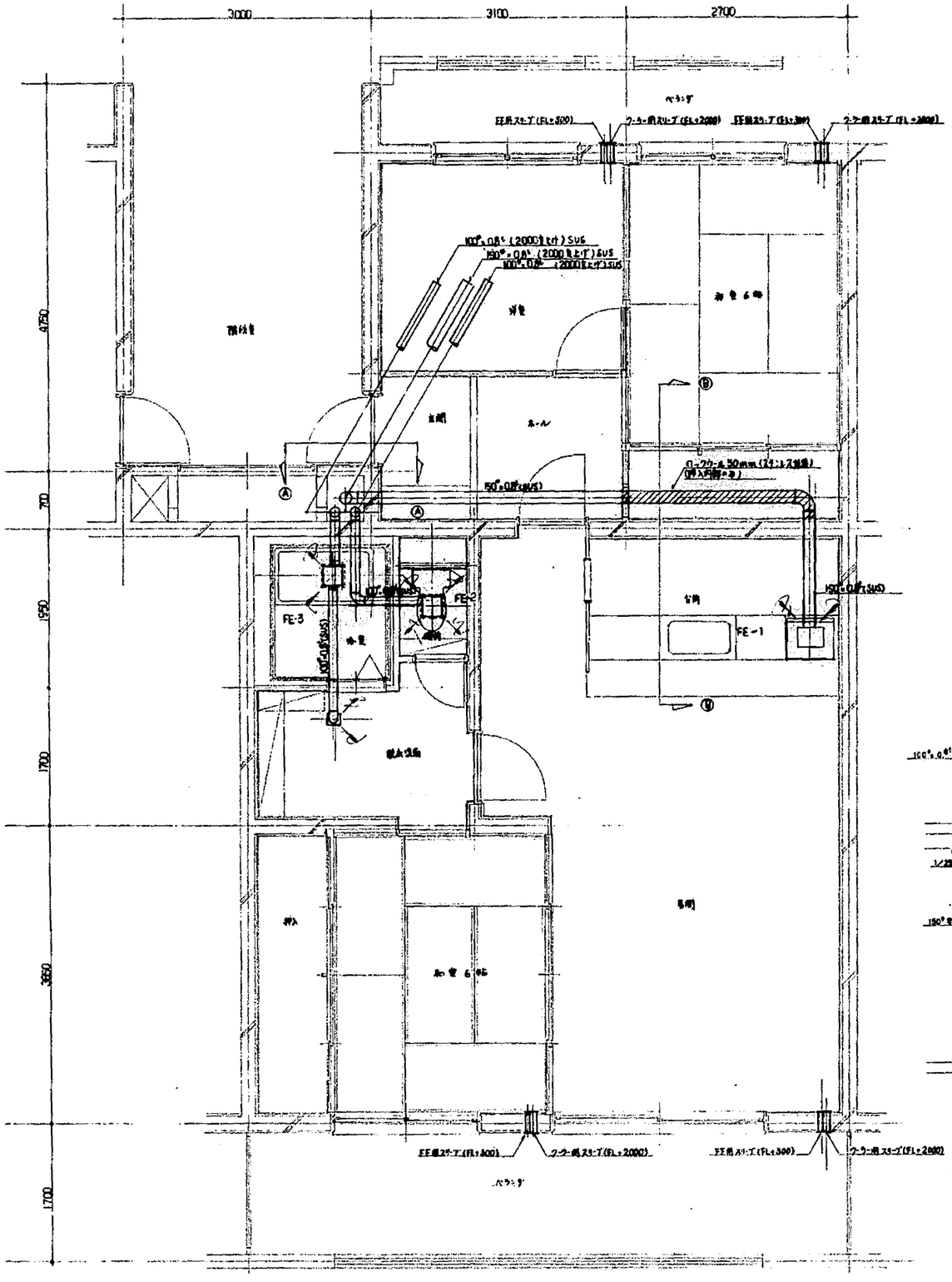
バスユニット床配管詳細図 1:20

衛生器具表（1世帯当り）

器具名	記号	数量	型式	備考
洋風便器	VC-1210R	1	C720P S721B	床上排水 擬音付防露タンク
洗面化粧台	〃	1	LDA753F・LMA751HL	
ユニットバス	1400×1600	1		FRP製浴槽
浴槽		1		
タオル掛け		2	TS113A2R	
シャワーセット		1		
混合水栓	(TK135)	1	TK135	
水栓	13-F7	4	T200S13(両気ハンドル)	
電気温水器	20A	1	20A	
伸縮止水栓	20A	1	20A	
仕切弁	20A (JIS 5K)	2	20A (JIS 5K)	
床上掃除口	50-COA	2		床上化粧蓋
〃	65-COA	1		〃
ガスメーター	NN-7号	1		
瞬間式湯沸器	壁掛型 20号	1	GQ 2000W	
メーターコック	32	1		
ヒューズコック	F-24A	1	F-24	
コンセント付ヒューズコック	F-25A	1	F-25	
ヒューズ付ボックスコック	N-544B	1	N-544B	
甲型フック	20A F-342	1	F-342	
ガスコンロ		1	LW-362S	

ユニットバス仕様
1600×1600 フルパネル
内部仕上 天井 塩ビ鋼板
壁 ポリ化ビ 床 FRP100角タイル貼り
ドア 本体断熱(樹脂板) 200ガラス EPDMパッキン
下部吸気口付 (有効開口面積 0.018㎡)
床工事 ポリエステルペイト処理
浴槽 ポリバス1方半エプロン
深さ600 内容量 約230ℓ
水栓 定量止水付サーモスタットシャワー金具(エコ・エンジョイ付)
照明 防湿型 EC-655S
排水トラップ 樹脂製 バスカットストレーナー付 点検口 樹脂製
換気 換気扇用開口施工
収納パネル EK662xAPKPD
その他 浴槽各コーナー部面取り施工

工事名	本四公団第二管理局岡山管内 機械設備工事	図面番号	7
図面名称	衛生平面詳細図	縮尺	1/50
調製年月日	昭和62年10月20日	設計者	片岡建設



換気平面詳細 1:30

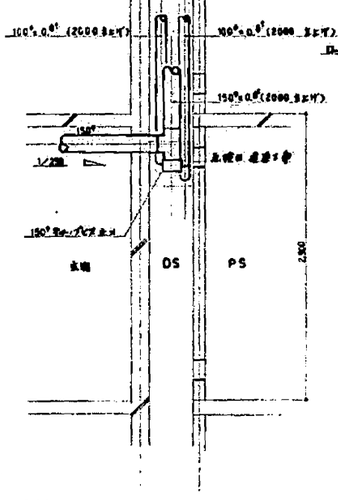
換気表

記号	品名	規格・仕様	換気容量	数量	備考	型式
FE-1	レンジフード	深形シロッコ形(局所全般用時換気形) BL規制品 655 m³/h × 9 mmH₂O フィルター付、強弱2段	1φ 100V 126W	2	台所	V-603 H-BL
FE-2	天井埋込換気扇	強制排気 逆流防止シャッター付 69 m³/h × 2 mmH₂O	1φ 100V 19W	2	便所	VD-10ZS
FE-3	-	排気形 排気ダクト逆流防止シャッター付 156 m³/h × 4 mmH₂O 制御吸口共	1φ 100V 18W	2	浴室、脱衣	VD-13ZF

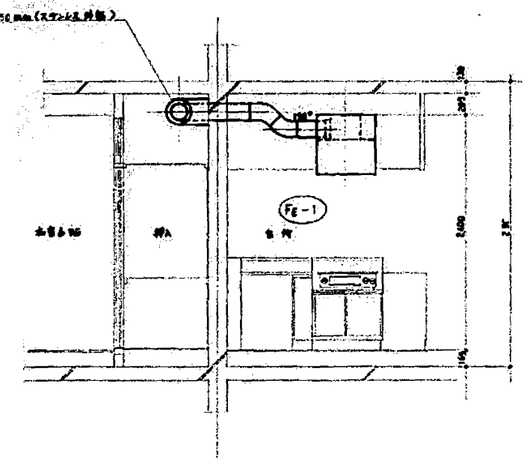
FE-1 レンジフード換気計算書

居室名
洋面アルキルコンロ 0.00106 m³/kcal × 8,000 kcal/h × 40 % = 350 m³/h
浴槽釜 0.00109 m³/kcal × 1,400 kcal/h × 40 % = 60 m³/h

合計 410 m³/h 以上



Ⓐ-Ⓐ 断面図 1:30



Ⓑ-Ⓑ 断面図 1:30

工事名	平田公団第二団地建替住宅	設計番号	8
図面名称	換気平面詳細図	縮尺	S=1/30
製図年月日	昭和43年10月20日	作図	吉田